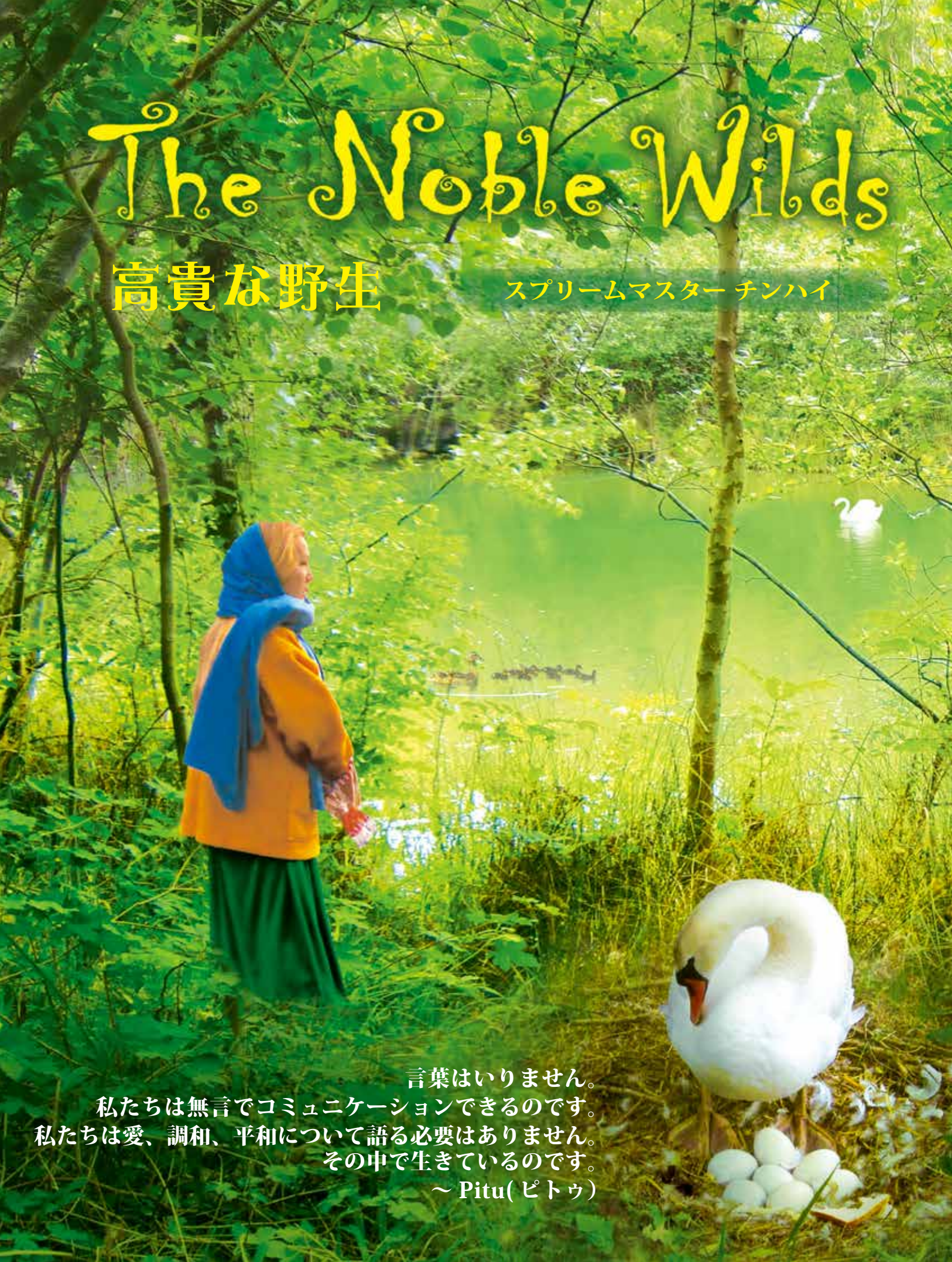
The Noble Wilds

高貴な野生

スプリームマスター チンハイ



言葉はいりません。
私たちは無言でコミュニケーションできるのです。
私たちは愛、調和、平和について語る必要はありません。
その中で生きているのです。
～ Pitu(ピトゥ)

「高貴な野生」読者コメント

国際ブックフェア会議主席 1975年～2000年フランクフルト・ブックフェアディレクター ピーター・ヴァイダース：私たちだけが地球上で生きているのではなく、植物も含めすべての生き物が兄弟姉妹であり、受け入れなければならないのだと、個人的に考えています。地球は私たちの母であり、基盤であり、私たちはその母から生まれ、また彼女のもとに戻らなければなりません。だからこそ、生命や地球に対して畏敬の念を持たなければなりませんし、このような本の助けが必要なのです。この本の中の画像には素晴らしい心打たれる要素があります。この本が広く多くの人に読まれ、多くの幸せな読者が生まれることを願います。

韓国最大の動物保護団体CARE代表　パク・ソヨン：この本は、小さな動物たちがお互いへの感情を持っていて、名前まであることを私たちに教えてくれます。私たちは人間だけが名前を持てると思っていますが、この本は動物にも名前があり、互いにコミュニケーションをとることができると伝えています。その点で、私は本当に満足していて、著者に感謝しています。

カナダ・モントリオールの新聞「Zornitsa」編集長　イヴァ・ベリチカ：11歳の娘のヤナに読み聞かせした最初の本です。彼女は絵を描くのが好きなので、写真そのものと、また、そこに書かれている言葉もとても楽しんでいました。

マスターチンハイがどれくらいの期間でこのようなことを成し遂げたのか、私にはわかりません。このような写真、このような絵は実に大きな財産だからです。これほど本格的に仕上げられる人を私は知りません。その一方で私たちが考えもしなかった、自然界の深遠な、物事を本当に明らかにしています。

彼女は天賦の才を持つ人であり、私たちは彼女を通してもっと情報を受け取る必要があります。それで、このアイデアを子供たちに小さな頃から伝えていくことを、みなさんに託します。

韓国ソウル市ポゴク図書館司書　ソン・ジヨン：私は司書で、これまで数え切れないほどの本を読んできましたが、この本は最初のページから最後のページまで、作者がこの本を作るために、ものすごい努力と愛情を注いでいることが感じられました。写真を見て、物語を読みながら、私はそれらがとても美しく、芸術的だと感じました。また、この本の内容は、野生の気高さ、今まで決して知られていなかった驚くべき秘密を教えてくれました。

韓国地方軍政局　キム・ヨンギュ：私は少し前に「高貴な野生」を読みました。先日、アマゾンでベストセラー第1位になったと聞き、大変うれしく思います。1位という快挙に心からお祝いを申し上げます。この本を読む前は、人間は万物の長であり、すべての動物の上に君臨していると思っていましたが、この本を通じて、動物の世界にも人間以上に高貴な感性の境界があることを知りました。ですから、これからは動物を支配したり、君臨したりしてはいけないと、よく考えるようになりました。この本の著者であるスプリームマスター チンハイに心から感謝するとともに、この本が多くの人に読まれるように、早く韓国語に翻訳されることを願っています。

カナダ・バンクーバー　グレイヘイブン・外来鳥類保護区所長　ジェニー・タマス：これは本当に優れた本だと思います。とても落ち着く本です。写真も素晴らしいです。この本に目を通すと、温かい気持ちになります。そして、これらの小さな神の創造物はそれぞれがとても繊細で、私たちが彼らのもとに行くとき、敬意をもって接しなければならないことがわかります。この本は素晴らしい本で、そのことを教えてくれています。

欧州事務所　徐所長：マスターの著書には、汚れがなく、自然で、本物で、手つかずの環境の中で野生動物と交流したことがはっきりと書かれています。この体験と共に、彼女は本の中でこう書いています。ここに彼女の言葉を引用します。彼女は、動物界に関して次のように述べています。「動物界では、私たちがそうであるように大きさは問題ではなく、美徳こそが重要なのです」と。私自身も同様に感じ、同様に考えます。つまり、どんな生き物も、愛情を注いで共に生き、交流すれば、それは自分に返ってきて、私たちとまったく同じ、生きている個体であることを感じさせてくれるのです。いわゆる他の生き物を愛することは、実は自分自身を愛することなのです。

イランの出版社：とても良い本です。よくできていますし、デザインも完璧で、文章を読むと、彼らがあなたに語りかけているようです。出版者としては、特にデザインや本の準備の仕方など見習うべき点が多いと思います。

イスラエルの読者：これらの写真は、神、たぶんスプリームマスターと直接つなげてくれます。パラパラとめくって見ることは、純粋に楽しいものです。これは一種のメディテーションのようなものです。この素晴らしい写真を見てください。自然に敵うものはなく、同じ物を作ることはできません。これを見た瞬間、あなたは動物たちと本当に通じ合いたいという気持ちになりませんか？

韓国の読者：本を開いた瞬間、著者の生き物に対する温かく細やかな愛を感じ、とても感動しました。

イスラエルの読者：これはプロの写真だと思います。動物を追いかけ、シャッターチャンスや遠近感を見つけるのは、とても労力がいると思えるからです。この本を読むと、マスターは本当に動物と交流していることがわかります。マスターは人々が知らない動物のことを理解し、明らかにしてくださいます。これは本当に驚くべきことです。私たち人間が互い心を通わせるのと同じように、動物と心を通わせ、彼らの言葉に耳を傾けるということは、誰にもできないことだと思います。要するに、そのことは私たちが自然とつながる助けとなり、神や生命すべてが、最も小さな生き物から人間、そしてそれらを超えた他の動物に至るまで、一つであることとその方向性を見出す助けになると思います。

台北市議会議員　周柏雅：「高貴な野生」は、人間と他のすべての生き物が、この地球上で調和した共同生活を送れることを教えてくれます。私が最も感銘を受けているのは、マスターが常に菜食主義に徹していることです。以前は、私は菜食の食事は基本的に健康上の理由からだと考えていました。しかし今は、菜食はとても重要であり、私たちの環境と密接に関係していることをより理解しています。また、地球上のすべての生物と共に平和であるためには、私たちは菜食になる必要があると深く感じています。家畜や動物を殺さないことは、平和を促進させる方法であり、お互いを傷つけることなく、共存のための一種の平和文化なのです。私はマスターをとても尊敬しており、彼女をお手本にしてその考えを実践していきたいと思います。私たちはみな、マスターのすべての生き物に対する愛と配慮を感じることができるのです。

韓国の読者：この本の中に、ピトゥとサイサイという白鳥のカップルの話が出てきますが、二人が愛し合い、子育てをする様子はまさに人間と同じであると感じました。ピトゥが巣を温めるために羽を全部むしり取って巣の底に敷き、ヒナが大きくなるまで、自分の食事と睡眠を犠牲にして世話をする姿はとても感動的です。私は人間と動物間の言葉のないコミュニケーションに感動し、動物も高貴な生き方を送っているのだと実感しました。

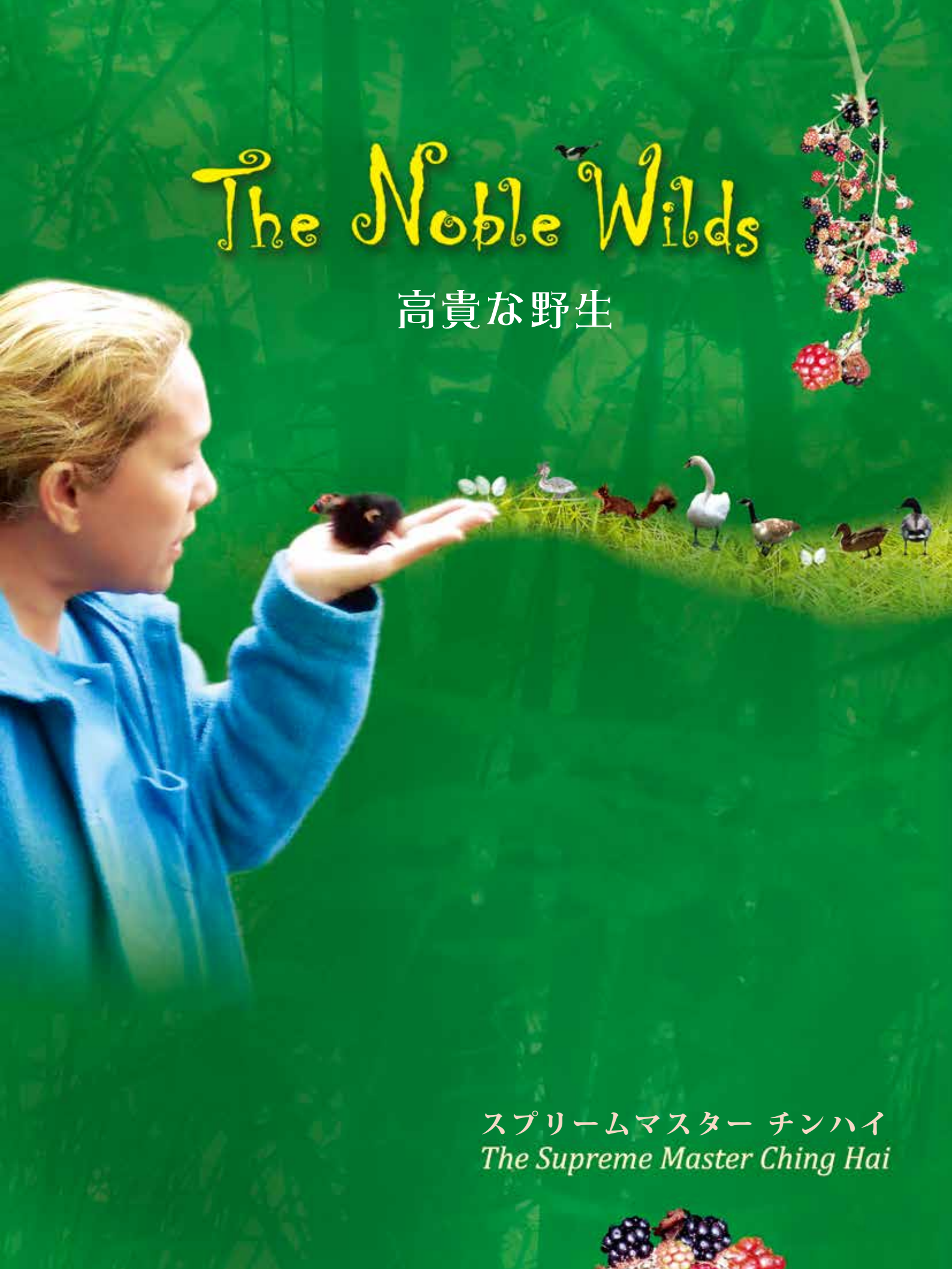
写真家　ベルナール・ボルドナブ：このような写真は、写真そのものがすでに多くを語っていると思います。人々に必要不可欠な、価値あることを伝えています。自然を大切にすることがいかに重要であるかを人々に示しています。なぜなら、特に都市に住む人々は、田舎に住む人々でさえ、自然や動物、その他の問題をいつも意識しているわけではないからです。それで、この本は本当にとても役に立つと思います。

アイルランドの読者　キャサリン・ホーガン：霊性の師であるマスターチンハイの著書「高貴な野生」は、とても自然で優雅にデザインされた本で、風景、湖、木々、白鳥、カモが本当に生きていて、実在するように感じられます。この本は、すべての生命が貴重であること、そして、大きいもの小さいもの、飼いならされたもの、飼いならされていないものを問わず、すべての生き物を守り、保護するために最大限の努力を払うべきだということ思い出させてくれます。

アイルランドの読者　メリッサ・カタリン：この本は私に私の人生について多くのことを考えさせてくれます。時に私たちは物質的なものだけを探し、私たちの周りにはこういった美しいもの、木々、動物などすべてがあり、これ以上探す必要がないほど豊かであることに気づいてないのです。

The Noble Wilds

高貴な野生



スプリームマスター チンハイ
The Supreme Master Ching Hai

まえがき

動物界では、私たちがそうであるように大きさは問題ではなく、
美徳こそが重要なのです。

それゆえ、例えば小さなリスには個々に名前がありますが、
カモにはないということを、私は発見したのです。

これはリスがカモよりＮＱ (高貴なクオリティ) が高いという事実によると言えます。私はまたＮＱ値が 9%か、それ以上の動物はもともと個々に名前があることも発見しました。
（人間はもっと恵まれています）

以下の一般的な動物のＮＱ値を参照ください。

牛 = 40%
ゾウ =30%
ブタ = 30%
シカ = 20%
犬 = 30%
ワシ = 3%
リス = 10%
カモ = 8%
人間 :
高レベル = 90% (少数)
低レベル = 3% (多数)
普通 = 10% (多数)

鳥類 = 30%
オオバン = 10%
ビーバー = 10%
白鳥 = 20 %
ガン = 20 %
オランウータン = 20%
トラ = 4%
ライオン = 3%

私は、動物の両親が自分の子に命名するのではなく、後にその種の議会から名前が伝えられることも知りました。例えば、白鳥は成鳥になる前の２歳頃に名前をもらいます。ガンも同じ頃に、ビーバーやリスは１歳頃に名前をもらいます。

同じ種の動物の中でも、特に優れたＮＱを持つものもいます。

例えば
メスの白鳥ピトゥ（Pitu）＝ 30％
メスの白鳥ジーナ（Gina）＝ 25％

人間だけＮＱが大きく違うのは、私たちには思いやりを育む能力が備わっているからです。また仲間や他の生き物を愛し助けなければならない、さまざまな状況にもさらされているからです。

そうです。私はこれらの発見にも驚かされました。この自然界には驚くことがたくさんあります。本当に時間をかけて見つけ出さなければなりません。

この他、動物のメスは一般的に同種のオスよりＮＱが１～２％高いのです。それは人間界でも同じで、母性が無条件の愛をより育むからであり、「ＮＱ」を発揮するほど、さらに多くを獲得することになるからだと私は思います。

この情報を知ることができたのは、私にとって光栄なことです。あえて知ろうとしたのではなく、野生動物と私との友情の絆が深まるにつれ、自然にわかってきました。数種のことがわかると、他の種のデータも入手できます。私のように少しでも知れば、動物の見方はまったく変わってくるでしょう。

この本により、私たちの地球の仲間について、知識を分かち合えることをとてもうれしく思います。その中には言葉の壁に阻まれ互いに理解できず、虐待されたり、乱用されたり、忘れられたりしてきた仲間もいます。

彼らが伝えてくれた、さらに多くのことを書こうとすると、何冊にもなってしまいます。それはただ、私の「仕事」上の必要なものや、私と関係者に関するものものなので、ここでは取り上げません。

とにかく私は動物の友人について多くのことを知り、とてもワクワクしました。みなさんもそうであるよう願っています。

すべての生命が愛され祝福され平和で幸せでありますように。

追記：この本の写真すべてが好きです。なかには解説がなく、読者の感受性に委ねられているものもありますが、その写真も同じように味わってください。それは現実の行動と風景です。写真の中には貴重な瞬間もあり、何日も何時間もかけて撮影したものもあります。そしてビデオや写真の撮影のために、水に深く浸かったり、深い森にも入ったりしなければなりませんでした。

感　謝

この本は野生の生き物について書かれたものですが、私自身も「野生」の一員のように感じます。私はこの本の主人公ではありませんが、時には写真の中に私の姿を見ることでしょう。みなさんは喜んでくださると思いますが、いかがでしょう。みなさんのために私を撮影してくれた、以下のスタッフに感謝します。

Thomas Lerning
T. June
Jus-se
T. Hao
Steve Andreas
T. Khai

その他の写真と風景の中には、私の姿はありませんが、どうぞお許しください。でも、私はずっとカメラの後ろにみなさんと共にいます。

この本に出ていない多くの住人と旅人もいます。例えば大きな魚、カエル、カメ、ウサギ、フクロウ、ハト、さまざまな鳥、コオロギ、カタツムリ、シカなどですが、私はここで彼らすべてに感謝します。彼らの愛と支援があってこそ、この本をみなさんにお届けすることができるのです。

私は永遠に写真を撮り、本を書き続けることができます。彼らはみな魅力的だから、そうするかもしれません。例えば私がテントを張った近くでは、カエルが一晩中合唱しています。歌声は明け方まで、時にはそれ以上長く、絶え間なく続くのです。まるで完璧なオーケストラによるノンストップの無料音楽会のようです。誰が彼らにこんな素晴らしい声と力強いエネルギーを与えたのでしょう。彼らはあんなに小さいのに！

またその一方で、みなさんにも少し想像力を働かせていただき、カメラのシャッターを自ら押していただきたいのです。

私はこの特別な本を楽しんで書いています。

私は登場するすべての生き物、人々が大好きです。

私は撮影したすべての風景が大好きです。

みなさんがこの本を読んで楽しんでいただけたら、うれしいです。

特に
愛を込めて捧げます。
ジーナ（Gina）モルウェイ（Moruwey）
ピトゥ（Pitu）サイサイ（Sai Sai）に

あなたたちの愛と協力に感謝します。
隠れ家さえわかってしまうのに、写真を撮らせてくれたこと、この本を書くことを許してくれたことを、あなたたちに感謝します。

あなたたちは遠くからやって来た
私の友となるために
喜んで助手になるために！
そのあたたかな安らぎ
その貴重な智慧…

世の人に理解されますように
あなたたちのあふれる愛を
世の人が感じられますように
私はずっと大切にします
あなたたちという贈り物を
あなたたちが去ることを選んでも
ここに残ることを選んだとしても
（もちろん、その方がいいです）

また、この村や周囲、外のすべての生き物に愛を捧げたいと思います。

わが子へのパンを手に入れるために、フェンスを飛び越えたシカ
私がお菓子を持っていてもいなくても、いつもかけ寄り、
歓迎の歌で出迎えてくれるお隣の馬
わが子を守るために全世界を相手に戦う、カモのシングルマザー
カメラの前ではすごく恥ずかしがり屋のウサギ
わが子のために恐れに打ち勝ち、私に近寄り
パンを手に入れる勇敢なオオバン
いつも近くの動物と食べ物を分かち合いたいカモメたちに
素敵なオーケストラのように、リズミカルに歌い続けるカエルに
私を信頼してくれたビーバーに
命がけでわが子を守る勇敢なガンに

わが家に喜びと音楽をもたらしてくれる、すべての鳥たちに
私の庭でのんびり散歩するカメに
木々、雑草、岩、大地と花々に
天と地すべての生き物に、
私の愛と称賛を込めて愛を捧げたいと思います

あなたたちと一緒にいると、ただあふれる愛を感じるのです。一人ひとりの心の中に愛があふれているからです。

そして最後に、私が海外でリトリートを行っている間に、私のもとを去った小さな白鳥の赤ちゃんに心より捧げます。

戻って来た時、「会いたかった」と本当に言いたかった。あなたが兄弟姉妹と同じように成長した姿を見たかった。その時ずっとその場にいて、あなたを守ってあげられなかったことが悔しくて、悲しくてたまりませんでした。

あなたが天国で幸せに暮らしているとわかっていても、やはり愛おしくて忘れることができません。

あなたはかわいく、愛らしいヒナ鳥、この厳しい野生の世界ではか弱すぎました。私がこの本を書いたのはあなたのためでもあるのです。

自由に飛び立てるようになるまで、
養って成長させたかった。
あなたを抱きしめたかった。
私がそうしないことを、あなたはわかっているけれど。
あなたのやわらかな羽毛をなでたかった。
私は決してそうしないと、わかっているけれど。
だって、私はあなたの自由な野生の本質を
あなたと私の無条件の絆を尊重しているから。

あなたの両親があなたを愛するように、私はあなたを愛したい。
ただ、あなたの世話をして飛び立たせてあげたかった。でも、そんなすぐにはできないですよね。あなたはまだ生まれたばかりの赤ちゃんでした。これは天の手配であり、天があなたを迎え入れたことを、私はよくわかっています。でも、私は今でもあなたが恋しい。まるでわが子を失ったかのよう。あなたはとても小さくて何の助けもなく、名前さえありませんでした…

さようなら赤ちゃん、心から愛してます。天上のあなたはわかるでしょう。そして今、あなたのことを書いていて、私が涙を流しているのが、あなたには見えますか。

たぶん、私はあなたを「愛のプリンセス」として思い出すでしょう。
なぜなら、それはあなたそのものだから。
あなたたちすべての動物は「愛」だからです。
あなたたちすべてを心から愛しています。
この愛が海のように深いことを、私だけが知っています。

スプリームマスター チンハイ

「高貴な野生」は韻律に富んで、哲学的な筆調で書かれています。一つひとつの言葉がページを優美に流れていて、さらに神の創造物である、光輝く自然の写真がそれを完全なものにしています。ページをめくると、誰もがアムーラ(Amoura)へといざなわれます。そこは「女史」が住んでいて、彼女が大切にしている野生動物が訪れる場所です。

「女史」とは他でもないスプリームマスター チンハイです。そして、また「高貴な野生」はシンプルでありながら、深く心に響くマスターからの贈り物のひとつです。マスター自ら書かれた文章、撮影された写真、精選されたこの貴重な宝物は、比類なき美しい世界への扉を開きます。ここで読者は広大な空の下に住む、私たちの地球の仲間、例えば、白鳥、カモ、リス、ビーバー、さらに小さなカタツムリなどの、高貴な精神や献身を直接、目の当たりにするのです。一般的に、この動物たちは人にはとても用心深いのですが、写真を撮らせてくれました。また実際「女史」が優しく差し出す大好物を心待ちにして、近づいて来る姿さえ見られたのです。伝わってくる愛は他には類を見ないもので、尊厳と優雅さにあふれています。さらに深く永遠に続くものです。

「高貴な野生」のページをめくるたびに、読者のみなさまはきっと優美な世界に酔いしれ、心を奪われることでしょう。そして最後に、自然界の美しさとそこの住人の宝物のような本質を、理解する方法に気づかせてくださった、私たちの最愛のマスターに心から感謝します。

書籍グループ

マスターはこの本の製作に携わった下記のスタッフの努力と愛に、心から感謝しています。

Kim Joung Eun, Gary Lai, Annie Yu, Jackie, Cuties, Pearl Huang,
Nadir Yen, Eve Lin（デザイン・レイアウト）

Gary Lai, Kim Joung Eun, Wang Bor Tang,
Yu Hui-Chun, Nadir Yen（グラフィックデザイン）

Jane Chu, Lynn McGee, Grace Chen, Sun Wang (編集チェック校正)

スプリームマスターチンハイのプロフィール

スプリームマスターチンハイは中央オゥラック（ベトナム）で生まれました。マスター チンハイは18歳の時にイギリスに留学し、その後フランス、そしてドイツへと渡りました。現地の赤十字社で働き、ドイツ人の医師と結婚しました。2年間の幸せな結婚生活の後、夫の同意のもと、幼い頃からの理想を実現するため、開悟を求めて結婚生活を後にしました。そして、さまざまな国への苦難の旅が始まったのです。ヒマラヤで完全開悟した在世のマスターに出会い、旅は終わりました。マスターチンハイは内面の光と音の、神からの伝達を授かりました。後に彼女はそれを観音法門と称しました。そして修行に精進したあと、彼女は完全に開悟を遂げたのです。

真摯に真理を求める人々の切望を満たすために、スプリームマスターチンハイはあらゆる国籍、宗教、文化的背景の人々に観音法門のメディテーション法を提供しています。彼女の愛と平和のメッセージは、世界中の人々に霊的な解脱と希望をもたらし、人生において真理、美徳、美を守ることを思い起こさせてくれます。

目 次

01 愛の村　アムーラ（Amoura）

23 探検チーム　この村の女史

26 カモ　素朴で気さくな友

88 リス　大地に種をまく

104 馬　お隣さん

106 皇族カナダガン

151 オオバン　内気な世捨て人

189 カンムリカイツブリ　隠遁ダイバー

206 コブ白鳥　湖の主要な「住人」

367　小さな奇跡　貴重な庭師

375　ビーバー　ダムを建設する

386　魚　不思議な生き物

393　カモメ
社交的な旅行客
分かち合いと思いやり…

399　庭の鳥
幸運をもたらし
喜びを届ける

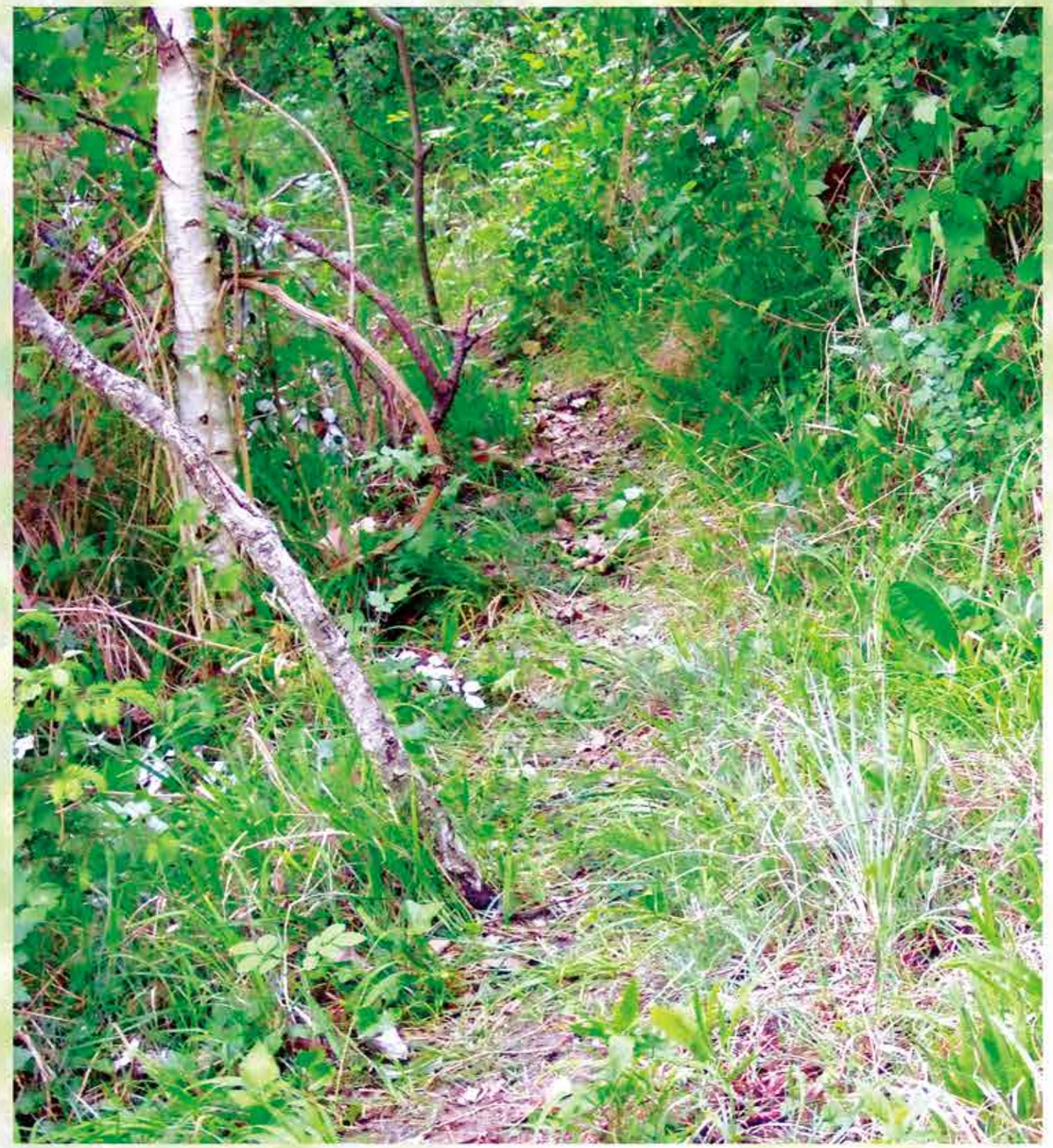
411　その他の住人

445　万物のつながり

スプリームマスター チンハイは霊性の師であり、芸術作家でもあり、内面の美を表現することをこよなく愛しています。そういうわけで、彼女はベトナムを「オゥラック」、台湾を「フォルモサ」と呼んでいるのです。オゥラックはベトナムの古称で「幸福」を意味します。また、フォルモサは「美」を意味し、その島と人々の美しさをより完全に表しています。マスターはこれらの名称を 使うことで、その土地と住人に霊性の上昇と福報をもたらすと感じているのです。

愛の村
アムーラ(Amoura)

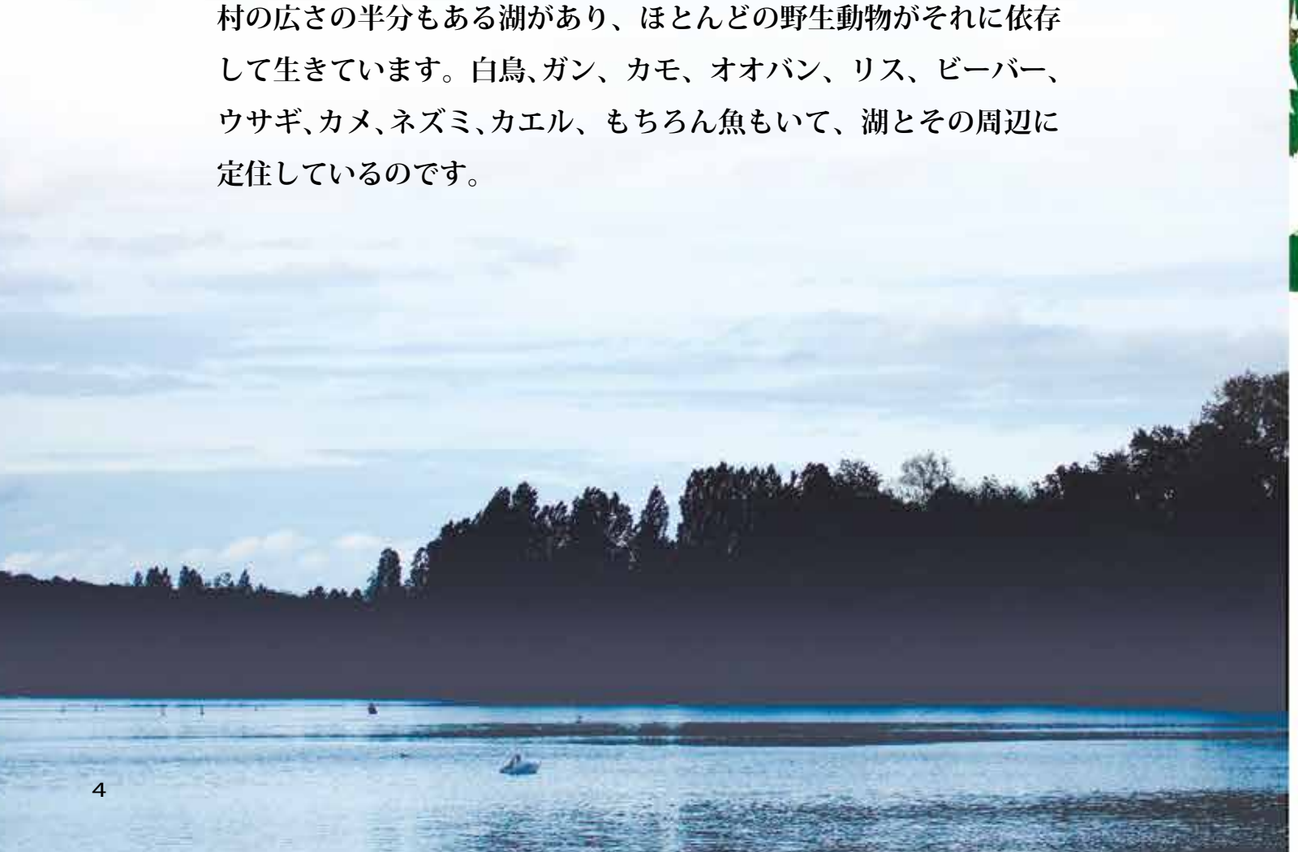
古い町と古い樹木に囲まれたアムーラ（Amoura）は、面積が220平方キロメートルあり、そこには5、6人の住人（「旅行客」が来ると人口が増加）と10匹の犬、数羽のペットの鳥と数限りないほどの野生動物が住んでいます。



カモ公爵通り

民家の庭

村の広さの半分もある湖があり、ほとんどの野生動物がそれに依存して生きています。白鳥、ガン、カモ、オオバン、リス、ビーバー、ウサギ、カメ、ネズミ、カエル、もちろん魚もいて、湖とその周辺に定住しているのです。



村の民家

村の動植物

シカとその他の動物、アオサギ、フクロウ、カモメなどは村の住人ではありませんが、よく訪れてはいつも歓迎されています。

民家へ続く階段

他にもリス、ウサギ、いろいろな種類の鳥、2匹の子ブタも村の周囲の林が好きです。この村は数キロにも広がる豊かな林に囲まれ、乗馬に絶好の場所です。

村の民家

アムーラの自然美

週末のたびに、乗馬を楽しむ人々と地面に残った馬の足跡が見られます。
旅行客もここにやって来て、新鮮な空気を吸って大自然の懐に抱かれ、
その優しさに浸るのです。

この村の端は長くて深く広い運河に、もう一方は美しい川へとつながっています。ここの景色は完璧です。美しく高貴な生き物だけが、この恵まれた地に安住するのにふさわしいのです。

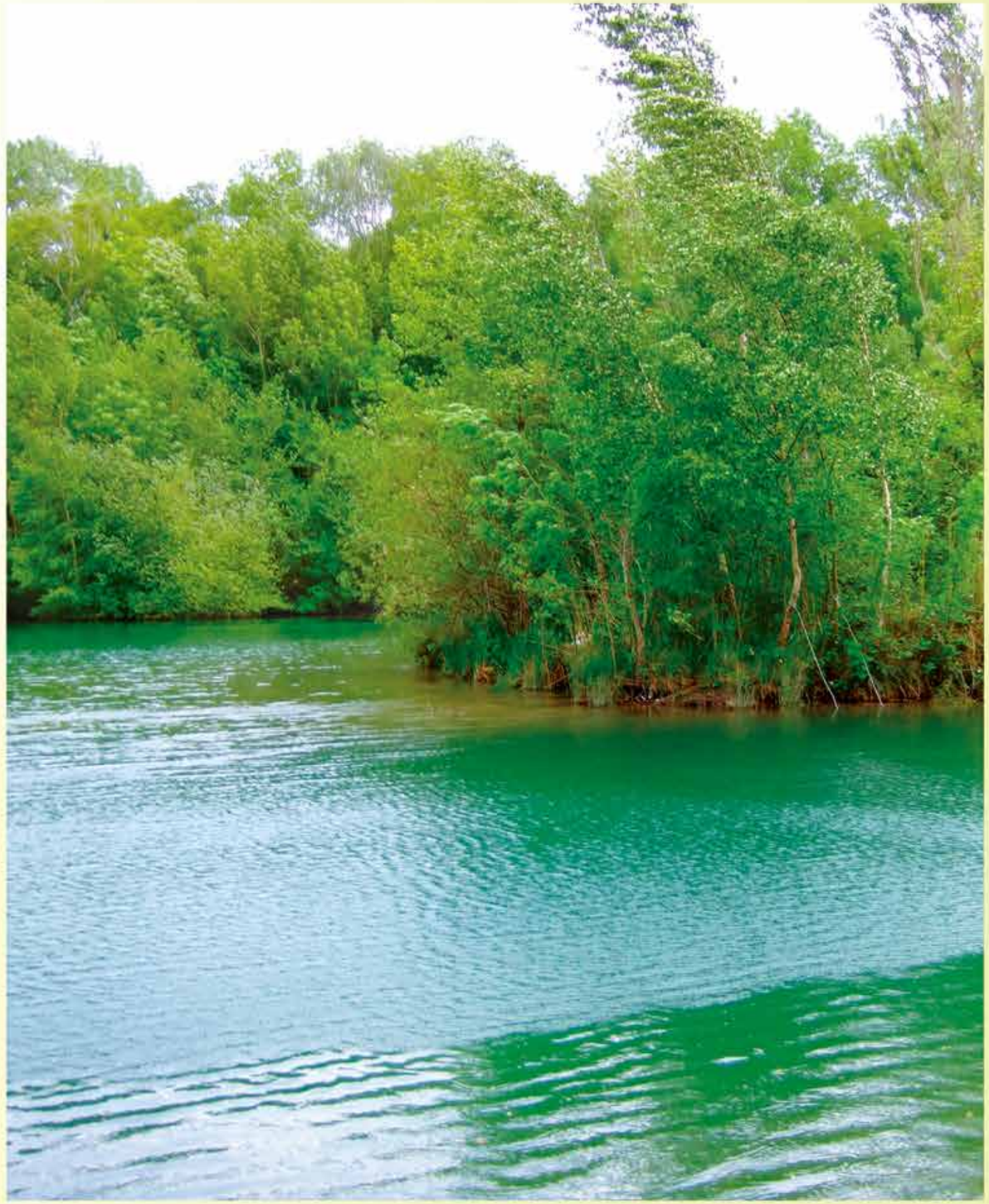
アムーラでのキャンプ

赤いガレージ
緑の駐車場

アムーラに初秋の訪れ

さあ、群れごとに 会いに行きましょう。

お楽しみください。



有名なアムーラ湖の白鳥の島
（住人はみな知っている）

長い冬が去ると(冬はいつも長い)、突然春が訪れます。一晩で芽吹いたかのようで、とても驚きます。

湖もさらに青くなり、湖畔の並木が写り込み、湖水をエメラルド色にひんやりとさわやかに染めて、心地よい夢のようですが、実際に私たちが身をもって感じられるのです。

湖に春の訪れ

アムーラ湖の
カモメとたそがれ

動物の種によっては

個々に名前があります。

ないものもいます。

草花は自然の収穫期が近いことを約束しています。鳥たちはもう頻繁に、女史から食べ物をもらうことはありません。

大自然からの贈り物がもっと豊富になり、たくさんのワクワクするお楽しみが待っています。新鮮なベリーを味わったり、友人や仲間に会ったり…

ここの暮らしは寂しい？

この「ブルーな」アオサギも同じ気持ちのよう

恋人を探してるの？

色とりどりの花々がいっせいに咲き乱れ、ミツバチも蜜を集めるのに大忙しです。アムーラも名残惜しい冬眠から覚めて、期待に満ちて大きく眼を見開くのです。

独りぼっちのガン

この独身のアオサギ、暮らしも孤独みたい

そうでもないみたい
（じゃあ）
見てみよう

村での生活は決して寂しいものではありません。一日に4回、犬の大群が村人の母屋から飛び出して来るのが見られます。あちこち駆け回り、動く物や（気分によっては静止している物）、何にでも吠えます。

そして鳥の遊び場からは、鳥のコーラスが犬の鳴き声と響き合っているのが聞こえます。本当に耳をつんざくようです。幸いにもこの場所は広く、木々もいくらかは騒音を吸収してくれます。

探検チーム
この村の女史

この女史はアムーラの住人の一人です。
彼女は周囲の探索にかなり忙しく、それにカモの群れや水鳥に餌を与えるというような、「大」仕事をしています。
彼女はその仕事に本気で取組み、楽しくてしかたないようです。

Q：一人ですがチームと言えますか？
A：言えますよ。彼女とボートのチームです。

村の探検「チーム」

カ　モ

素朴で気さくな友

…たいていの場合、彼女は外部の人には「姿が見えない」のです。でも、カモや白鳥などがやって来ると、彼女は定期的に現れます。

こちらは「リード(葦)リントン カモ公爵」

… 彼女はアムーラのすてきな片隅をよく訪れます。例えばカモ地区、白鳥の町、カエルの里、水鳥の集落など …

彼女は村の突き当りで「レストラン」を開いています。そこにはお客が群がり、列を成しておいしい食事を待っています。このレストランはランチもディナーも、いつでも開いています…

こちらがリリデール(百合の谷)カモ公爵夫人

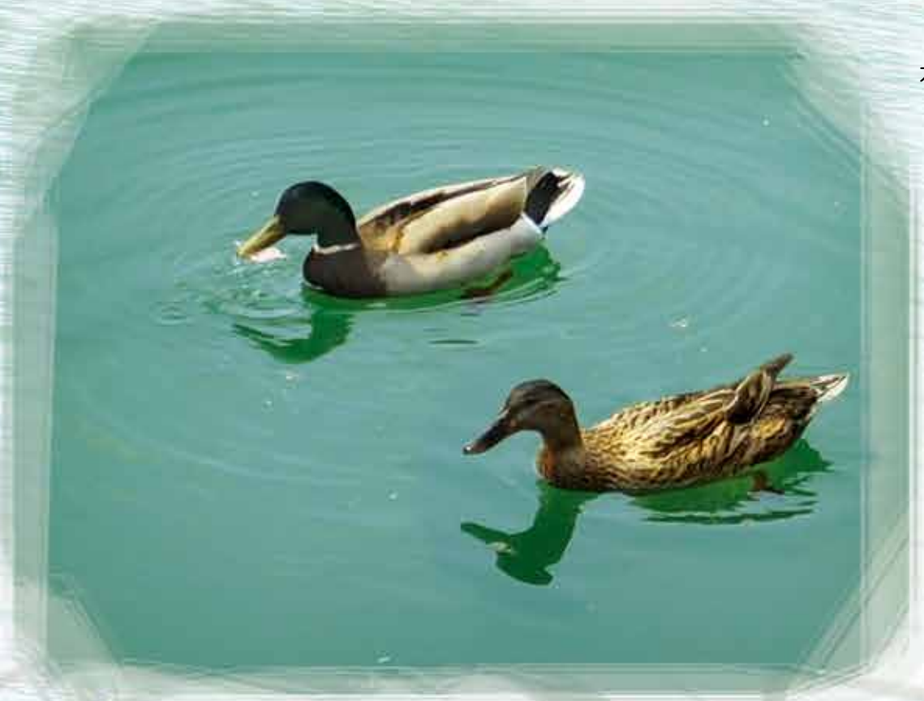
わたしよ！

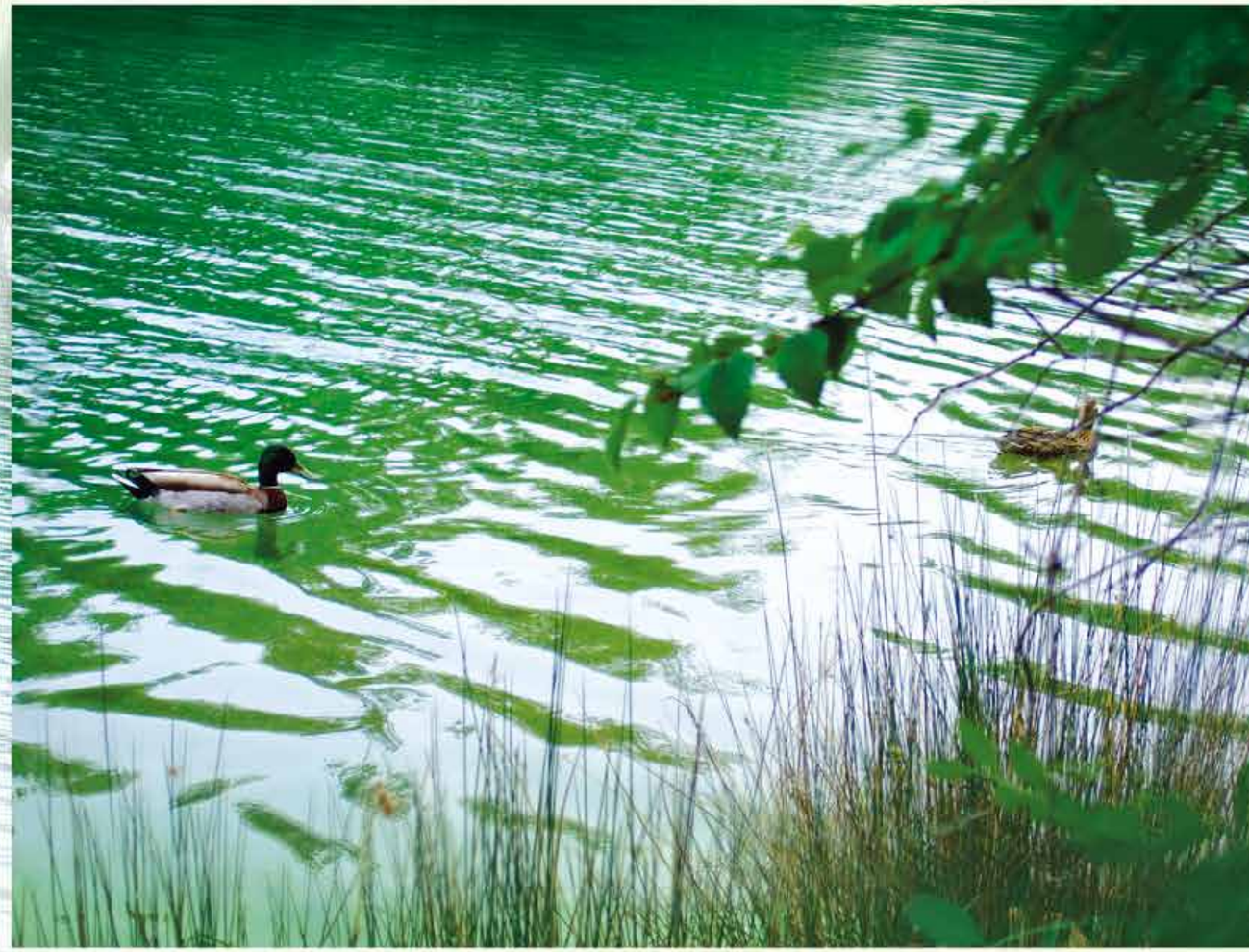
誰が寂しいの？
一緒にいるといい感じ

アムーラのカモリゾート

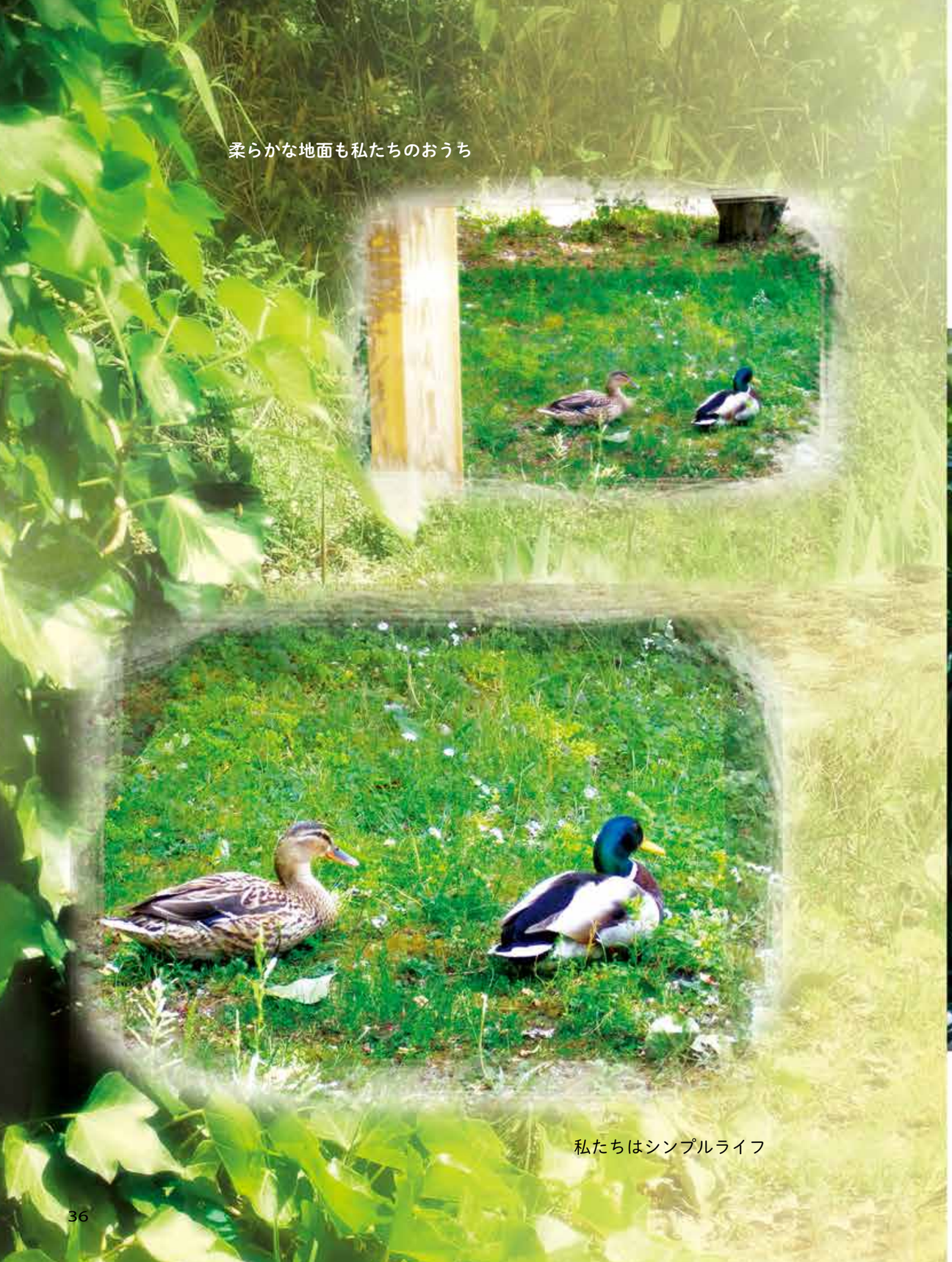
隣人がいます
誰でしょう？

そう！
ガンです

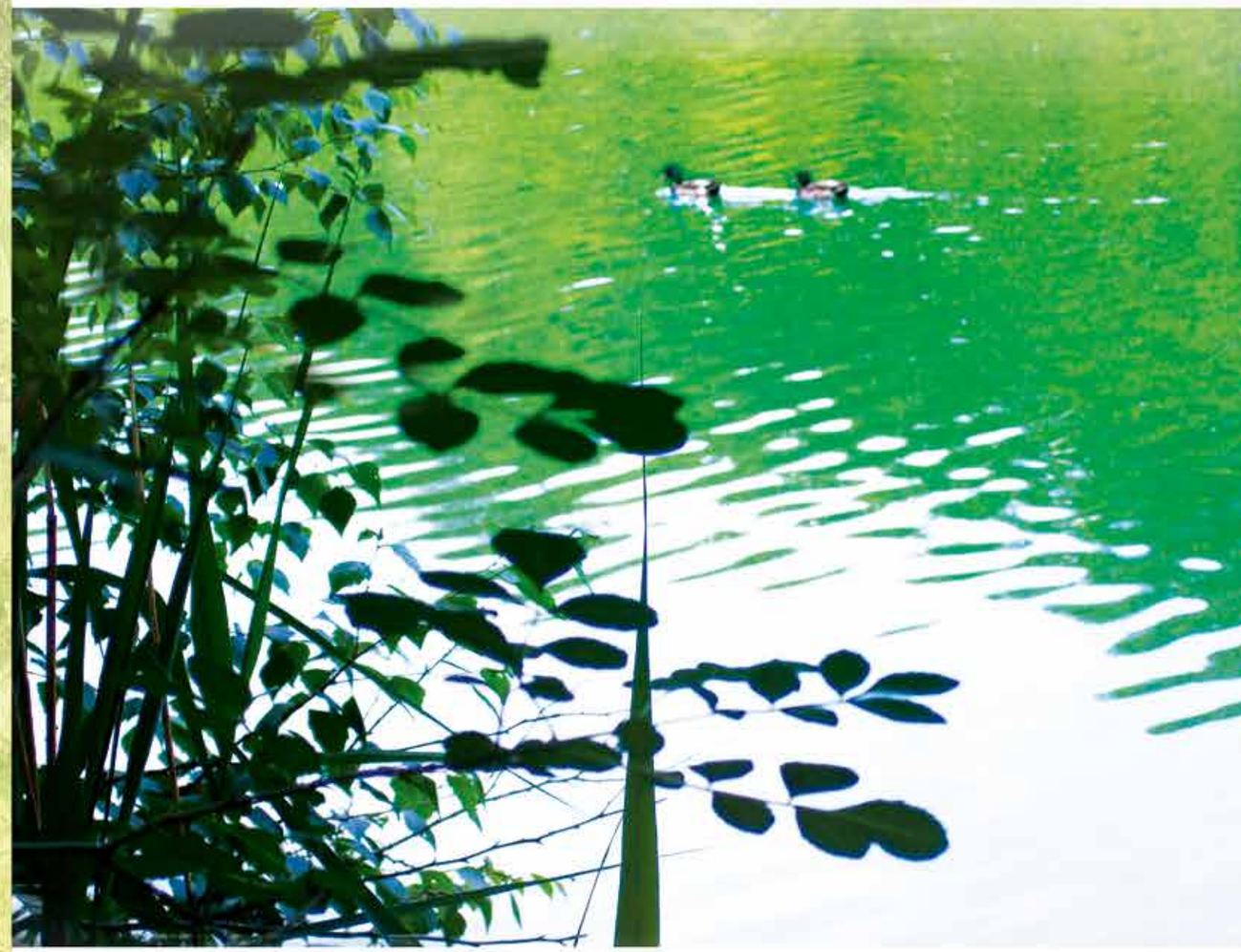




柔らかな地面も私たちのおうち



私たちはシンプルライフ



もう一羽の「寂しい」アオサギです。(そう、彼は少しブルーな気分かも)

彼 (それとも彼女？) は、よくこの独身アオサギ専用の場所で休息しています。これまで他の鳥がそこに降り立つのを見たことがありません。

彼女 (それとも彼？) は日向ぼっこをしています。そこは夕方遅くまで陽が射しているのです。

とても変わり者ですね。独身のあなたはもっと社交的になって、伴侶を探すチャンスを逃さないようにしなくちゃね。そう思いますよ。

独身地区

例えばこの二羽は、好きなだけクローズアップを撮ることができます。彼らは食べ物のために一日に 3、4 回も母屋のドアをノックするのです。

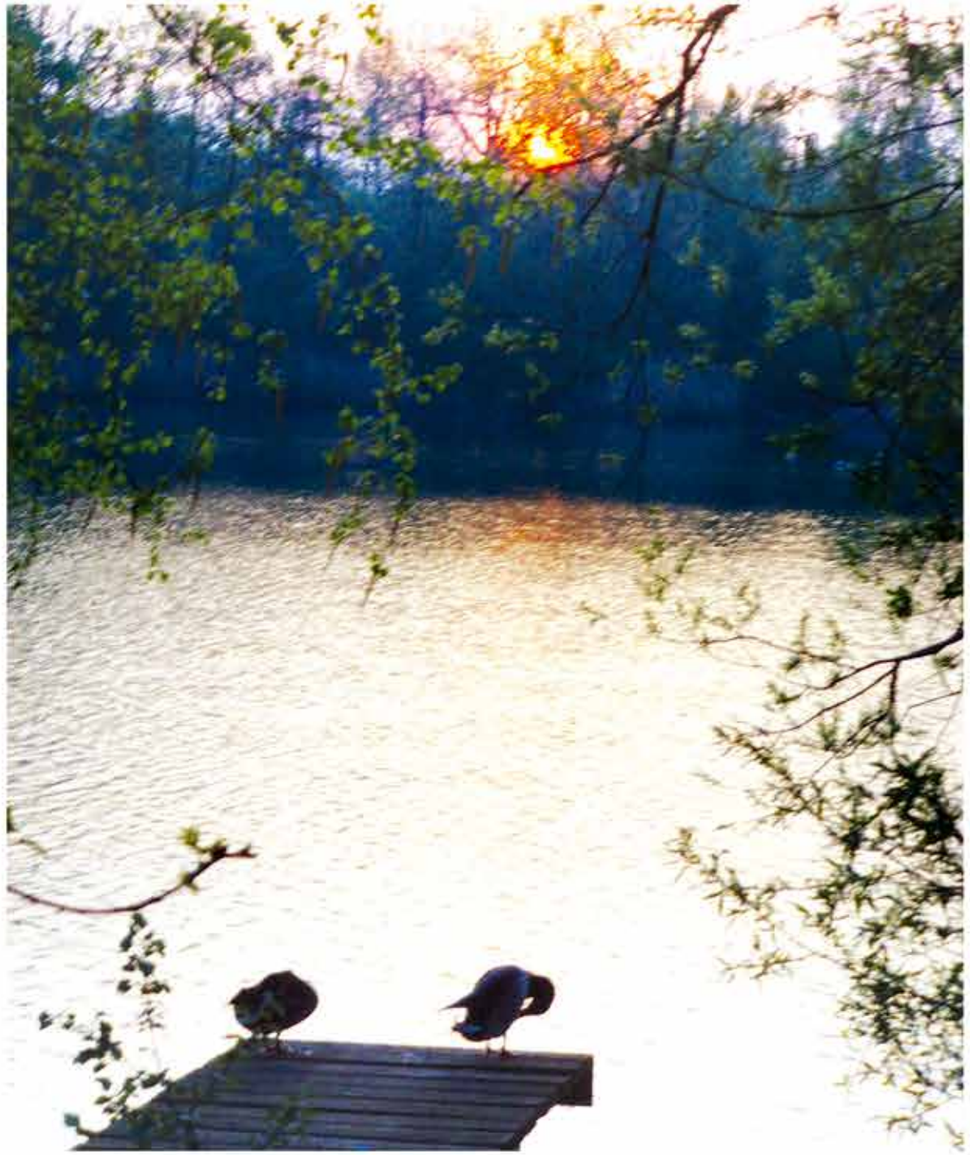
彼らは間もなく、人の手から食べそうです。

「愛とは同じ方向を見ていること」

雄ガモはとても用心深く、伴侶を守ります。

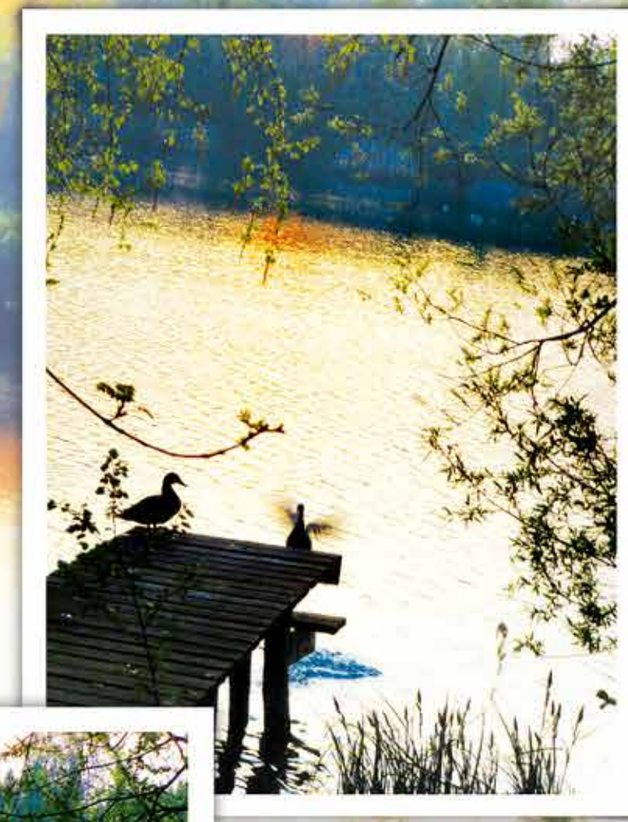
彼女が食べているときはいつも、彼が守ります。そして、彼女が水を飲みに駆けて行くと、彼もすぐに後を追いかけます。

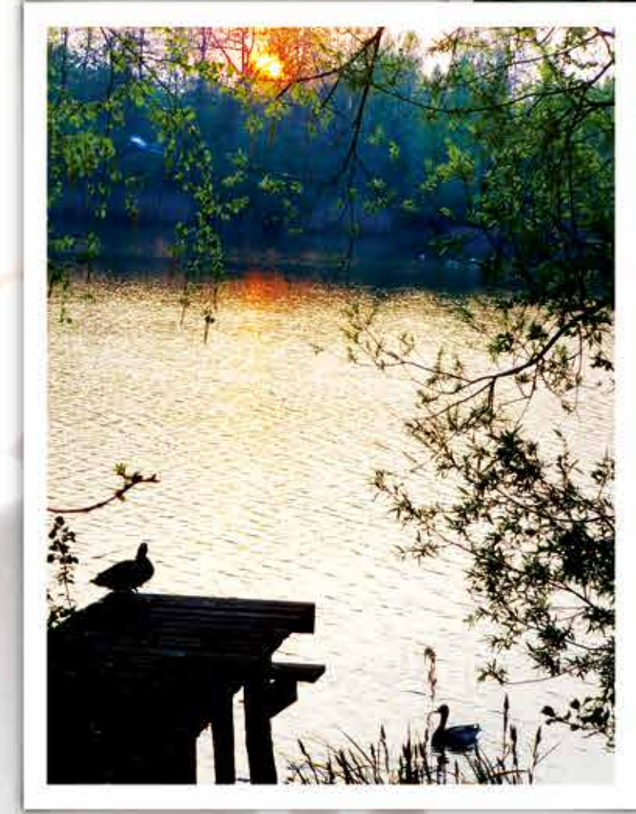
心配しないで、彼はときどき食べています。（目撃しました）



幸せなカップル
いつも一緒

鴨族のたまり場「パブ」





「上に行くよ」

彼女が食べ終えて、そばで休んでいたり、寝ていたりすると、彼はやって来て 2、3 口 急いで食べます。

彼女を追いかけて来るオスがもう一羽います。彼女は他のカモと仲良くする気がないので、彼らはとても用心深くなっています。特に彼は最愛の相手を守るために、いつも警戒しています。

そんな紳士の風格に、本当に感動します。

「ああ こうしていると
本当にいいな
そばで寝ているだけで
私たちは一緒」

あなたがこの本のページをめくる頃、秋はもうこの村を駆け抜け、
大地には金色の絨毯が敷きつめられます。到来する冬の寒さに備えて。

木の葉はさようならを告げ
花々は咲き誇り

あるものは去り
あるものはやって来る。

晩夏の花は時の流れを無視して
いまだに優美に咲き誇っている。
　　ここにいる人間も同じ
　　短い滞在に満足して。
　　まるで、この俗世の生活が……
　　…永遠であるかのように。

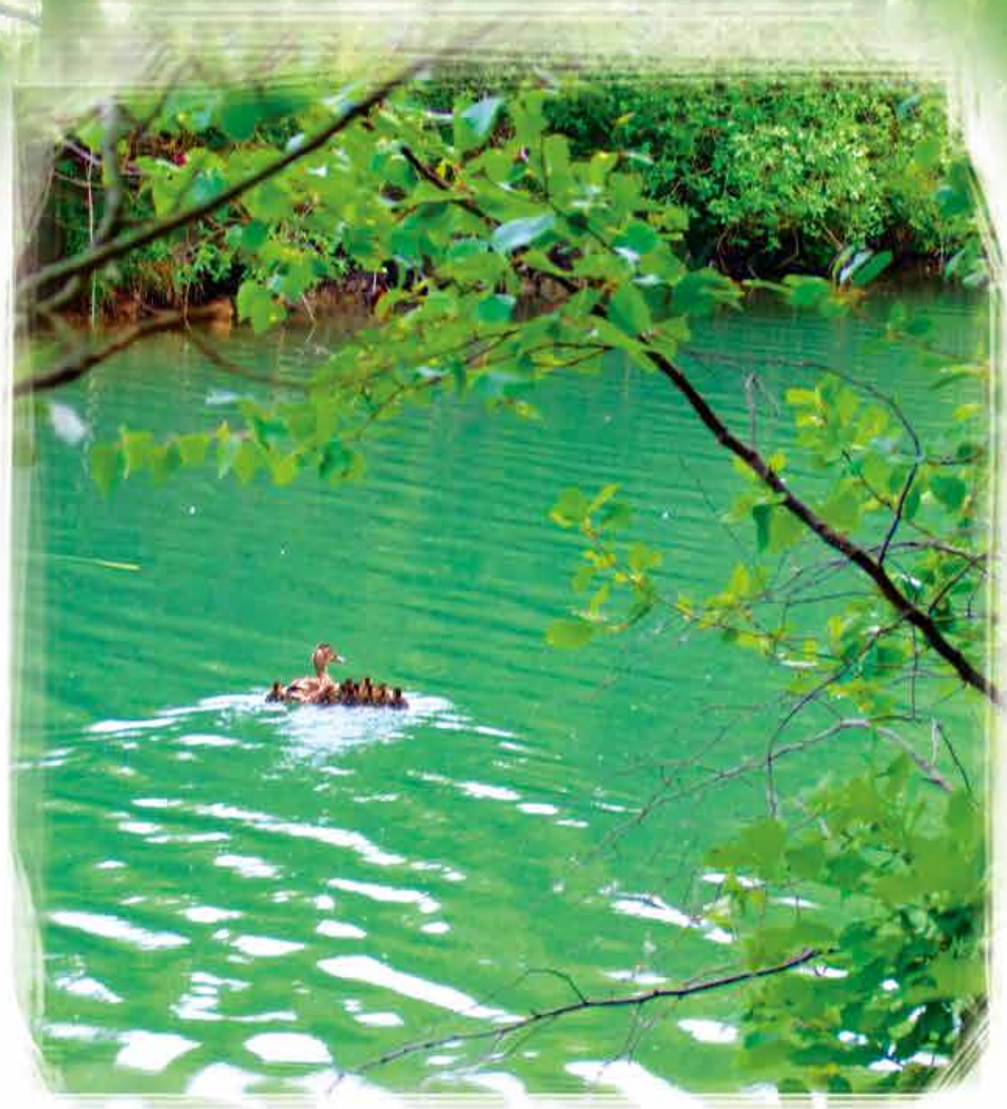
夕陽からのメッセージ
別れがあってこそ
再会の喜びがある。
　　あるものはしおれて
　　あるものは成長する。

秋の花
驚きです！

静寂の湖は
深い慰めをもたらしてくれる。
静寂の魅力
永遠に美しく
永遠に穏やか

この穏やかな静けさの中で
万物の命は豊かに育つ。
木々は青々と茂り
幼子は健やかに育つ。

あるものは花咲き
あるものは繁栄する。



「みんな こっちよ！
この高い橋を通り抜け
『レストラン』に行きましょう」

「神の恵みの中で育つのよ」

彼女は立派なおかあさんになっていました。
ヒナたちを必死に守り
責任を果たし
食べものと住みかを探します。
誰が彼女に教えたのでしょう。

いつ前進すべきか
いつ茂みに隠れるべきか　彼女はわかっています。
ゴルフカートが来ると
女史が食べ物を持って来たとわかります。
彼女はいつものように
子供たちを岸辺に集め
眼を輝かせて
尾を振っているのです。

けれども、母ガモはヒナ鳥に自立も教えました。岸辺や浅瀬の辺りに連れて行き、生えている苔をついばませます。彼らが喜んで、葦や船着き場の柱の水草を食べるのを見て、女史はとても感動しました。

なんて多くを求めない生き方を

彼らは選んだのでしょう！

彼女は一口も食べず
全部ヒナに取っておき
彼らが食べている間 そばで守っています。
危険にさらされないように

これこそ母の愛
他に言いようがありません。
共感を覚えずにはいられない。
ただ、目頭が熱くなります。

用心深い守り

日々
子供たちは健やかに成長します。
母の愛と献身は
変わることはありません。

岸辺近くの背の高い葦の陰なら
もっと安全です。
どんな小さな危険でも
母は彼らをここへと急がせます。

それでも 勇敢な母は
勇気を学ぶべき時が来たら
子供たちに向こう岸まで
泳ぐことを教えます。

わが子のため
母は何も恐れません。
そんな愛を目にすれば
石のような心でも
溶けてしまうでしょう。
ときどき 女史は
こんな野生の生き物の
愛に圧倒されるのです。
その愛を表すために
彼女は彼らを胸に抱きしめ
なでてあげたいと
思わずにはいられません。

あなたは愛の力を感じますか。
この母の目に、驚くべき勇気と
真の美しさが見えますか。

あるものは陸上で食べ

あるものは水上で食べます。
食べ物はどちらもおいしい

みんなそれぞれ
「与えてくれた人」からの
ごちそうを楽しみます。

守護天使
つつましい母ガモの姿に化身して

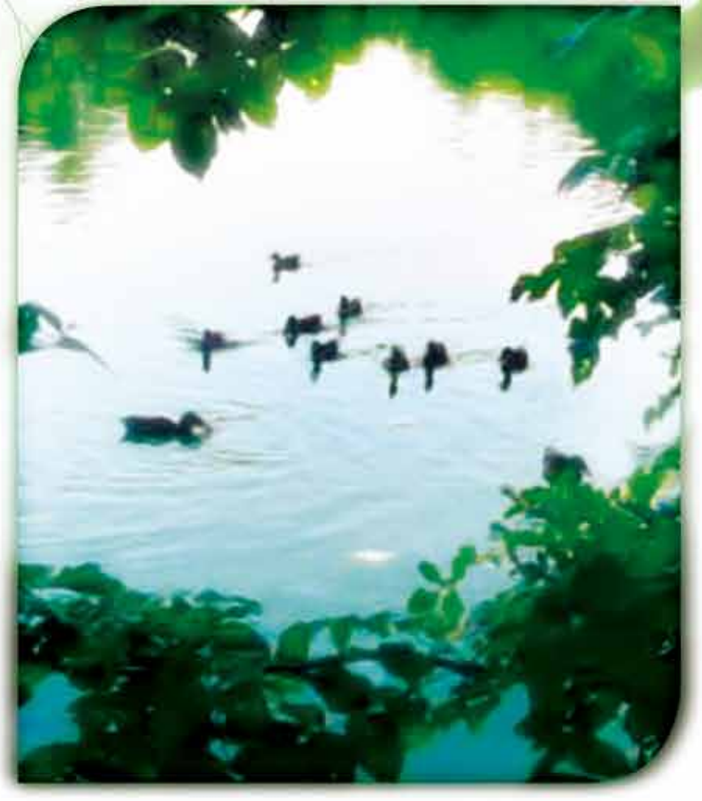
心配しないで　よい子たち
ゆっくり休みなさい。
おかあさんはずっと　そばにいますよ。
大切な宝物を見守っていますよ。

疲れましたか？
いいえ…

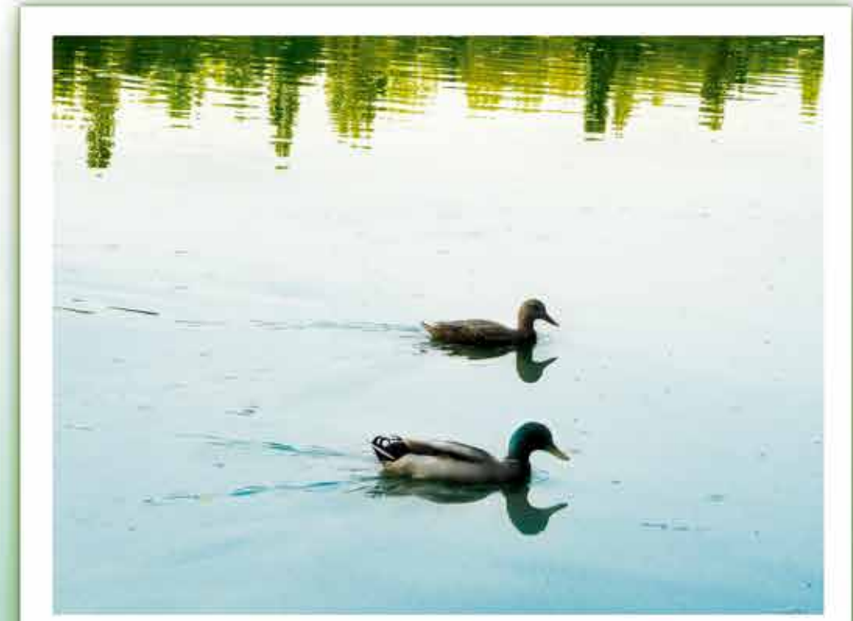
成長は……本当に早い！

カモメと分かち合う
それもいいです。

共に生きる



当ててください
誰がディナーに来たのでしょう



平和的に解決

ええ 村の「オフィス」で
仕事もします。

誇り高き母は
ヒーロー
自然のなかで

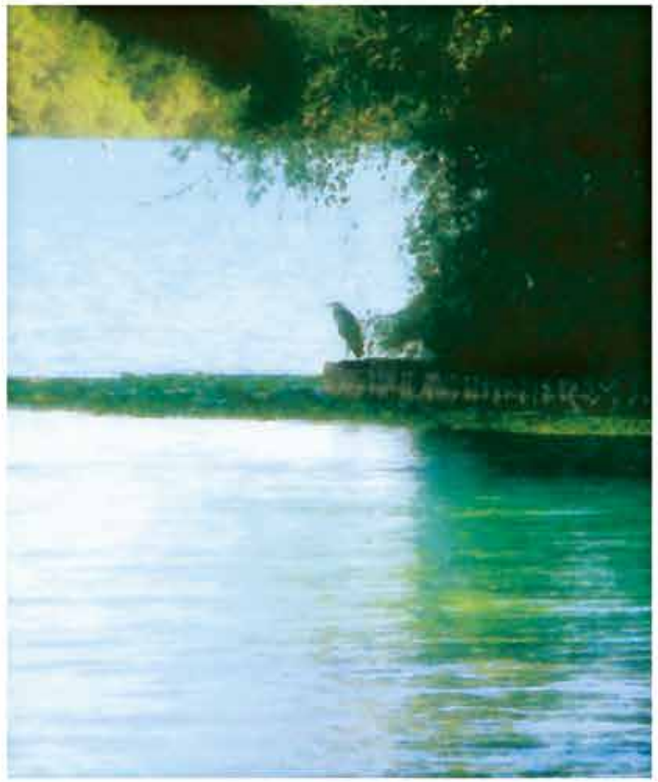
あらゆる困難をものともせず
あらゆる危険に立ち向かう。

女手ひとつで
ヒナ鳥を育てる

「いつもここにいて
あなたたちを守りますよ」

新しい仲間が
私たちのグループに加わりました。
ようこそ カナダガン

どこまで行っても
同じ水…



この彼はどうして
まだ…独りぼっちなの？

言いましたよ。
(もっと社交的になるべきだと)
まじめな話ですよ。

リ　ス
大地に種をまく

リスにも名前があるの？
ええ もちろん
驚いたでしょ？
わたしも

若いメス 名前はシィー (Sy)
とても華やかで愛らしい

この赤褐色のリスは「女史の家」の常連客
お気楽すぎる自信家に育ったので
外で食べものにありつけないと
危険を冒してでも 家の中にも入って来きます。
彼の名はフィー (Fy)

木の実があるよ
何の実だろう

彼女のNQは10%
こんな小さなお姫さまに
女神の威厳が

パンでお腹いっぱいになると
台所の入り口で
自分の携帯毛布にくるまって
その場で寝るのです。
(パンは女史の家のおごりです)

すやすやお昼寝

水を飲むには
数メートル先の湖に
行かなくてはなりません。(かわいそうに)

シィー (Sy) は赤毛の美少女。初めて草の上にパンを置いたとき、それを拾い上げて何度もひっくり返し、じっくりと調べていました。とてもかわいい。

それから首をかしげ、まるで今までにこんなやわらかい木の実は見たことがないというように、何度も何度も見ていました。

「これは何かな。大きくて四角くて柔らかくていい香り。この世のものとは思えないほどおいしそう！」

もう一匹のオスです。
ずっと大人で 体の色と知識は、はるかに深みがあります。

彼の名はズィー(Zy)

どれが木の実で、どれがそうでないか知っています。
彼は何ごとにも驚くことがない。
どこにでも行き
何もかも経験ずみ
若いリスたちに
人生について語る
とても立派な先輩。

もう１匹の「常連客」

人間は私の友だち　友だちとは

食べ物 を持っている人のことだよ

えへん！

私のへたな翻訳です。
正確かって？
保証します！

くまなくチェックして

あなたの家は私の家
（まちがいない）

どう見ても 私は自由

アムーラの種まきリス
彼らによって多くのナッツの木が育った

気の向くままに
行ったり来たり
（なるほど！）

「私たちには共通点がある。
２人ともこの家のパンが好き」

彼は木の実が大好き
彼は木の実みたい！

彼女は食べるのが速い。
まるで走っているよう
ほら ごらんなさい
もう食べちゃった。

おいしい料理の証拠

ひと休みして
湖の周りを散歩したり
花を見に行ったりしてみては…

それとも 竹に話しかけてもいい。
アムーラはあなたが大好き！

馬　お隣さん

フェンスがあっても気にしない

馬もお隣さんと仲良くなりたいのです。
（パンかリンゴは友情を深めます）

皇族カナダガン

彼女はフウ(Fou)
女史は親しみを込めて
フウフウ(Foo-Foo)姫と呼びます。
とても愛らしく
美人です。

彼女は隣の湖から来ましたが、どういう訳かしばらく
アムーラにとどまることにしたようです。
冬になっても彼女は移動しません。
彼女が定期的にやって来るのは
ここの居心地が良かったからに違いありません。

フウフウはおいしいパンを味わう

もう一羽のメスのガン
名前はシイシイ（Sey-Sey）

食事の時間に女史がシイシイの名前を呼ぶと、近くにいれば、
彼女はずっと鳴きながらアムーラ湖まで飛んで来ます。
「シイシイはここよ」と
女史に知らせるのです。

彼女は若くて独身
　きっとハンサムなオス鳥を探しているのでしょう。
　　彼女にふさわしい
　　美徳と勇敢さを備えたオス鳥を。

「なんだか寂しい
独りぼっち！」

こちらはオスの新入り
白鳥のサイサイ(Sai Sai)にはあまり好かれていません。
近寄ると、彼に追いかけられます。
コーネイ(Konay)という名で
いいやつです。

女史とガン

二人だけの世界
若いガンと
中年すぎの女史
完全に互いを
理解し合っている。

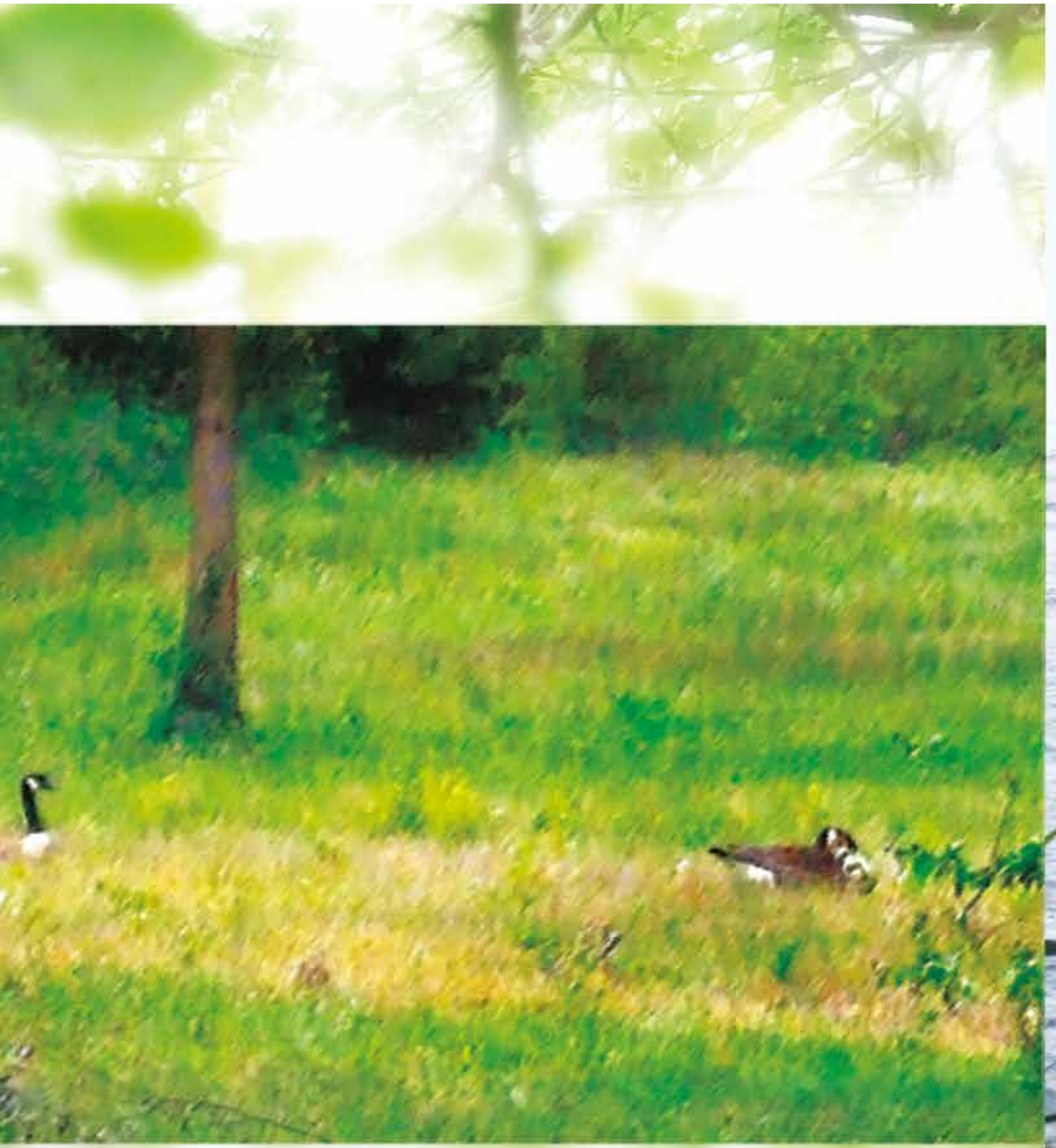
彼はよく女史の家に
食べ物と少しの愛を求めて訪れます。
時々サイサイに追いかけられます。
(サイサイは気分で誰でも追いかけますが
暇つぶしの運動にすぎず
決して傷つけたりしません)

「みんなの羽は白くて、私だけが黒い
姿形が似ていないのは
困ってしまう。
人間の世界でも
同じなのかな？」

彼女はこの美しい「家」を
誰かと共にしたいと思っています。
一方で、静けさの中
独りでいるのも神の恵みです。
でも時々
寂しさを感じてしまうのです。

あっ、もう独りではない！

フウフウはパートナーのヨウ(Yeou)を女史に紹介し
女史は心から歓迎したのです。
（女史は彼をヨウヨウ(Yeou-Yeou)王子と呼びました）
彼はとても素敵で礼儀正しいです。
フウ(Foo)が湖で水浴びをする時は
いつも近くの小さな島や
自分たちで作った湖上の愛の巣の
すぐ近くで見張りをします。



お姫さまの護衛

ほとんどの時間
　彼女が食べている間も彼は護衛しています。
とりわけ、彼らが陸に上がり
　女史の裏庭にいるときは
　　彼は彼女が食べ終わるまで
　　　直立して、全方角に気を配っています。

その後
状況が穏やかで落ち着いていて
侵入者も危険もなく
食べものがまだ得られるなら
彼は食べるかもしれません。
もちろん、女史は彼にも
　十分な量を与えます。
すると、フウフウは交代して見張ります。
彼が食べている間、彼らは「話す」ことはありません。
　まさに完璧なテレパシーです。

彼らはよく女史の家を訪ね
頭を高く上げ、誇らしげに
食事と愛をねだります。
　彼らはいつでも手に入れます。

ヒナの誕生前

ヒナの誕生後

ヒナたちが誕生してから
フウフウはほとんど寝食を忘れ
絶えず見張らなければなりません。
　彼女はさらに痩せましたが
決して気をゆるめず
大事な赤ちゃんを守ります。
　実は、二羽ともそうです。
　ヨウヨウも親の役割を
　立派に果たしていました。
　食べ物を探し
　ヒナたちを守っています。

彼らに食料を教えたり
見つけ方を教えたりします。
野生の世界には危険がいっぱい
だから彼らはいつも寄り添っています。

群れでいなさい
トラブルに巻き込まれないよう…
―いつ何が起きるか誰にもわからない―

時には父親が先頭に立ち
家族の安全のために
進路の状況を確かめます。
何かあれば、彼はすぐに自らの命を投げ出すでしょう。

…ある時、巨体の「よそ者」が
彼らに襲いかかって来たことがありました。
父親は渾身の力をふりしぼって
その「よそ者」を追い払いました。
たとえ小柄でも
彼はヒナたちの前に
翼を広げて
強そうにすっくと立ちました。
ヒナたちがみな急いで
無事に母親に追いつくまで
家族を守りました。
なんて感動的なのでしょう！

女史は涙を浮かべ…
とても心配しました！
彼らは水の中で
彼女は陸の上にいたので
どうすることもできなかったのです。
けれども、そんな勇気と高貴な愛を
目の当たりにして、彼女はとても感動しました。

ヒナたちはいつも母親にくっついて
後をついて行きます。
決して逆らわず、母親から離れません。
誰が彼らに教えたのでしょう。

彼らは、人間の知っている
どんな言葉も使いません。
でも、彼らは互いに理解しています。
おそらく人間以上に！
不思議ですね！　そう思いませんか。

彼らは話をしていません。
でも完璧に「シンクロナイズ」しています。

アムーラの収穫期

ヒナたちはすくすく育って
今では
誰が母親か、誰が子供か
ほとんど見分けがつきません。

夏になって、この「コロニー」は
さらに大きくなりました。

まあ、見てください！ええ
なんてかわいいのでしょう。
神は完璧に創りましたね。
わあ！

ガンの若者たちの
「クラブ」活動

女史はとても幸せ
彼ら兄弟たちが大きく健康なのを見て
彼女はとても幸せな気分になりました。
食べ物と愛で
彼らを優しく迎えます。

彼はとても美しい！

今までに見たことがありません。

すでに名前があります。

「オア（Or）」！

とてもカラフル　とても人懐っこい

女史を怖がらず
パンをもらいに近寄って来ます。

この「小さなエジプト生まれの子」は
養子になって愛され

ガンの「両親」に守られています。

大事な宝物のように
いつも彼の周りを取り囲んでいます。

昨日　いのち輝き

今日　朽ち果て

アムーラの素朴な魅力

オオバン
内気な世捨て人

コウ(Co)とジュウ(Ju)の
求愛のはじまり

橋のレストラン

ビーバーとオオバンが
食べ物へと競争
変なコンビだけど
目的は同じ

ここにいたり

オオバンは潜りの達人
長い時間、潜っていられます。
ハトと同じ大きさの
クイナ科バン属の水鳥です。

消えてしまったり

食べ物を運んでいる時に
女史はこの巣を発見
　　母親と父親が昼食に行っていたので
彼女は急いで木に登り
両親が戻って来る前に
この写真を撮っています。

　　春はたくさんの花々だけではなく
　　たくさんの贈り物もあります。
　　長い冬が終わると
　　新たな命が生まれるのです。

＊巣を守るメスのオオバン

オオバンは、白鳥、ガン、カモに比べて
はるかに隠遁者のようです。
かなり小さく
たいてい他の水鳥がいる時だけ
近くにやって来ます。
　そうでなければ
　人間が見えなくなるまで待ちます。
　女史が少しでも動くと
　彼らはいっせいに飛び立ちます。

でも、毎日三回
女史が食事を与えに近づくと
一つがいだけは
駆け寄って来ます。

片方または両方の親が
巣で抱卵していても
気をつけてください！
食べものをあげるだけで
あまり近づかないように

こう書いてあるかのようです。

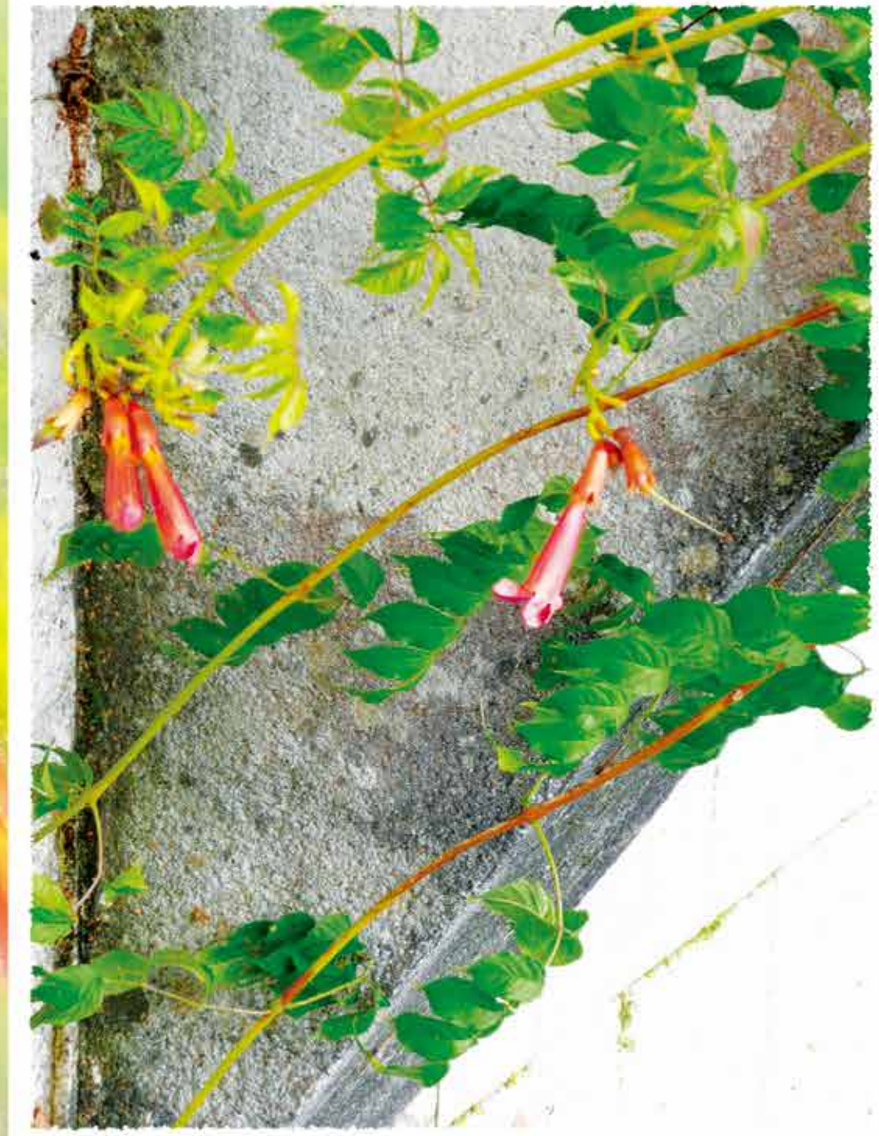
「ランチを食べたら戻ります」

末っ子は座って帰りを待つ
兄弟は両親とお出かけ

母親が食べ物を
見つけられなかったときのために
女史は少しのパンをここに置きました。

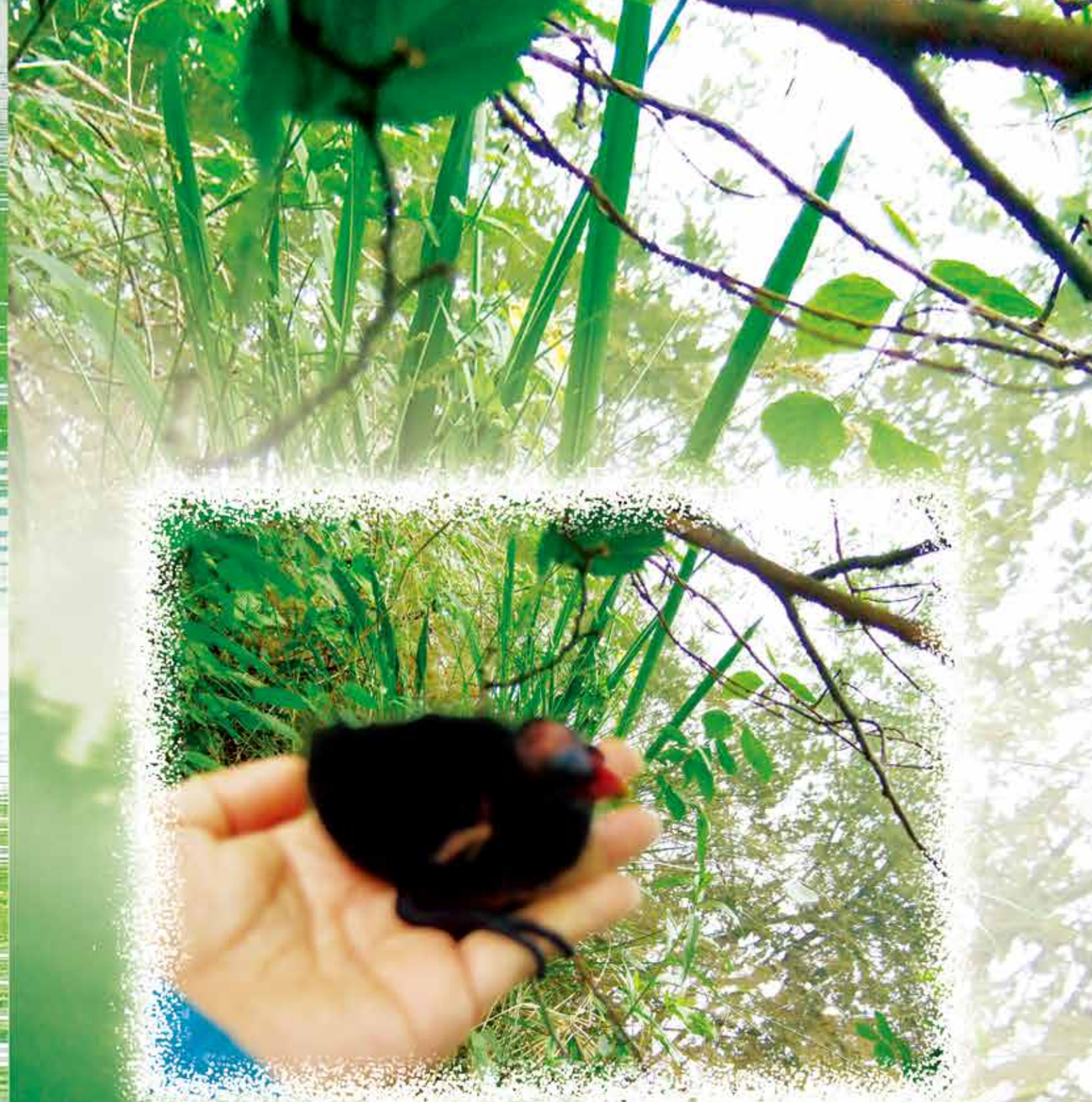
さらに、もう一羽が生まれそうです。
母親はがまん強く
女史は「待ちわびて」います。

両親は行ったり来たりし続けています。
巣を放棄したわけではありませんが
他のヒナもいるので
世話をしなければならないのです。



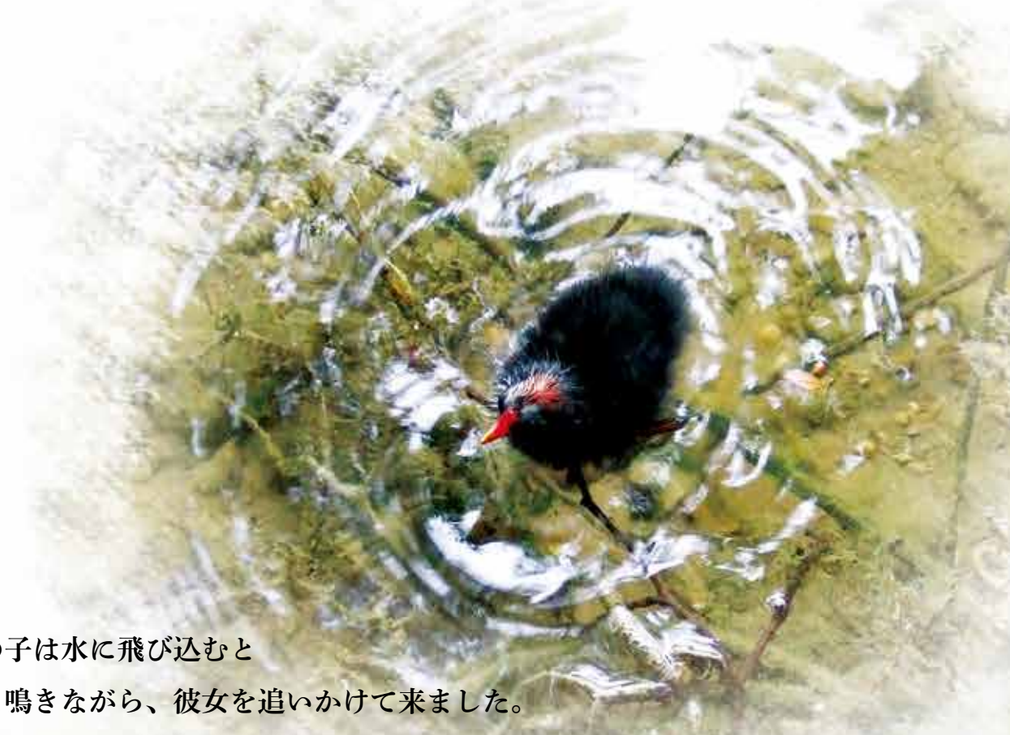
この有名な、
すごい泳ぎをするという
大きな足を見ましたか？

このちびっ子は間違った方向に進み続けたので
女史は「救出作戦」に出かけなければなりません。
ちびっ子をボートに乗せて
両親のもとへ運びました。



「ここは快適だな
動きたくないや」

「私はあなたのおかあさんじゃないのよ」



でも、その子は水に飛び込むと
チッチッと鳴きながら、彼女を追いかけて来ました。
彼女はこの愛しい子に
自分は母ではないと説明しました。

「彼女」に付いて行きたい

「ねえ、あなたの愛はうれしいけど
お願いだから、群れに帰ってね。
あなたがいないとおかあさんと
おとうさんが心配するわよ」

また、ここにも巣が
おやまあ！
なんて「不思議に満ちた」
世界なのでしょう。

桃源郷

春の歌

また、もう一つの巣が
彼らは絶えず繁殖しているのです。

兄弟はみな、もうここにいます。
末っ子だけは
急いでいません。

いずれにしても
こんな愛の仕事
芸術的なデザインを
誰が教えたのでしょう。

「あなたは好き
でも あまり近づかないで」

女史が近づきすぎたので
怖がらせてしまいました。
他の子はみんな両親と走り去りましたが
一羽だけここに残され、鳴いています。

引っ込み思案で人を怖がっているかもしれませんが
－誰もがそう思っていませんか？－
両親は子どもを守るために近づいて来ます。
愛は恐怖に勝るのです。

女史は涙を流しました。
「ごめんなさい
傷つけるつもりはないの
すぐに離れるわね」

「ただ食べ物をあげたかったの
これからは…
こんなに近寄らないから」

パニックになった両親は
行ったり来たり…
大きい子を隠し
このちびっ子を守ろうとしています。

こういった心配りを
誰が教えたのでしょう。

子育て中

父親　母親　オオバンのヒナ
女史からのパンを楽しむ

ヒナが生まれて、ずいぶん経って
女史は彼らの信頼を取り戻しました。
そうでなければ、彼らは岸の近くに隠れて
両親が交代で食べ物を運んだでしょう。
こちら岸から向こう岸まで
その「旅」はきっと遠かったでしょう。

女史は自分も飛べたらいいなと思います。
ここに、あそこに、彼らに食べ物を届けられます！
オオバンの母親はそんな長い距離を
ひとかけも残さずヒナたちに運びます。
女史の心はそんなに優しい愛を感じ
何とも言えない気持ちになりました。

彼らはくちばしに一片くわえて
泳いで行き、ヒナたちに食べさせます。
見ていて心温まる光景です。
愛の中で彼らは育てられ
愛の中で彼らは成長します。

―誰が彼らに教えたのでしょう。

私たちは団結した家族

「橋のレストラン」の建設

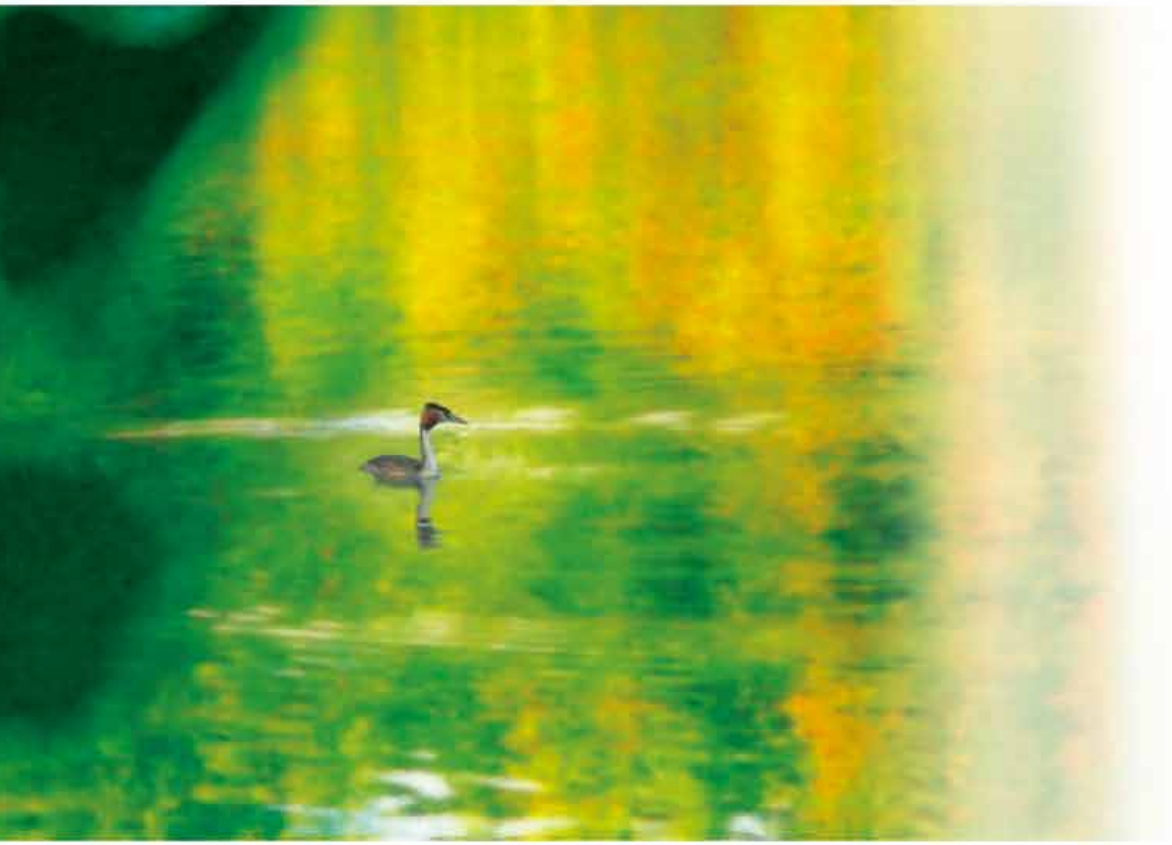
女性一人、男性二人
ケーブル、フェンス、
三日間で、コンクリートなし
女史が「設計技師」
男性二人は優秀な助手

白鳥の島へのアクセス。
上の写真の「白い点」は
抱卵中の白鳥です。

カンムリカイツブリ
瞑遁ダイバー

光陰矢のごとし

この写真はこれでもう
ベストです。
とにかく彼らは
カモと同じくらいのサイズで
ほんの少しスリムです。
（とにかく秋の湖の色彩を楽しんでください）



もっとよい写真が撮れるほど、
この美しい水鳥は近づいては来ません。
パンや食べ物では彼を誘惑できないのです。
彼らは潜水と泳ぎしか興味がありません。

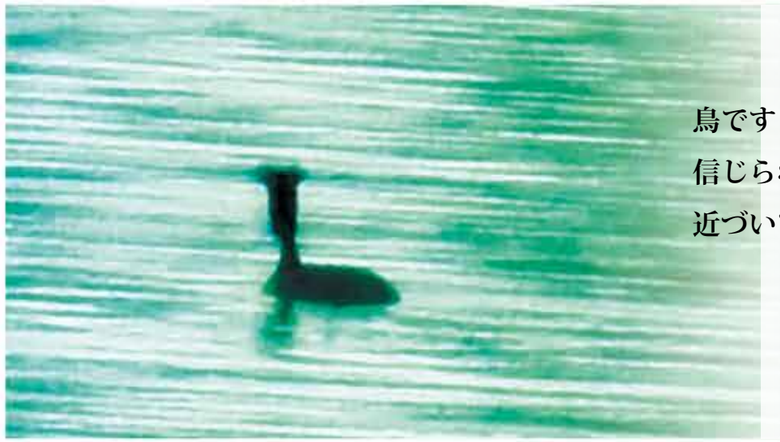
この写真にがっかりしたら
これ以上見ないでください。
さらに良くない写真が続きます。

まあ、ないよりはましです。
少なくとも彼らの存在はわかります。
双眼鏡で見ると、彼らは魅力的です。

鹿の小道

秋の気配

ええ！ 私も同じ答えを待っています。
いいえ違います。金づちではありません。
これはカンムリカイツブリです。



鳥です！
信じられないのなら
近づいて見てください。

ああ、さらに遠くに逃げました。
もっと良い写真を撮ってみます。
(本気です) いいですか？

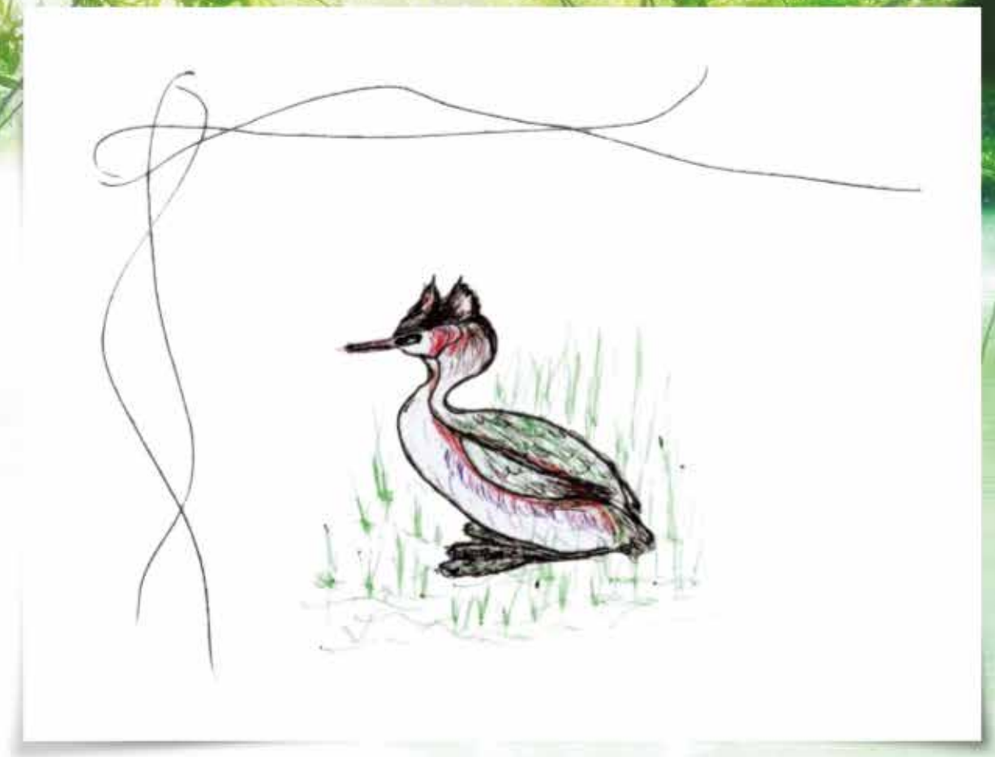
カンムリカイツブリ（チンハイ画）

双眼鏡で観察

コンピュータのおかげで、彼は大きく「成長」しました。

大きなカンムリカイツブリ

さらに大きなカンムリカイツブリ？
（ハハハ！いいえ、同じ鳥です）



カンムリカイツブリ（チンハイ画）
双眼鏡で観察

さっきの鳥の絵が気に入らないといけないので。
これはたぶん彼の兄弟かも。

輝く夏
花々からの伝言

コブハクチョウ
湖の主要な「住人」

ジーナ(Gina)と
モルウェイ(Moruwey)

このコブ白鳥から始まりました。
美しく、若い独身の白鳥が
女史の家を訪れました。
彼女の名はジーナ（Gina）

2人は友だち

ジーナと女史

ジーナには愛する娘がいます。
彼女の名はモルウェイ(Moruwey)
彼女はカモメと一緒にいるのが好き
（なぜかって私に聞かないで！）
彼らはとても仲良し

それもそのはず
平和で 穏やかですから

彼女たちを見て！
言いようのない美しさ
生まれつき友好的で、人懐っこい

なかよしのこの３人
いつものランチを分け合いながら
楽しく「おしゃべり」をしています。

けれども春になると
彼らは旅立ちました。
再会と別れ
そう昔から、それが人生です。

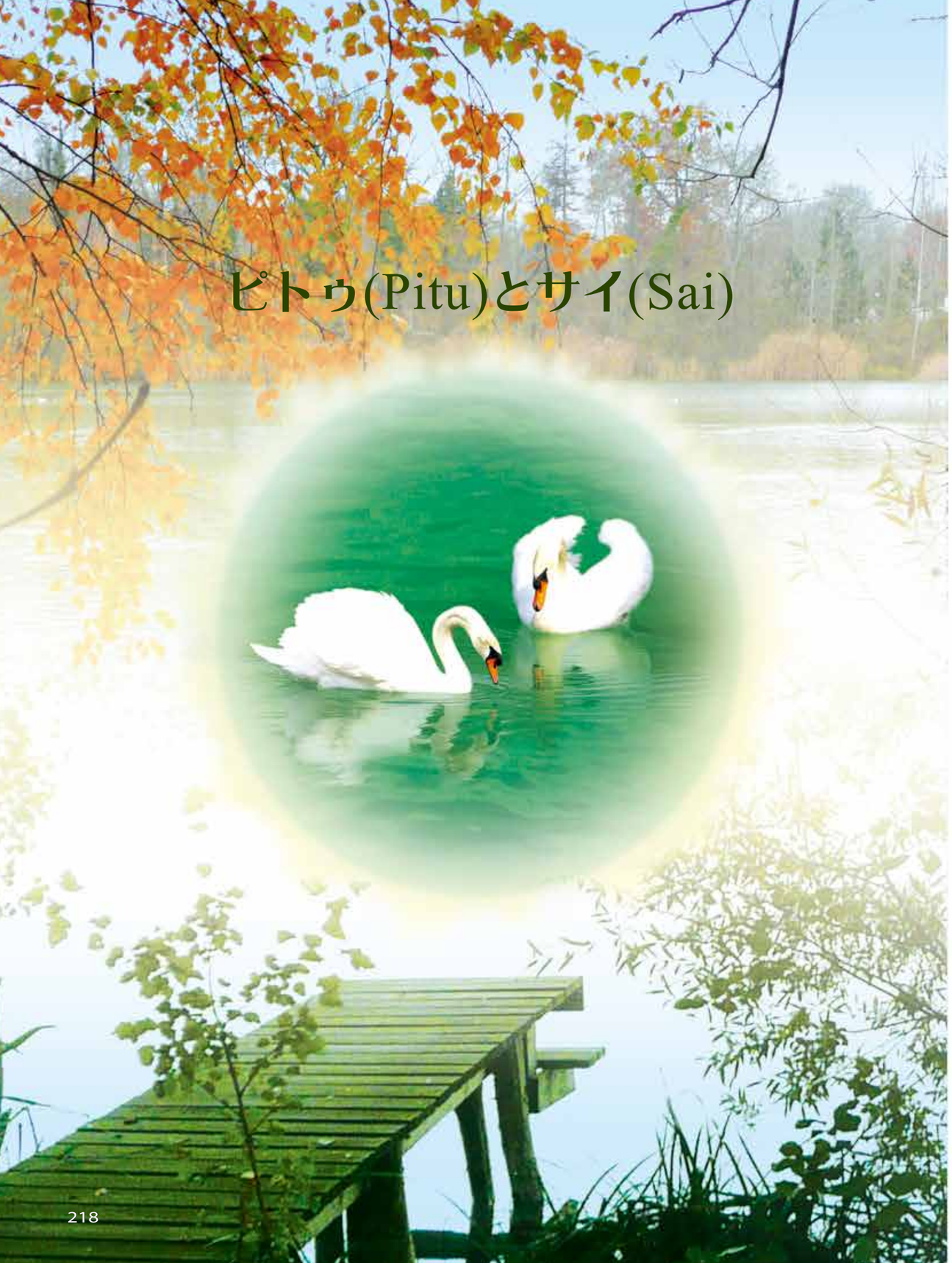
ところで、
「昔ってどれくらいの年月？」

さようなら

「私たちには言葉はいりません。無言でコミュニケーションできるのです。愛、調和、平和について語る必要はありません。私たちはその中で生きているのです」

ピトゥ (Pitu)

ピトゥ(Pitu)とサイ(Sai)



しばらくして
この美しい白鳥がやって来ました。
彼女はやさしくて若くて、美しい
女史と友達になれたらなあ。

「彼女は『ピトゥ』」

(Pituと書きます)

はるか遠くからやって来ました。

故郷はフィンランドということです。

自分に向き合ってるの？

ひとりぼっちの美しい白鳥

アムーラの湖で
彼女は独り、大いに
自由を楽しんでいます。

自然の生息環境の中で
ピトゥは華麗で
美しく聡明

ピトゥはこの住みかを満喫し
独りでいるのが好きなようです。

ほどなく

「意中の人」が現れました。
彼の名はサイ（Sai ）
インドから来たとのことです。

ハンサムでタフでたくましい
100％男らしい男

混雑するレストラン
看板メニュー
（全粒粉のパンとレタスが人気）

次世代の者たち

愛し合う一組の夫婦は
次世代の子作りを始めました。
ピトゥが抱卵しています。
女史は彼女を気遣い
食べ物を持って行って世話をします。

ボートを漕いで毎日訪問

リトルプリンセス島

どんな苦労もいとわない、最良のおかあさん達にとって
どれほど離れていようが、問題ではありません。

「ずっと昔もそうだったように
あなたの家族の面倒を見ますよ。
親友に再会できて本当にうれしい。
羽の下に卵はいくつ？」

こんなにたくさん。
大好きな、かわいいピトゥ
あなたを誇りに思いますよ。

一対一
(一羽は巣の中に
一人はテントの中に)

「飲みものを持って来てくれるなんて
思いやりがありますね。
でも水は湖から、たくさんもらえます。
ありがとう」

サイサイは白鳥島に上陸すると
巣にやって来て少し休みます。
ピトゥのそばに寄り添いながら…
(彼女は寂しいと感じたことはないのですが)

ピトゥは抱いている卵の向きを変え
サイサイは近くで見張っています。

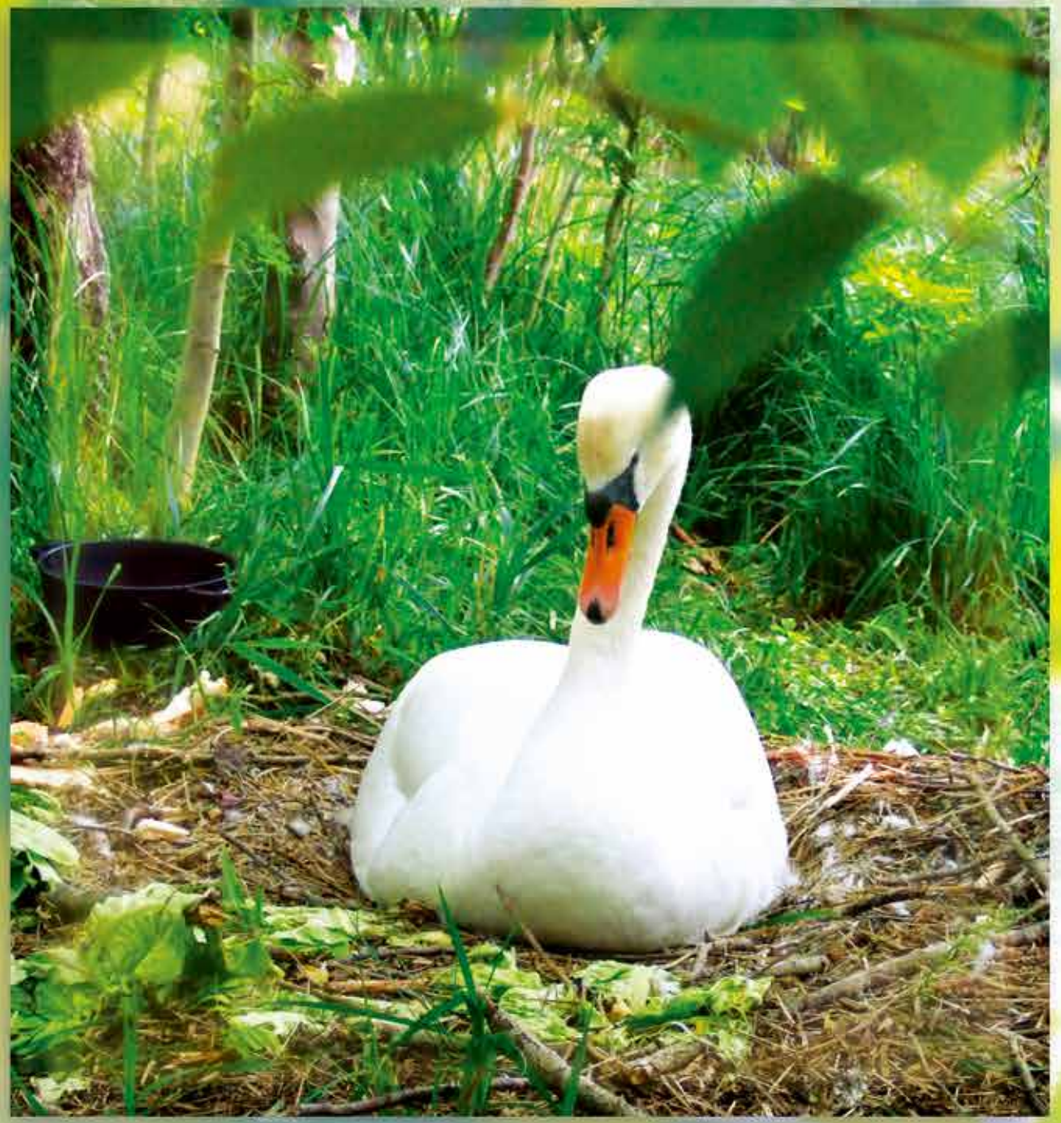
…そして いとしい妻と幼子たちを守るため
彼はほとんど、水上で見張っています。
(…ここに近付いてはいけません。
サイは本当にあなたを震え上がらせますよ)

誇らしげに橋を渡るレストランのオーナー

母親と生まれて来る子供たちの間で
「親子の交流」が始まります。

ピトゥは自分の柔らかい羽毛を引き抜き
巣に敷き詰めて、さらに柔らかくします。
昼も夜も 雨の日も晴れの日も
彼女は生まれて来るヒナ鳥を命がけで守ります。

女史は毎日、ピトゥとサイサイが
大好きな軟らかいパンや
レタスとホウレン草を届けます。



ダイニングルームでもある、巣の中のピトゥ

女史は彼らが必要とする物、すべてを届けます。
彼らの隣でキャンプもしました。
（名案ではないので、真似しないように）

白鳥は女史の往来を気にしません。
それまでにとても慣れていましたから。
それでも距離を保つのが最適です。
彼らは必死で家族を守ります。

ある日 女史は木の棒で
巣の中の異物を取り除こうとしました。
ピトゥの体に突き刺さりそうだったからです。
すると彼女は怒って騒ぎ出し、追い払うためにサイを呼びました。
彼はすぐさま飛んで来ました。
大きな体を膨らませて前進し
攻撃態勢でシーっと威嚇しました。

これは「連絡吊り橋」
女史はより速く、より安全に
島に行くために使う
（時々、サイはボートの進入を許さない）

サイは女史を隅に追い詰め、危うく倒すところでした。
彼女は言いました。「私はいい人よ、いい人よ。
ピトゥを助けたかっただけ
彼女の首のそばにあった枝を取り除こうとしたの。
あなたたちのためにしたのよ」と。
彼はそれを聞くと すぐに落ち着いて
湖へと戻って行きました。危なかった！

その後、女史はテントを
橋のそばの高台に移しました。
ここから、白鳥たちを見守り
小さなヒナたちの誕生を待つためです。

白鳥島の
女史のテント

生まれてくる者たち

もう一度聞きます。「一人ですが探検隊と言えますか？」
どうでもいいでしょう！

かわいいヒナが生まれましたよ。
誰が彼らを
こんなにかわいくしたのでしょう。
女史は大喜びで
わが子のように世話しました。

みんな待ちわびていますが
この子は生まれて来たくないようです。
まあ、いいでしょう。来たくないなら。
天国にいる方が心地よいと
思っているかもしれません。

彼らの邪魔をしたくなかったので
女史はテントをたたみました。
彼らのプライバシーを尊重して
近くの別の場所にテントを張りました。

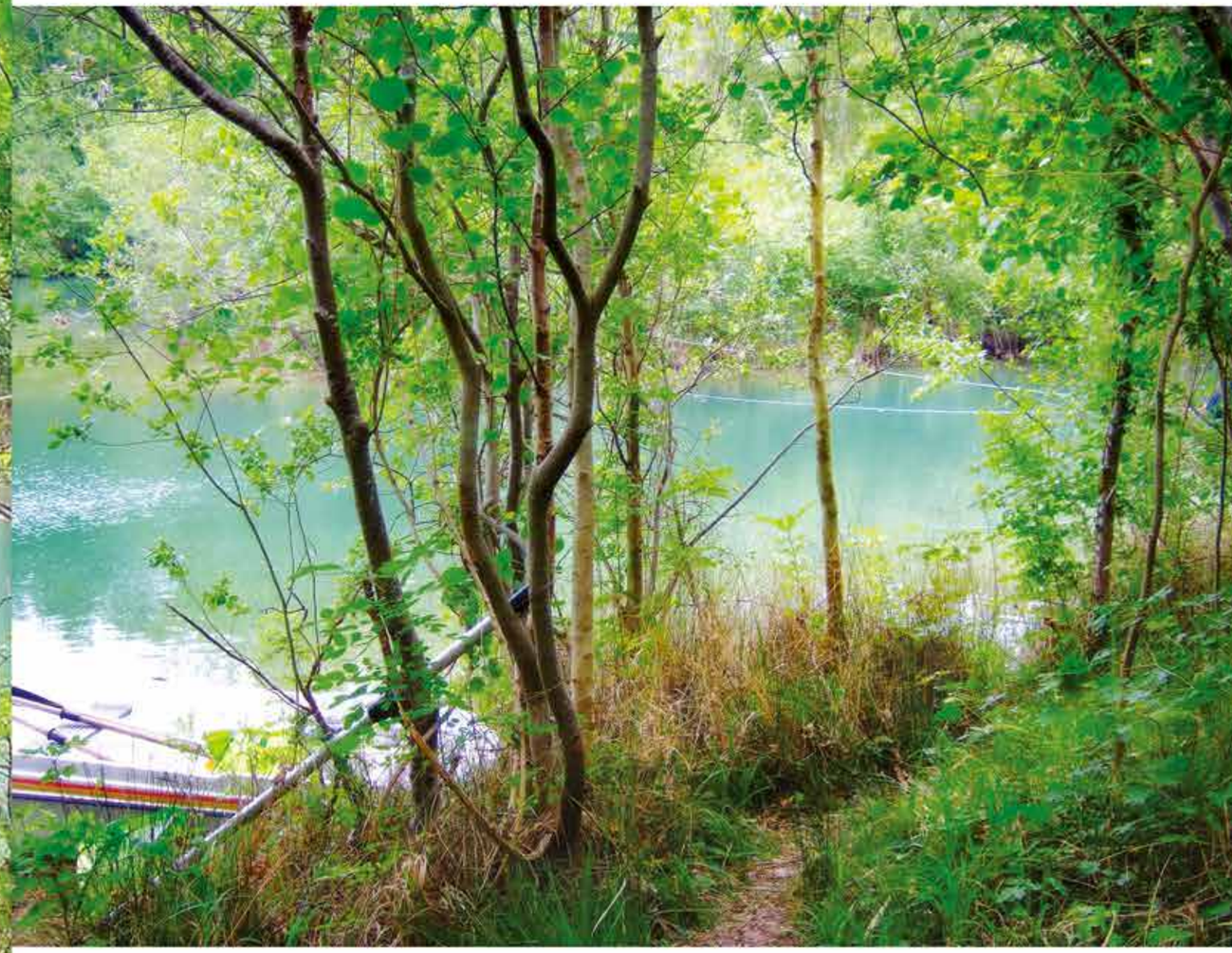
今 見えています

今 見えません

探検に出かける前に
しっかりと大事な指示を聞きなさい

初めて湖におでかけ
おとうさんと一緒に

サイとピトゥを見分けるのは
それほど難しくはありません。
サイは大きな体に黒い足
ピトゥは細身に淡色の足で上品です。



ピトゥはサイより高貴で
優雅で穏かで美しく
彼女には尊敬と称賛を集める
生まれ持った何かがあります。

未知の水域では
おかあさんが頼りです。

楽しいわが家

生まれて15日目ほどの光景
ヒナたちはもう旅に出かけられます。
女史に感謝を伝えるためにやって来ます。
彼女はうれしそうに
新メンバーの家族を迎えます。

訓練がつらいとき
風が強すぎるとき
素晴らしい交通手段です。
速くて、快適で、便利

子供たちが食べやすいように
サイは食べ物をかみ砕きます。

兄弟姉妹はずっと食べていられますが、
両親は、 抱卵と子育ての期間
ほんの少しうたた寝をするだけで
寝食を忘れ、休んでいる姿はほとんど見たことがありません！

春半ばになっても まだとても寒く
夜の気温は5、6度にまで下がります。
ピトゥはヒナを守るために巣に座っています。
サイも冷たい湖水で、一晩中眠らず
徹夜で守っていました。
女史は近くでキャンプし、サイサイに食事を与えました。
彼はよくやって来ては、急いで一口食べていました。
ピトゥはもう長い間、何も食べていません。
誰が彼女の体力と強さを維持させているのでしょう。
誰が夜通しサイサイを暖めているのでしょう。

ヒナが孵化した後でさえ
ピトゥはほとんど食べたり、休んだりしません。
体重は減って
羽毛は薄くなってきています。
巣に敷き詰めるために、羽毛を引き抜いたので
今では彼女の翼には羽が半分しか残っていません。
それを目にして、女史の涙は止まりませんでした。

地面が絨緞に変わりました。
その幼い柔らかい足を受けとめるために。
どんなに愛されているのか
あなたたちは、わかりますね！

翼が半分

羽が生え揃うのを待っています。

翼が半分しかない

飛べないし、飛びたいとも思いません。
生活はちびっ子たちに縛られています。

ピトゥ(Pitu)の弱った姿を見ると
女史の心は痛みます。
女史はピトゥの名を呼び続け、食べるよう促します。
食べてくれるときもありますが、ほとんどの場合はダメです。

こうして、ちびっ子たちは日々成長し
ピトゥと子供たちへの
女史の愛は日々深まります。
女史はサイ(Sai)のことも愛していますが
母の白鳥をとても心配しています。

ピトゥはいつも最愛のわが子を見守っていました。時には魚の群れやまた、ある時はビーバーなどの侵入者を近づけないよう、追い払います。白鳥の子供たちはまだ、か弱く小さいのです。誰もピトゥを責められません。

女史はピトゥに食べるよう説得し続けました。

「さあ、ピトゥ(Pitu)。どうか食べてちょうだい。そしたら健康と体力を維持して、子供たちの世話ができるのよ。ピトゥお願い！ そんなに痩せ細って、ほとんど休んでないのを見ると心が痛みます。どうか食べてちょうだい」

それから、彼女はパンを小さくちぎってピトゥのそばに投げました。ピトゥは少しは食べましたが、すぐにまた別の「侵入者」に気をとられたり、四方を見回して、忙しく子供たちの安全を確認したりします。

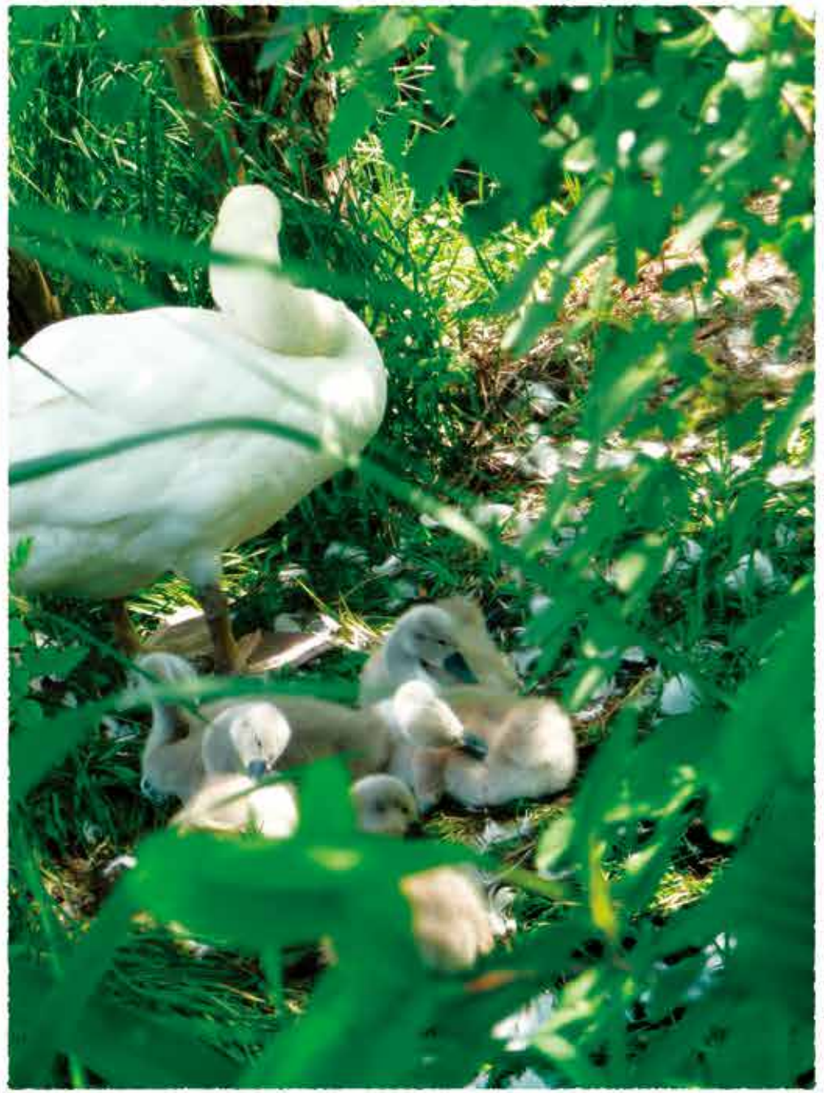
これを目の当たりにした者だけが、女史のピトゥへの思いが理解できます。この思いやりと愛は言葉では言い表せません！

サイ(Sai)も、とても熱心でまじめです。
彼は子供たちのために、役割以上のことをしています。
孵化までの間、彼はずっと冷たい湖水の中にいて
どうして不眠不休でいられたのか、誰も知りません。
絶えず巡視し、めったに岸に上りませんでした。

湖全体を見渡し、目を光らせ何ひとつ見逃しません。
ある時、女史のボートが近づきすぎると
彼はボートの周りをぐるぐる回り、
「ここから出て行け！」と言いました。
初めは丁重でしたが、私たちが進み続けると、
彼はカンカンに怒り、私たちが意味を理解し、
「一目散に」退散するまで戦いを挑んできました。

サイはとても疲れているに違いありません。
いびきをかきます！

子供たちが少し大きくなって
天敵や危険が少し収まってくると
白鳥の両親はようやく交替で休みます。
野生での生活は（ストレスが多いに違いありません)！



秘密の隠れ家

この島には
たくさんの住人が
白鳥 カモ オオバン ネズミ ビーバー…
さまざまな大きさ、形、色

大家族のように共に成長
ここはカモと白鳥のコロニー

白鳥の隣人

いとし子を守る
女史の裏庭で
この島で　湖で
なじみの地で
見知らぬ地で

どこでも…
誰も知らない地でも
子供たちはこんなにか弱く、小さい
子供たちがここが好きなら
両親はずっと見張っている。

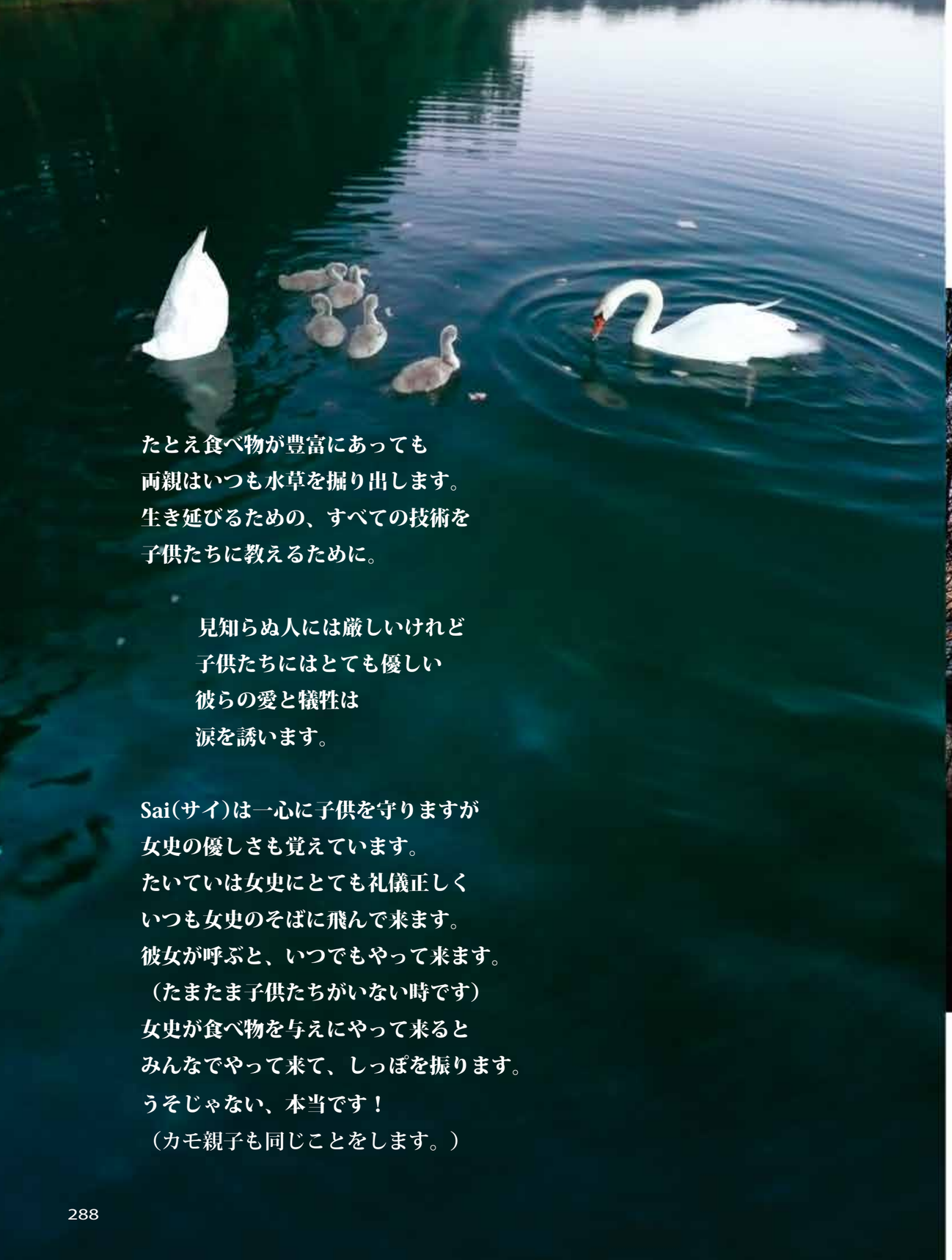
どちらがパパかわかる？
そう、パパは黒い足
いつも警戒態勢をとっている。
大きくてたくましい！
― 侵入者を追い払うのに十分 ―
近づく前によく考えるように
(軽はずみな行動は禁物)

ガンのために…

…残しておきますか？

彼らと知り合いでなければ
距離を保った方がいい
たとえ知り合いでも
用心したほうが安全！
赤ちゃんを守るために、彼らは激怒して攻撃してきます！

近づこうなんて思わないこと



たとえ食べ物が豊富にあっても
両親はいつも水草を掘り出します。
生き延びるための、すべての技術を
子供たちに教えるために。

見知らぬ人には厳しいけれど
子供たちにはとても優しい
彼らの愛と犠牲は
涙を誘います。

Sai(サイ)は一心に子供を守りますが
女史の優しさも覚えています。
たいていは女史にとても礼儀正しく
いつも女史のそばに飛んで来ます。
彼女が呼ぶと、いつでもやって来ます。
（たまたま子供たちがいない時です）
女史が食べ物を与えにやって来ると
みんなでやって来て、しっぽを振ります。
うそじゃない、本当です！
（カモ親子も同じことをします。）

ある時、小さなオオバンがいじめられているのを見て
女史はとても気をもみました。
彼女は悲しみのあまり、目には涙があふれ、
Sai (サイ) に自分の気持ちを話しました。

サイは彼女を見て、真っ直ぐに湖へ飛んで行き
その「らんぼう者」を追い払うと
再び女史のそばへ戻って来ました。
思いやりのしぐさだけではなく
羽を膨らませ、誇らしげに頭をあげました。
女史はとても驚きました。
テレパシーで伝わったのです。
説明しにくいですが
彼女はあなたに断言します。
女史が話したひと言ひと言を
サイはすべて理解したのです。
しかも英語で　ええ！

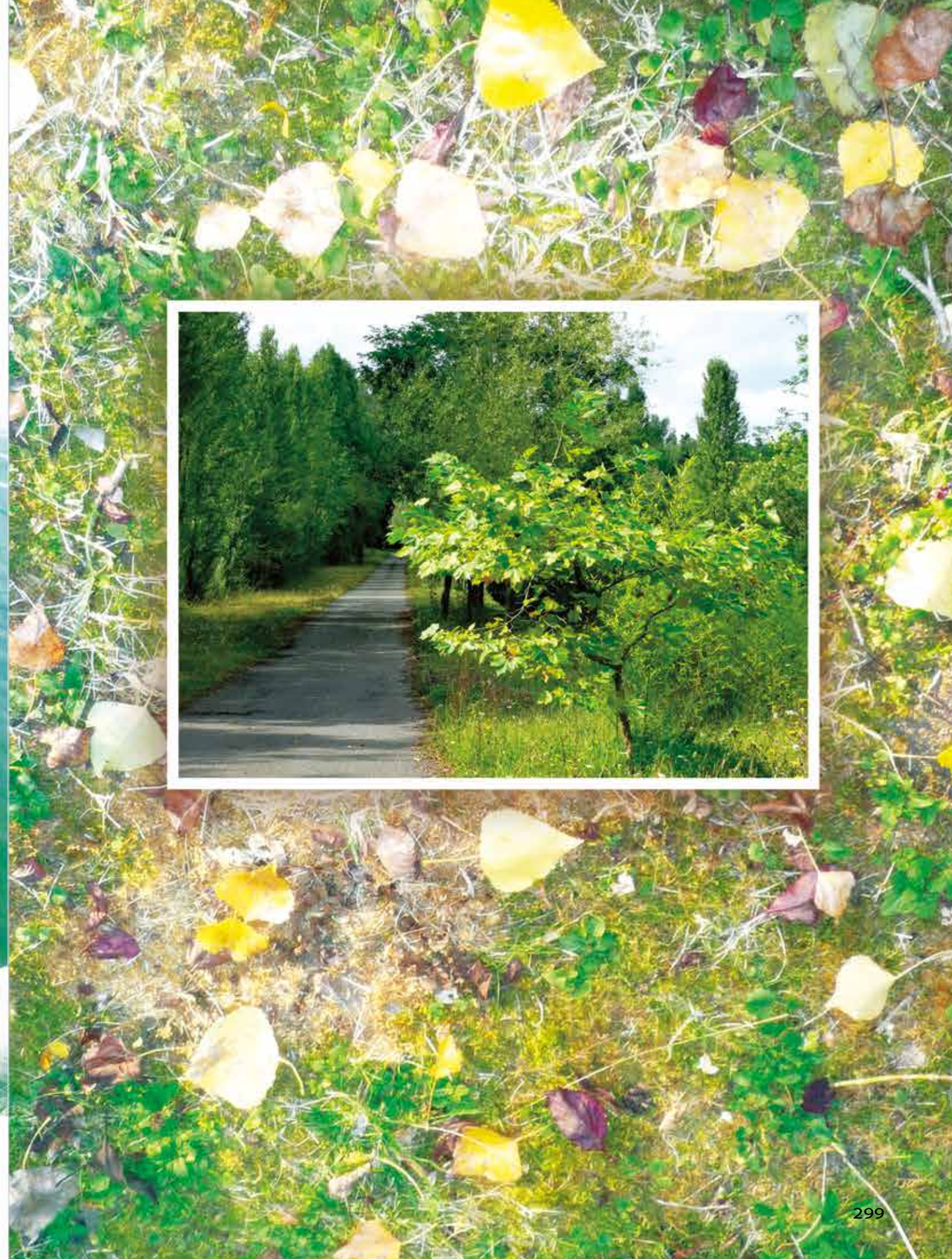
あなたに野生の友がいたら
ご自分で試してみてください。
心が通じ合えることに
驚かないでください。
人間はそれほど多くのことを
知らないのです。

彼らはとても献身的で
愛情あふれる両親で、誠実な保護者です。
誰の心も感動させます！

両親がどのように見守っているか
食べているところを見てみましょう。
これは彼らの大好物ですが
彼らは一口も食べず
湖の水草しか食べません！

子供たちは育ち盛りで
いつも食欲旺盛！
女史は与え続けて
子供たちはどんどん食べ続けます。
昼も夜もずっと
２、３時間ごとに食べます。
食べるのはパンとレタスだけではなく
サイとピトゥは子供たちに野生の食べ物を教えます。
自立を学ぶのは良いことです。
女史はいつ何を与え、いつ与えるのを止めるかわかっています。

子供たちがまだ小さかった時は
サイはいつも食べ物を小さく噛み砕き
「ほら食べて！」という、しぐさをしました。
彼らのすべての「会話」を観察できます。



ラッシュアワー

王家の橋のレストラン近く

こんにちは！
私の天のおとうさん、天のおかあさん！

もうすぐ着きますよ。
さあ頑張って 子供たち
女史が待っていますよ。
ごちそうも、「愛」も。

白鳥大通り

女史の庭では
ためらわず、恥ずかしがらず、恐れず
彼らはいつも座って食べます。
新鮮レタスが大好き
女史も喜んで与えます！

女史の宮殿でのランチ
シャキシャキのレタスと健康的なパン
長い距離を泳いで、疲れた後に
リラックスして食事を楽しめて、本当に素晴らしい。

本当に成長している

私の言うとおりでしょう？

水の中では、彼らは
みんな小さく見えます。
でも、岸に上がると
母鳥とほぼ同じ大きさです。
でも、まだ母鳥に
ぴったりくっついて、いつも従順です。
「おかあさんは何でも知っている」と
思っています。

最後のレタス
やっぱりおいしいな

何でも分け合って食べます。
言い争いやけんかはしません。
なんという平和と調和！
すべての生き物がそうでありますように。

こんな幼い年齢で
すでに航海術を知っています。
彼はオールを片方だけ使って
「船体」のバランスをとっています。

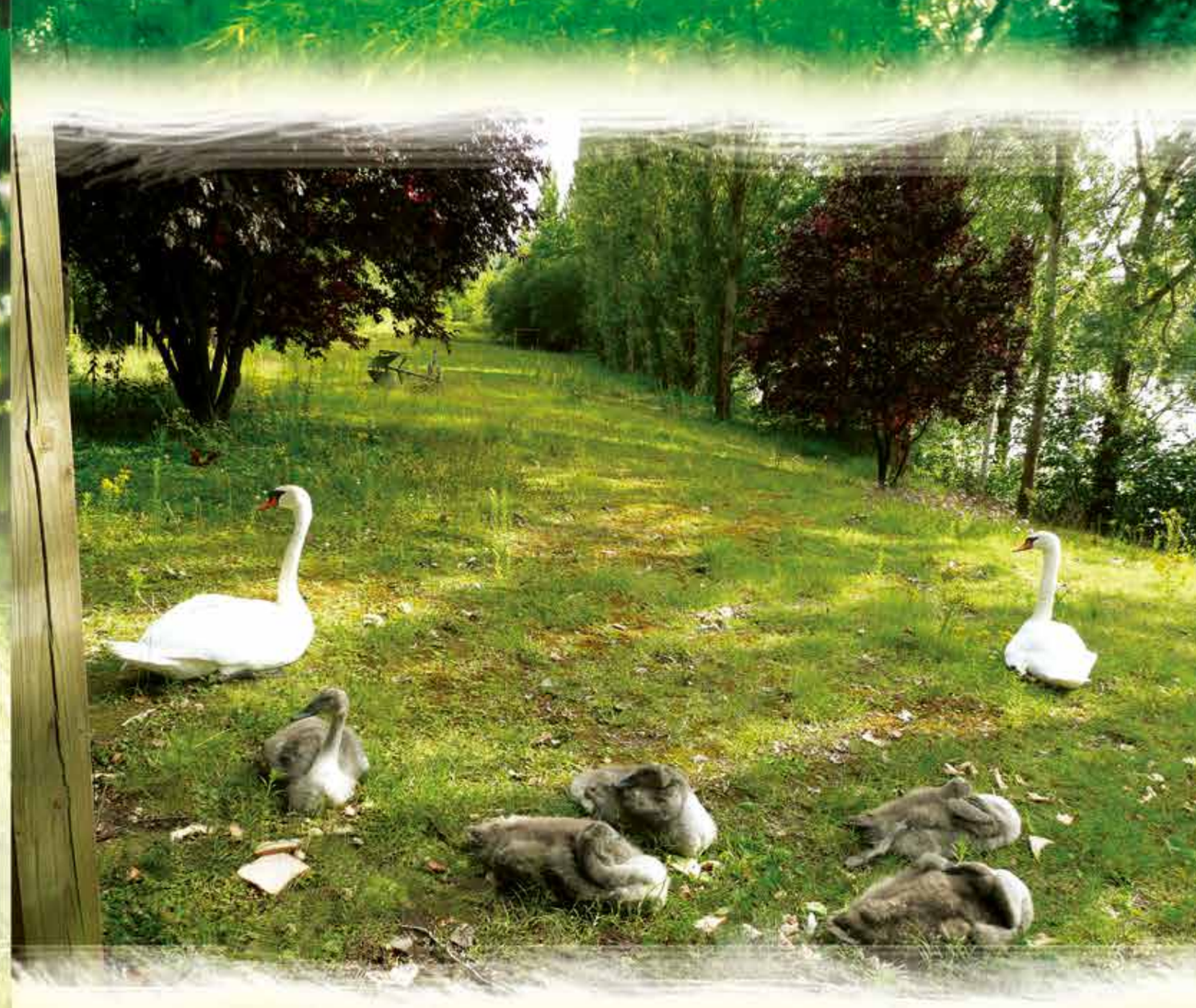
時には湖の水中で
楽しくはしゃいでいます。
水面にまっすぐに立ったり
深く潜ったり
浮かんだり、隠れたりしています。
時には、滑らかでふわふわの羽を羽繕いします。

行ったり来たりしている
あなたはどなた？

同じに見える

どうして白鳥が
木に見えるのでしょう。
誰が違いを作ったのでしょう。
誰が似せたのでしょう。

女史は聞き
女史は見ます。
白鳥もいびきをかきます。
「すべて」の人と同じように！



２４時間
周囲の物音を確かめ
周囲の音に耳を澄ますのは
疲れるに違いありません。
けれどもサイとピトゥは
喜んで行っています。
世の親たちがするのと同じです。
あなたたちに敬意を表します。
この偉大な愛に敬意を表します。

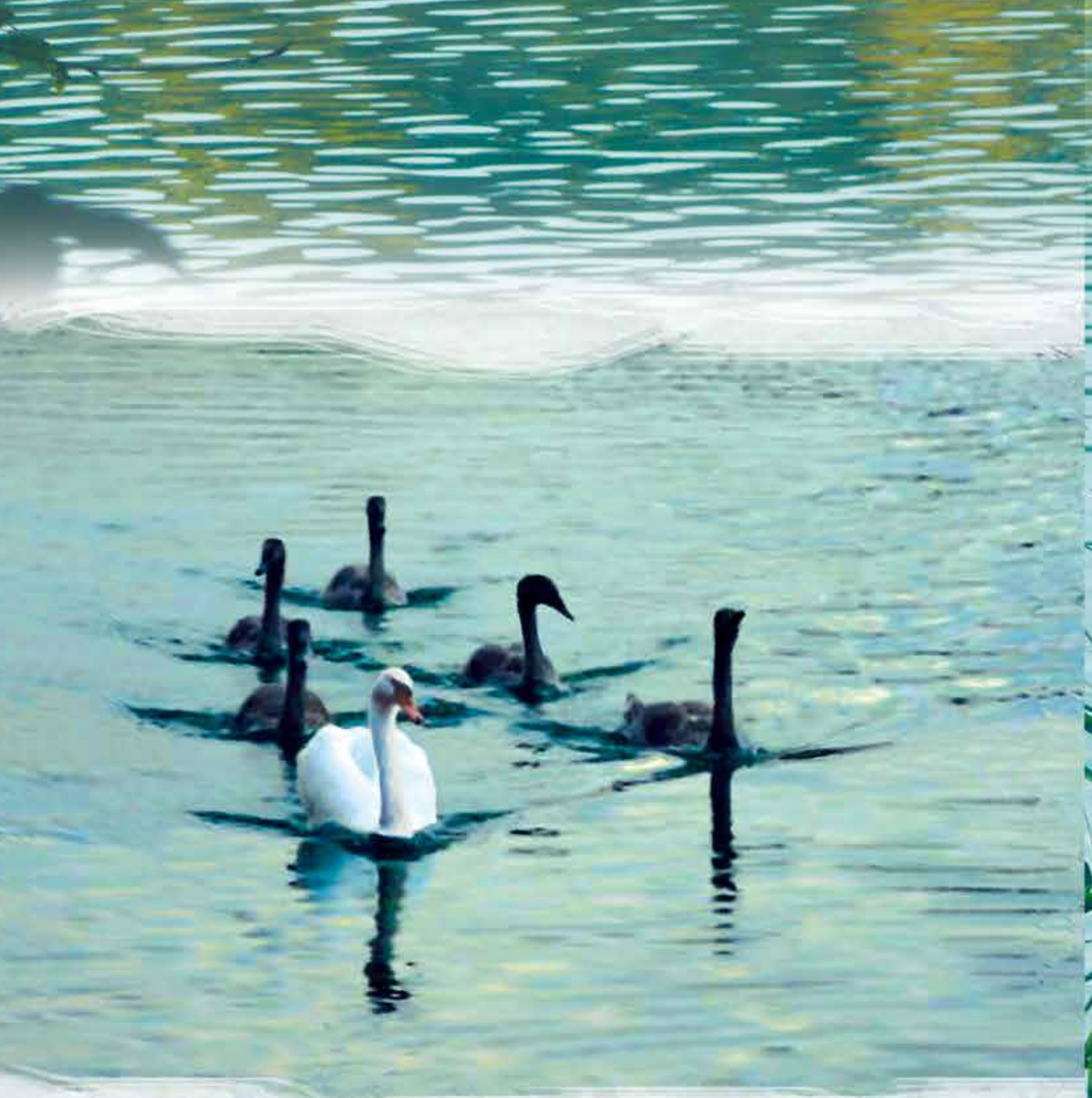
野生の静けさ

「大いなる保護」のもと
どこもかしこも天国のようです。

まるでわが家のよう

ここでは
親鳥たちも
安心して眠れます！
警備から放免されます。
(白鳥の島と
女史の庭に限り)

ぐんぐん…
たくましく育ってる。

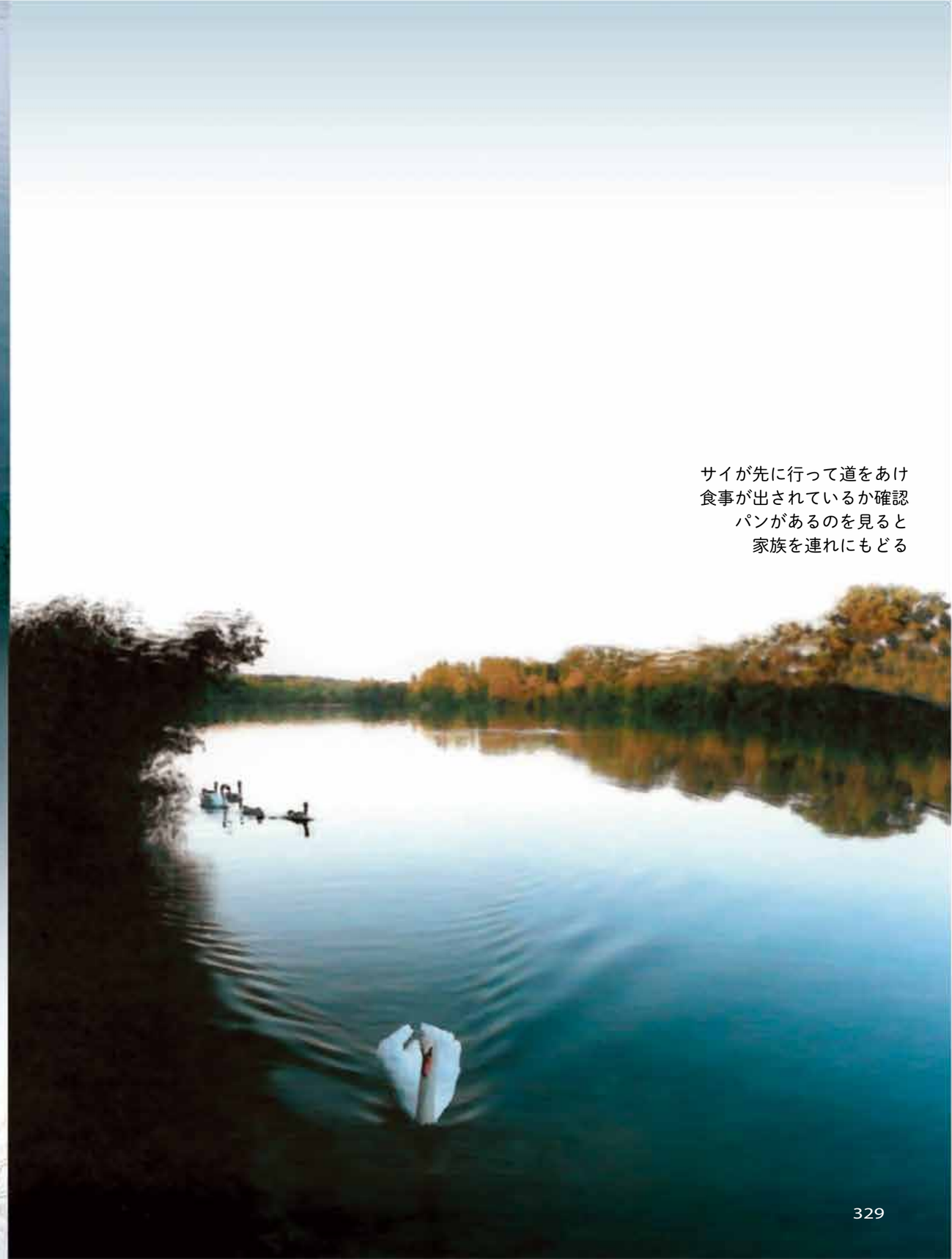


羽の色が白くなり始めている

…‥自由に巡って

たいていは、湖岸の周辺か
橋の「レストラン」か
女史の家にいます。
彼らが「自然に」見つけられるように
女史は食べ物をあちこちに置きます。
見つけられないと、彼らは家にやって来ます。
最初はサイだけ、時には夫妻で確認しに来ます。
女史がいると、彼らは合図を送り
子供たちを呼び寄せるのです。

彼らはいつもそこで、じっと待っています。
とても静かで礼儀正しく。
サイだけは、自分の影をよそ者と見まちがえ
少し羽を膨らませ威嚇して
行ったり来たりしながら
誰が来ようと守れるようにしています。



サイが先に行って道をあけ
食事が出されているか確認
パンがあるのを見ると
家族を連れにもどる

別れは必ずやって来るのです。
子供たちが成長して、その時が来たら
何事もなかったかのように。
何という無条件の、執着のない愛！

その美しさは

もう

明らか…

白い羽毛が
翼の下にかすかに見えます。

羽の色はだんだん白くなって

花のようになって

自立することを学び
従順なことを学ぶのは
良きリーダーへの第一歩です。

「私の言うことを聞いて
私のする通りにして」

あの「社交的でない」アオサギは
いまだに「ブルー」で孤独
ただの見知らぬ旅人

友好的な仲間がたくさん

わたしはママみたいになるの

でも、もうかわいいでしょ！

真っ白な羽毛が見える？

翼のまわりと下にあるでしょう？

それに私は飛べるの

高く、どこまでも

もう大きくなったの！
もう飛べるのよ！
まだ短い距離だけど
もう力強く羽ばたけるの！
生れてから３カ月半だけど
まだまだ成長し続けてる！
木々の上を越え、空中を
視界はどこまでも広がって

ママと同じ大きさになった！

「とても大きく」美しく成長したので
粗末なカメラでは撮影しきれません。

この父にして

この子あり

穏やかな朝

夜明け前、太陽もまだ目を覚まそうとしません。湖全体と周辺は霧のベールがかかっていますが、ここの翼ある住人も翼のない住人ももうすでに朝食へと出発しています。

夜は凍てつくような寒さだったに違いありません。急いでエネルギー補給が必要です。特に幼い子たちは頻繁に食べなければなりません。

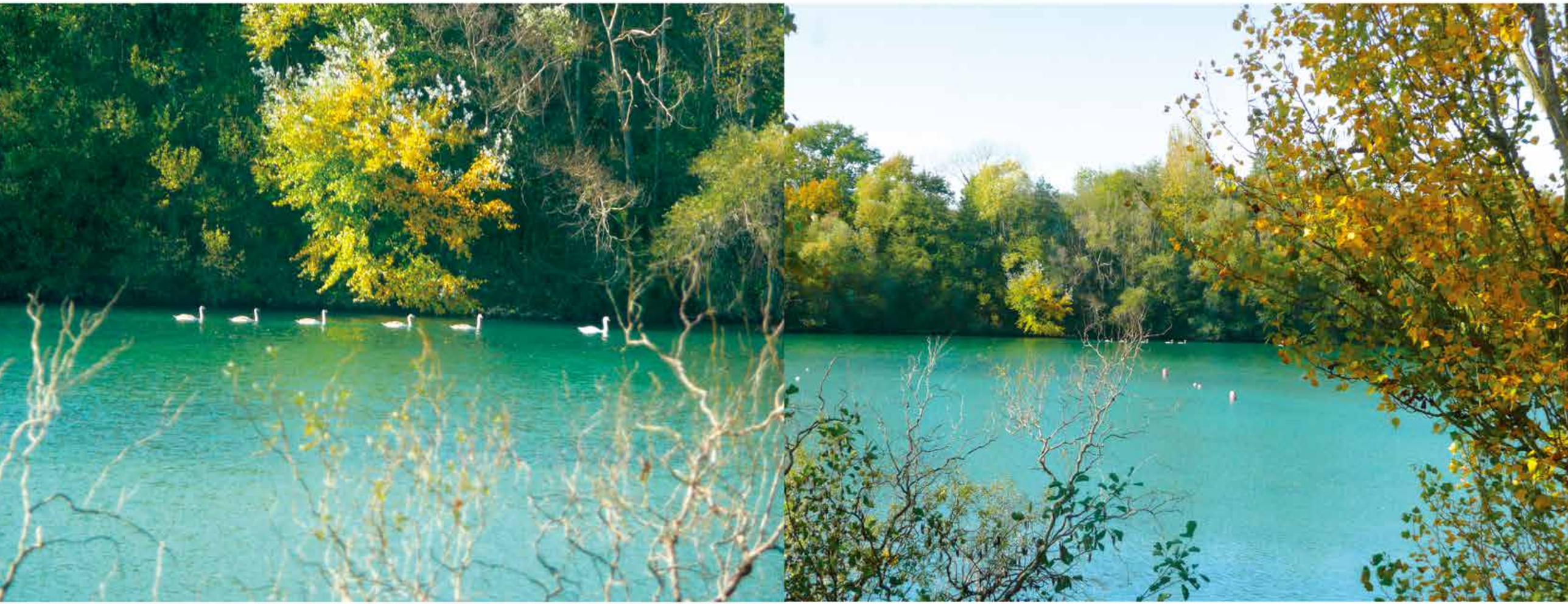
彼らが生れたばかりのころ、両親は昼夜を問わず、数時間おきに子供たちを食事に連れ出しました。

聞いたことありますよね？

ええ！人間の赤ちゃんと同じ

よくやった！
あなたが一番上なんだから
リードしていいんだよ
自分の世話をして
そして互いに助け合う
君たちもすぐに大きくなるよ

神に感謝します。女史の前庭に
装飾した最高のデザイナーに対して。
この村の住人はみんな
この優美な美景を楽しんでいます。



子供たちに、飛ぶ技術を
教えるのはピトゥです。
最初は短い距離だけ
やがて湖全体を。

サイは翼を半分なくし
翼が半分しかありません。
換羽期かもしれませんが
おそらく、羽を抜き取って巣の地面に羽を敷きつめ
冷たさを和らげたためでしょう。

それとも、疲れていたのかもしれません。
何カ月も日夜
家族の世話をして守ってきました。
たとえ強くても、負担がかかります。
けれども彼は弱音を吐きません。
ガンがあえて危険を冒して
愛する子供たちに近付いて来たら
やはり彼はガンを追い払います。

子供たちのためなら
少しの犠牲も惜しみませんが
いつも遅れを取るので
今は苛立たしいに違いありません。

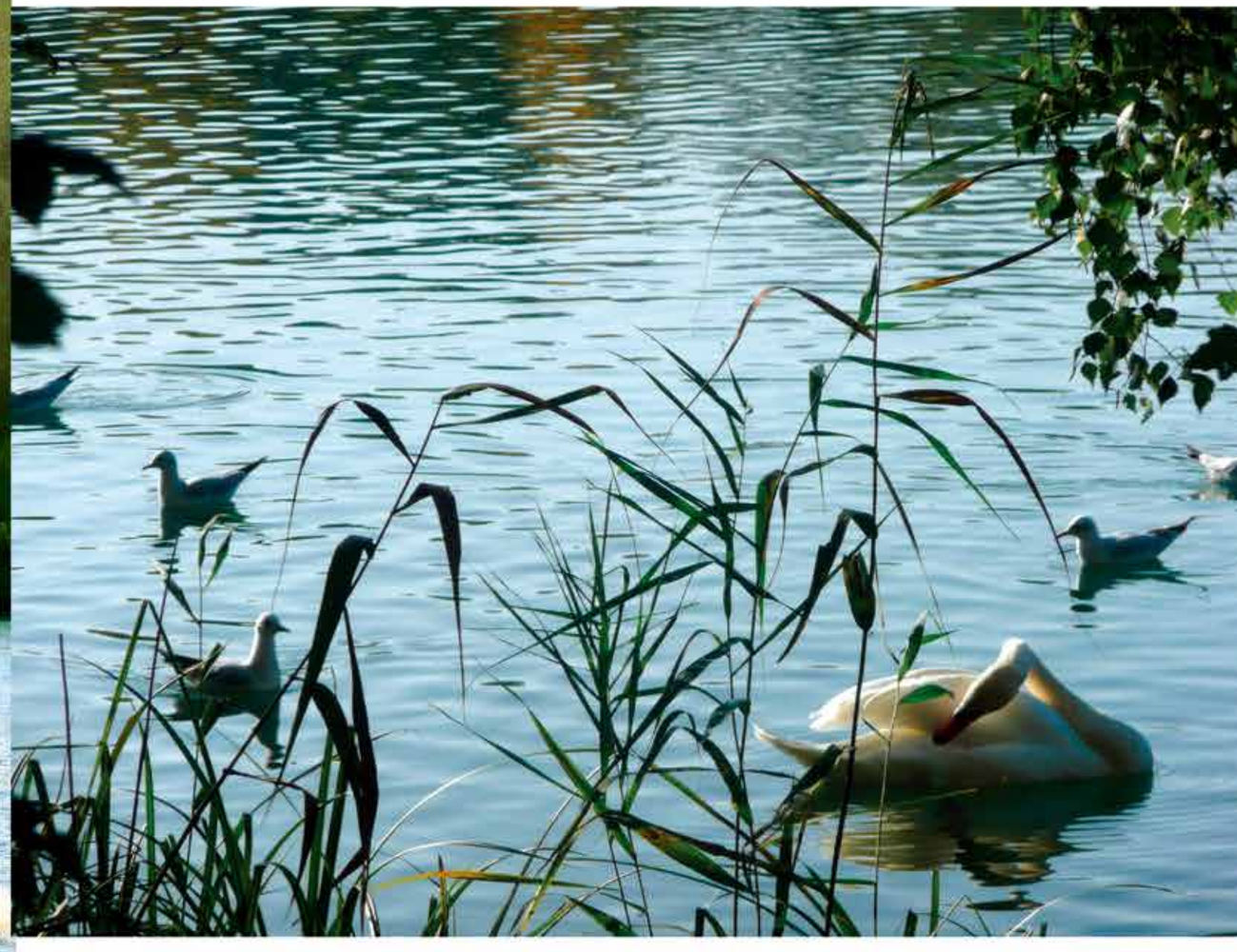
サイ！　すごい父です！
今、翼が半分しかがないのに
いまだに疾風のように泳ぎ
いまだに美しく
いまだに堂々として
どんな侵入者でも
いまだに　追い払うことができます。

サイは翼が半分しかない
いまだに精力的で
いまだに優秀なガードマン

何百羽ものガンが集まっていても、決して食べ物を
奪い合うこともなく、決して「大きい」白鳥に
反撃することもなく、いつも行儀よく穏やかで平和

サイは大きな鳥を追い払うことはあっても
カモメのような小さい鳥にはとても優しく
彼らに食べ物を分かち合おうと呼びかける

女史が近くにいると、サイは
湖底の水草を掘っては捧げる



カモメと分かち合う

タフなサイサイも
ひとりぼっちのときは
食欲もなく
興味もない

一日中寂しい
ピトゥと子供たちはいません。
彼らは遠くへ飛んで行きましたが
サイの翼はまだ元通りになっていません。

月明かりの夜
サイはピトゥと子供たちの
初の長距離飛行からの
帰りを待っています。

小さな奇跡
貴重な庭師

神さまがくださった
シンプルなランチを楽しみ
ついでに茂みを刈り込んで
庭をきれいに整えます。

彼女はのんびりと人生をすごし
彼は時間をかけて旅をします。
彼女はすでに用意されている
新鮮で栄養満点の朝食を楽しみます。

この小さな住人は
お庭の植木屋さん
神は彼をとても愛していて
彼を輝かせました！

* 貴重な生命
美しい色彩
誰が彼女をこれほど完璧で
輝かしい姿に創ったのでしょう！

わたしは小さいかも
でもアリから見れば…

…わたしは巨大！

わたしってきれいでしょう！

春と夏にいつも咲く花は
神から女史への贈り物

ビーバー
ダムを建設する

こちらはビーバーのヌウ（Nu）
ダムの建設者で
プライド高き　愛情深いおとうさん
橋のレストランの常連客です。

紛れ込んできた客
　　パンのごちそうを楽しむ

小さなビーバー
大きな器量
ＮＱ10％の持ち主

こちらがビーバー夫人
物静かで臆病なズウ(Zu)
知り合って、しばらくしてから
ようやく近づいて来るようになりました。
もちろん　せっかちなヌウとは違い
彼女は優雅な女性です。

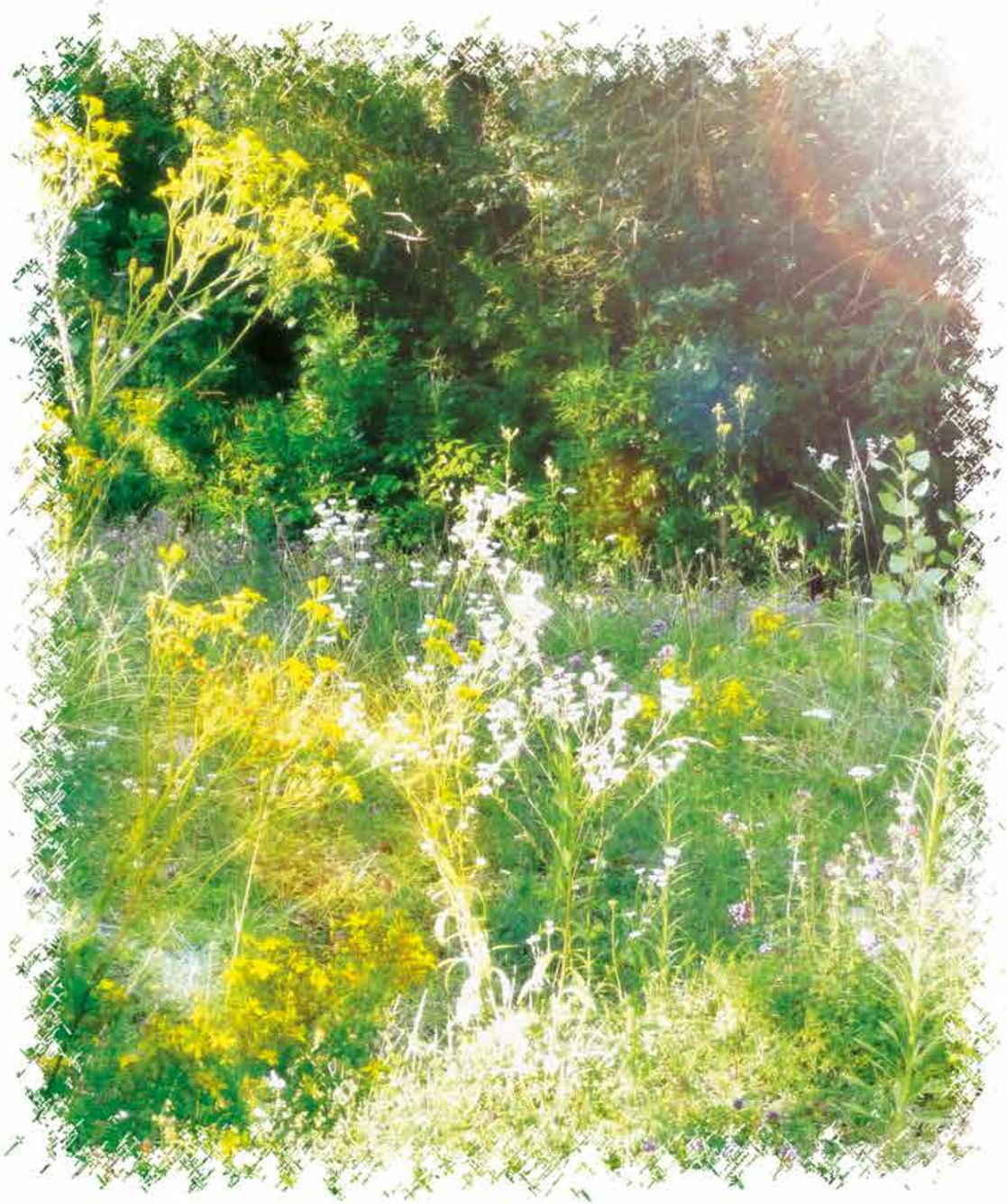
ビーバー夫妻の
一人息子ソウ(So)

ええ！　こちらが３番目のソウ
ほれぼれします。
両親は恐がらなくていいと言ったので
女史が近くに来ると、彼はやって来ます。
もちろん、食べ物もその要因の一つです！
とても賢くて、小さくてかわいい

ヌウがパンを持つようすを見ましょう。
紳士のように落ち着いて食べていますが
すごい速さで噛んで、たくさん食べます。
(建設工事の後はエネルギー補給が必要)

彼ってステキじゃない？

今ではもう人を怖がりません。
いつも真っ先に橋のレストランに突進して
そして、パンからパンへ
迷わず正確に



ズウは今も恥ずかしがり屋で控えめ
距離を保って、あまり食べません。
ズウは少し小さく
丸顔でピンク色がかっています。

２人の違いを見てください。
ズウは遠くに、ヌウはすぐ近くに
でも、彼ら２人はとても…ステキ！

ビーバーの
ＮＱは
10％！

ビーバーのお嬢さん「Do」
発音は「ドゥ」

ここでは誰もが愛を感じて感謝する。
小さな花は神の愛を身近に感じさせ
庭の細長い草の葉には
荘厳な恩恵のメッセージが。

魚
不思議な生き物

クモの家族とキャンプ

魚とパン

魚たちもパンが大好き
パーティーでは彼らをよく見かけます。
夕食を楽しみにやって来ました。
人間の昼ご飯にならなくてよかった！

もう一匹の魚がパーティーにやって来る。
私たちは毎日、豊かさと生命を祝福する。
湖の内と外の住人はみな喜び
うれしそうにごちそうを分かち合う。
神の名を知るすべてのものに、神の愛が降り注ぐ。
すべての創造物に宿る神を賛美する！

不思議な生き物！
怪物かも？
いえいえ　ただの魚
夕食に集まって来ました。

謎めいた「姿」
３色の不思議な色！

時の名残り

カモメ
社交的な旅行客
分かち合いと思いやり…

旅行客のカモメは
くちばしで食べ物を運ぶ
橋のレストランがオープンすると
彼らは呼び掛けて、いっせいにやって来る
カモや白鳥とも一緒に分ち合う…
決して一人では食べない

こちらの方々は「外国からの旅行客」
世界各地の珍しい話と共にやって来る。。

彼らはこの地を知ってとても幸せ
毎日がお祭りのようで、終わりがない。

「私たちの故郷には『無料ランチ』なんてありません。
ここではごちそうが送り届けられ
私たちはここが大好き、長く滞在しましょう。
ここには望むもの何でもあります」

燦々と輝く野草！
誰がこんなに輝かせたのか。

庭の鳥
幸運をもたらし
喜びを届ける

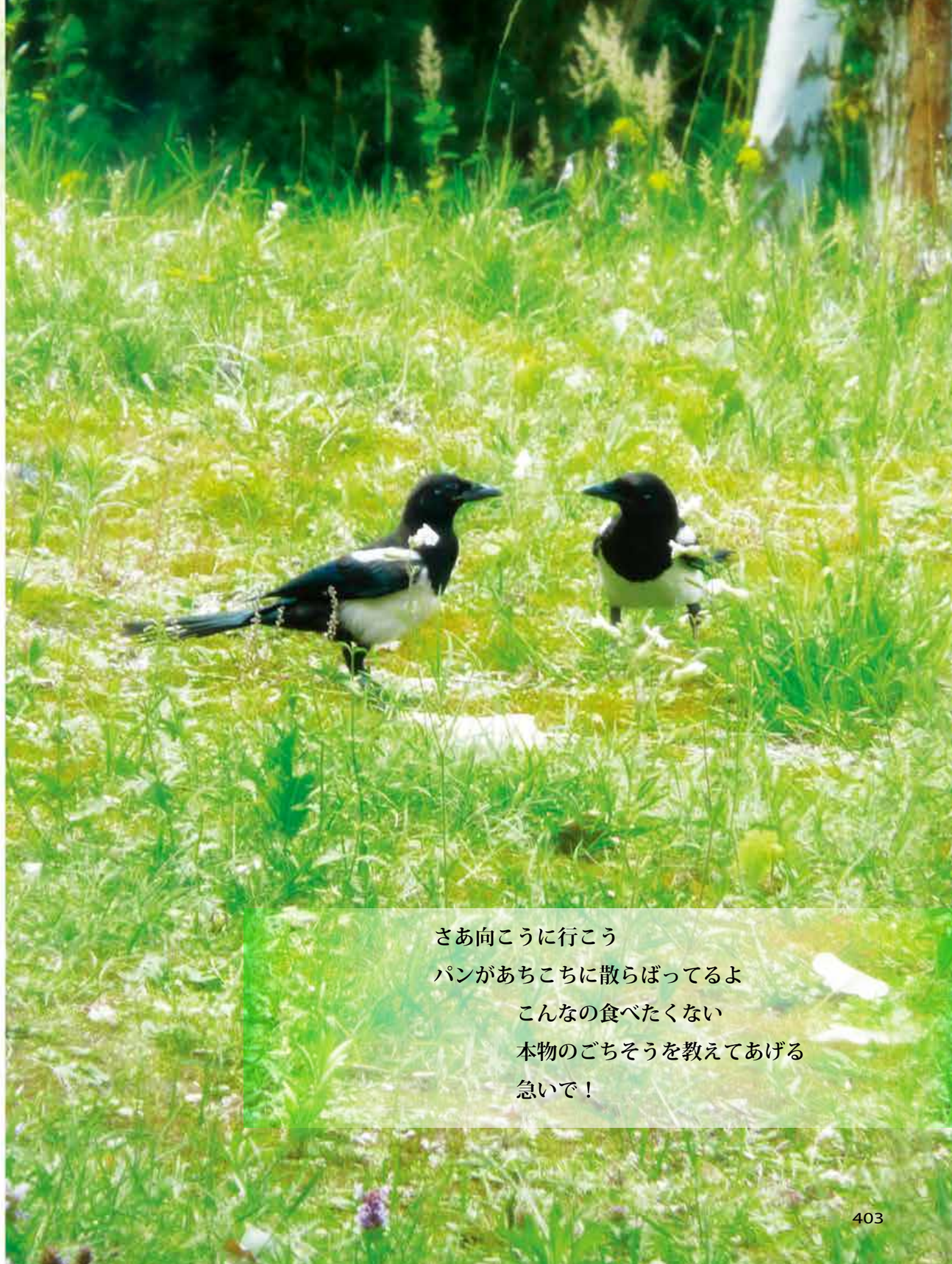
ヤッホー！

美しい鳥たち
すでに常連客になって
草の上に食べ物がないと
彼らはガラス戸をノックしに来るのです！…

女史と話ができるかどうか
見て来よう
彼女がくれる食べ物は、これよりずっとおいしい
ちょっと待ってて　すぐ戻るから

女史はいつも鳥たちに食べ物を与えにやって来ます。
彼らはすっかり友だちになったようです。
言葉を交わす必要はありません。
ただ純粋で自然な愛があるだけです。

ひとまず、ここにあるものを食べよう！

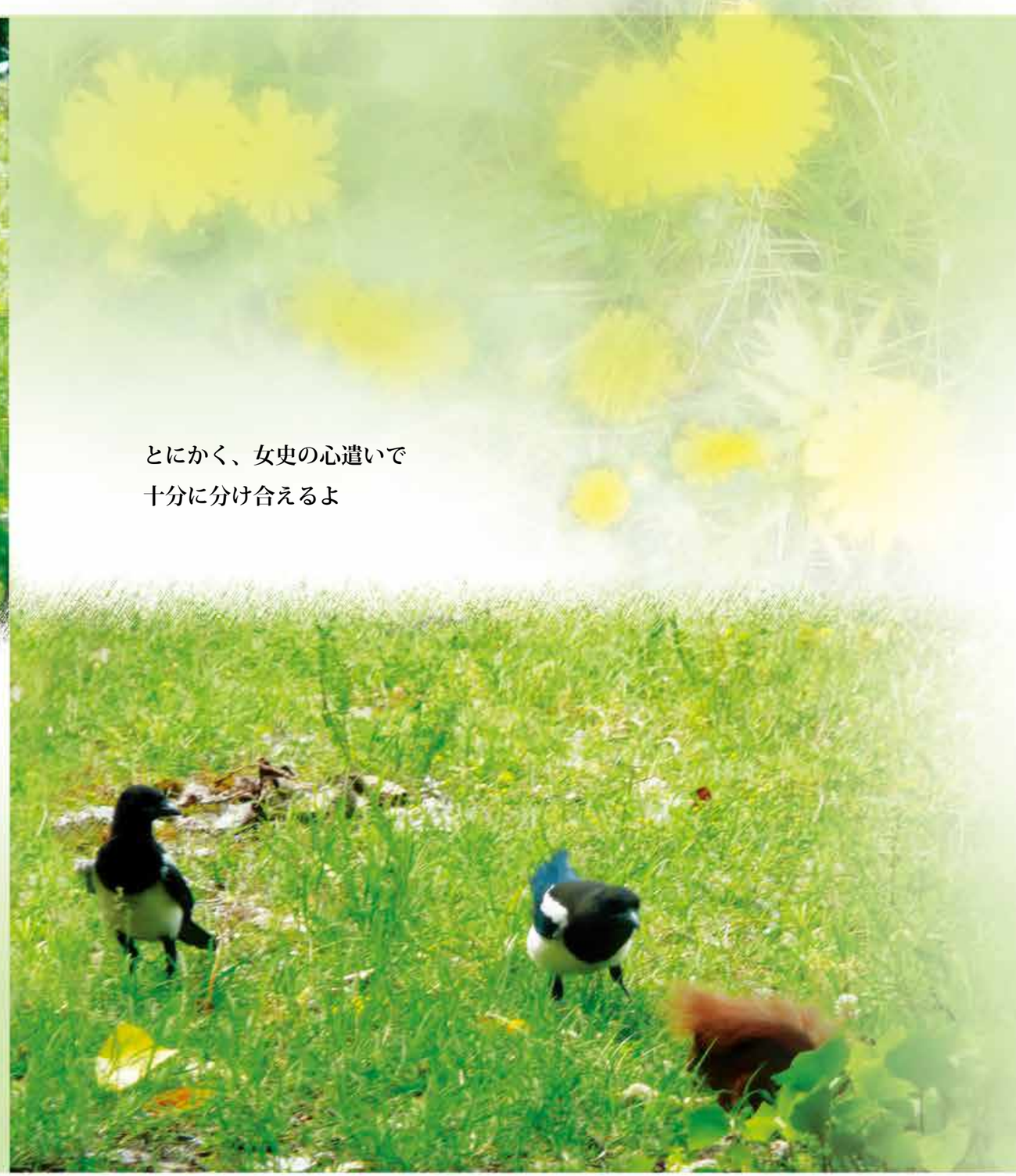


さあ向こうに行こう
パンがあちこちに散らばってるよ
こんなの食べたくない
本物のごちそうを教えてあげる
急いで！

その話が本当だといいな！
わたしも食べてみたいな

野生の栄養！

まあ、この人本当に足が速い
さっきは、ここに誰もいなかったのに



とにかく、女史の心遣いで
十分に分け合えるよ

ほらほら！
食べて
いろいろ試してみて
心配しないで
いいものだから
保証しますよ！

あら　あら　ねえ待って
ここで食べた方が安全！

女史の裏庭の
木蓮

その他の住人

村の住人の中には、いつも活動的な者もいます。自分の影や尻尾を追いかける者もいれば、ただその辺をぶらついている者もいれば、壁にぶらさがっている者もいれば、やたら吠えている者もいます。多くの住人がこのようにして時を過ごしています。

天井からぶら下がったり、ギャーギャー叫んだり、自分のしっぽやおもちゃに向かって独り言を言ったりしている者もいます。

彼らは他の人と同じように、テレビやビデオも見ますよ！

鳥の遊び場

犬の家！！！

誰の家でしょう！

ここではいつも
村の住人による特別番組が
繰り広げられています。

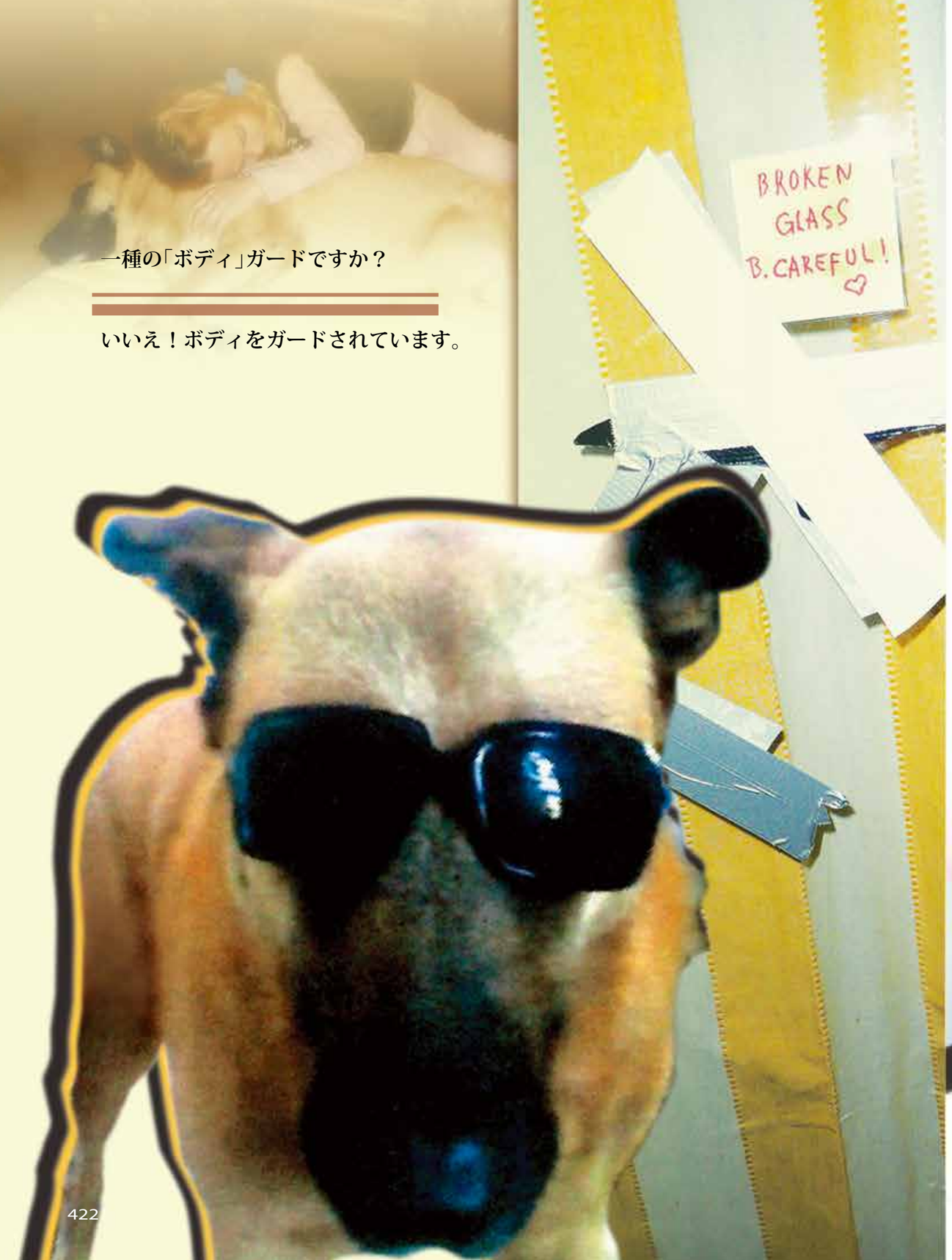
(彼は恋をしています。
わかりますか？)

こちらは…壁にはりついて

あちらは…うろうろして

一種の「ボディ」ガードですか？

いいえ！ボディをガードされています。



不器用な二本足の住人と大きな
四つ足の住人が一緒に家の中に
住んでいたら
結果はどうなるでしょう？

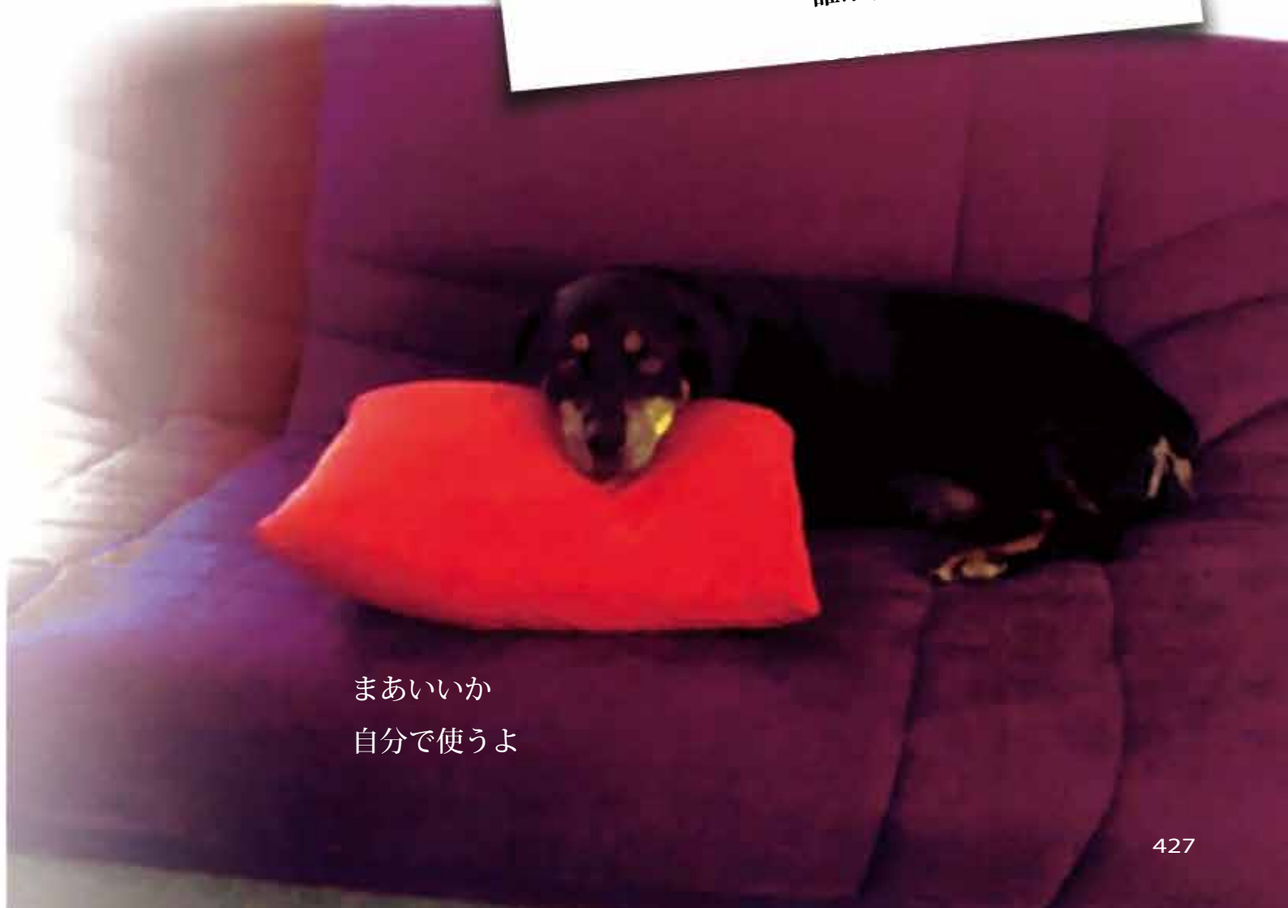
(答え：
ガラスが割れました！)

村の道路
そして「目に見えない」住人

女史の楽しいわが家

ある住人は「苦行」をしています
＝床の上にじかに寝ます！
（夏の時期だけ）

誰か枕投げしない？



まあいいか
自分で使うよ

白鳥を待っている
カモとか　リスとか
鳥とか…
それとも他の誰かを

村の他の住人
(ほんとに彼らはそっくり)

ゆったりした「動き」

私はあなたと同じ
冷たい床が好き

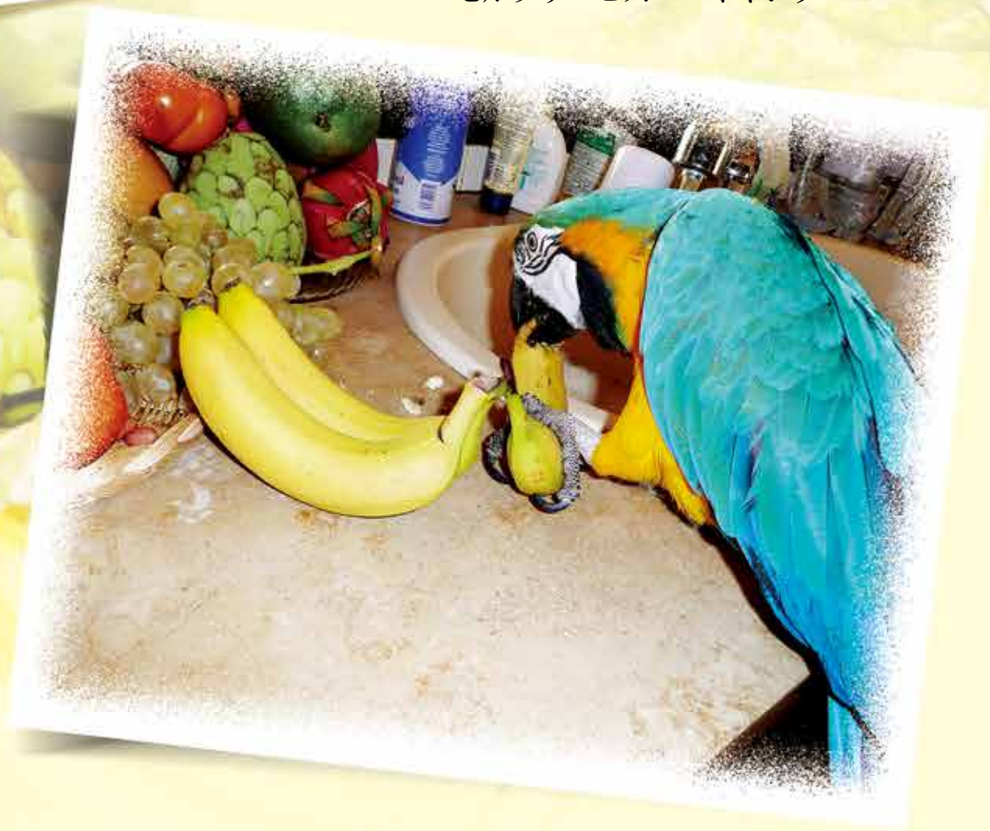
のんびりとした住人

戦いの
トレーニング？

アムーラの村で

アムーラの人気者

セルフサービス・バイキング



女史の「手作り焼き菓子」
(彼女はケーキの後ろにいます)

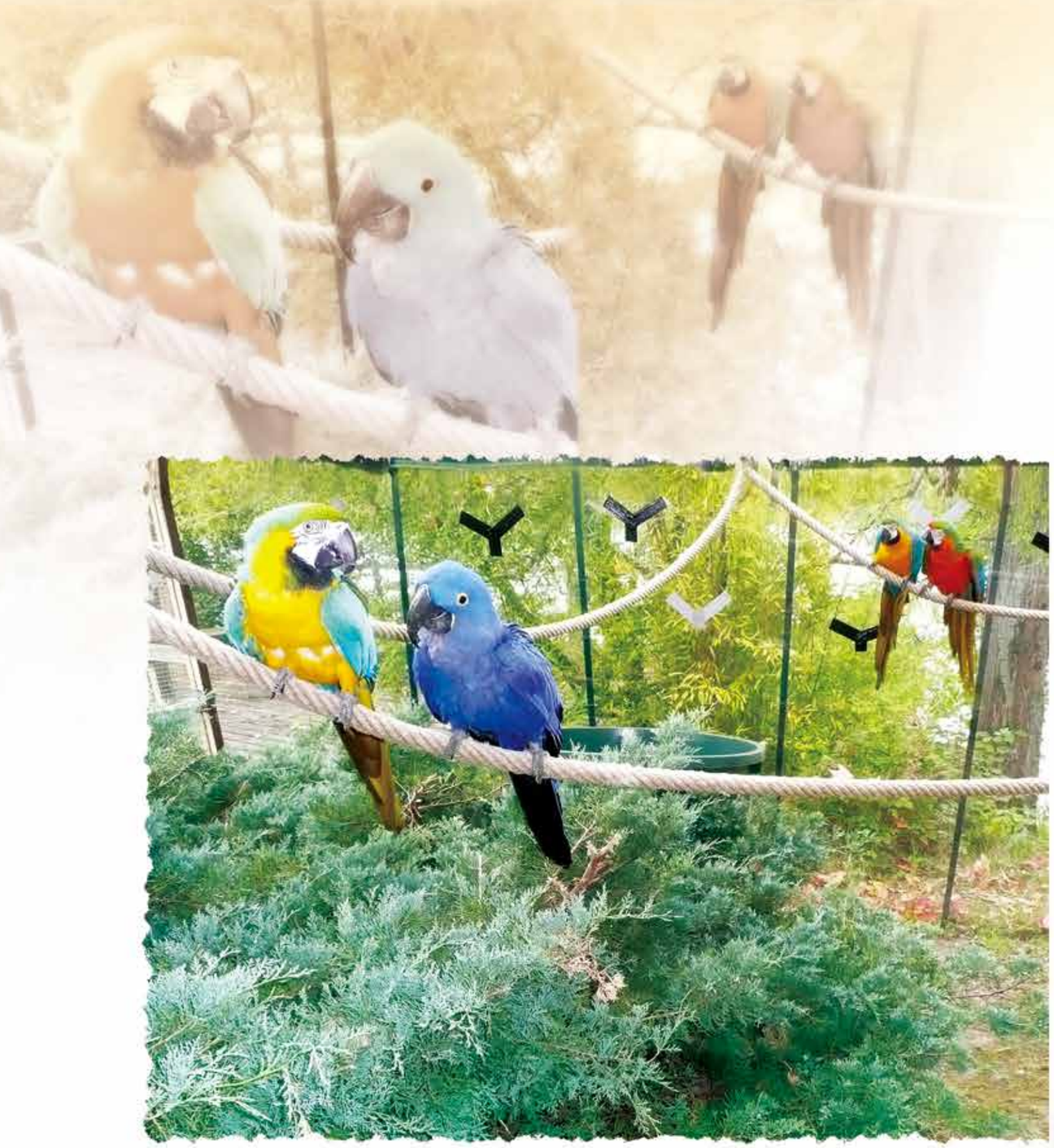
寝たふり

メディテーションしてるの？

自分のしっぽとのおしゃべりは
暇つぶしの趣味

うろうろ
ぶらぶら

あちこちぶらつき
とにかく何もしない！



おしゃべり

女史の楽しいわが家

霧に包まれる女史の家

霧の国

自然のままの庭

万物のつながり

この身ごもったヤギ（名前はブウ（Bu））は山の斜面でつまずき、フェンスの後ろの溝に落ちました。(数日間何も食べてなく、かなり弱っていました)。女史は彼女を溝から助け出し食べ物を与え、そしてブウの望みに応じて、彼女をヤギの群れに戻すことができる世話人を捜しました。女史が電話で「世話人」と思われる人に自分のタグ番号を伝えているのを小耳にはさみ、ブウはうれしさのあまり身震いしました。

四つ足(犬)の住人はみんな、ブウには吠えませんでした。(まあ初対面の時だけ、驚いてちょっと叫びましたが)ブウが彼らの「なわばり」にいる間、絶望的なブウを怖がらせないように、彼女の周りでやさしく接していました。女史は犬たちの思いやりある行動を誇りに思いました！ 大いに褒めました！

何度もいろいろなところに電話をかけて、ブウの世話人が見つかりました。彼女の「世話人」が迎えに来たとき、彼女は女史の庭を離れようとはしませんでした。女史のアシスタントが彼女を抱えてトラックに運ばなければなりませんでした。ブウは敬愛の眼差しで女史を見つめていました。女史とブウは知り合って短かったけれど、離れがたかったのです。でも、ブウは愛する「ロウ(Ro)」に再会し、幸せな生活を送りたいと願っていました。

ヤギのブウの世話人が迎えに来る

幸せにね　ブウ！

女史はブウの世話人にお金を渡し、必ず獣医に電話して、ブウを診察してもらい、ブウ親子をよく世話をするよう頼みました。彼もそれを約束しました。

ブウは溝から助けてもらい、世話人を待つ

翌日の午後、獣医から電話があり、ブウは大丈夫で、大きな怪我もないということでした。けれども、女史はやはり世話人に、ブウをよく休ませ、長距離を移動させず、ヤギ小屋で群れと一緒にいさせるようにアドバイスしました。ブウは溝の中での、空腹の数日間に３キロも痩せてしまっていたのです。

でも、それ以外は大丈夫です。しかも、ブウは双子の赤ちゃんを産むそうです。（ブウはもうすぐ「子ども」が生まれると、女史に告げていました。）私たちは獣医を通して、ブウの健康状態を知らせてくれた世話人に感謝の電話をしました。

ブウの世話人には、獣医さんに診てもらうようにお願いしていましたが、獣医さんから電話をもらってその確認ができ、本当に安心しました。 そしてブウの世話人にも電話をし、ブウが元気であることを伝えるよう、獣医さんに頼んでくれたことにお礼を言いました。ブウはとっくに女史に知らせていたのですが、獣医さんからの電話でも確認ができ、

女史は とても喜びました。

スプリームマスター チンハイの
霊性の教理

即刻開悟の鍵
オゥラック語(1～15巻) 中国語(1～10巻) 英語(1～5巻) フランス語(1～2巻) ドイツ語(1巻)
フィンランド語(1巻)　ハンガリー語(1巻) インドネシア語(1～5巻) 日本語(1～5巻) タイ語(1～6巻)
韓国語(1～11巻) モンゴル語(1、6巻) ポルトガル語(1～2巻) ポーランド語(1～2巻)
スペイン語(1～3巻) スウェーデン語(1巻)　チベット語(1巻)

即刻開悟の鍵　問答集
オゥラック語(1～4巻) 中国語(1～3巻) ブルガリア語(1巻) チェコ語(1巻) 英語 (1～2巻)
フランス語(1巻) ドイツ語(1巻) ハンガリー語(1巻) インドネシア語(1～3巻) 日本語(1～2巻)
韓国語(1～4巻) ポルトガル語(1巻) ポーランド語　ロシア語(1巻)

即刻開悟の鍵　特別編 1993年 世界講演ツアー
英語 中国語(各1～6巻)

即刻開悟の鍵 特別編 1992年 三地門7日間リトリート
英語　オゥラック語

即刻開悟の鍵 マスターと弟子の往復書簡
英語(1巻) 中国語(1～3巻) オゥラック語(1～2巻) スペイン語(1巻)

即刻開悟の鍵 神秘体験集
オゥラック語(1～2巻) 中国語(1～2巻)

マスターが話す「物語」
オゥラック語 中国語 英語 日本語 韓国語 スペイン語 タイ語

生命を彩るために　霊性の教理精選集
オゥラック語 中国語 英語

神はすべての面倒を見る　智慧の漫画集
オゥラック語 中国語 英語 フランス語 日本語 韓国語

光輪がきつすぎる！　悟りの笑い話集 CD付き
中国語 英語

気軽に修行する秘訣
オゥラック語 中国語 英語

平和への道～神と直接つながる　1999年 ヨーロッパ講演ツアー
中国語 英語

神と人間と～聖書物語からの洞察
中国語 英語

健康を理解する～自然な正しい生き方に戻る
中国語 英語

私はあなたを家に連れて帰る　I Have Come To Take You Home
アラビア語 オゥラック語 ブルガリア語 チェコ語 中国語 英語 フランス語 ドイツ語 ギリシャ語
ハンガリー語 インドネシア語 イタリア語 韓国語　モンゴル語 ポーランド語　スペイン語 トルコ語
ルーマニア語 ロシア語

甘露法語 1
中国語 英語 ドイツ語／フランス語　日本語／英語 韓国語／英語　ポルトガル語／スペイン語

甘露法語 2
中国語 英語 日本語

スプリームキッチン～世界のベジタリアン料理集
英語/中国語 オゥラック語 日本語訳(別冊)

スプリームキッチン～家庭料理集
英語/中国語

音楽を通して、平和な一つの世界を
中国語／英語／オゥラック語

スプリームマスター チンハイ 芸術創作集
英語 中国語

SMセレスチャルクローズ集
中国語／英語(6巻)

ドッグ イン マイライフ 1, 2
オゥラック語 中国語 英語 ドイツ語 日本語 韓国語 スペイン語 ポーランド語

バード イン マイライフ
アラビア語 オゥラック語 中国語 英語 フランス語 ドイツ語 インドネシア語
韓国語 モンゴル語 ロシア語

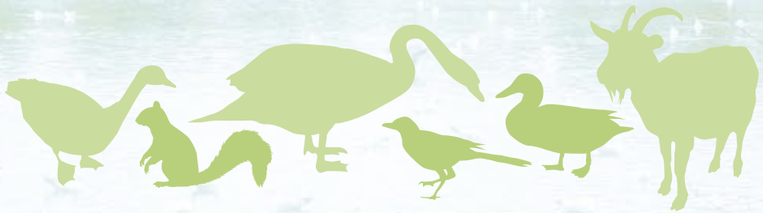
高貴な野生
オゥラック語 中国語 英語 フランス語　ドイツ語 韓国語 モンゴル語 日本語

セレスチャルアート
中国語／英語

危機から平和へ
オゥラック語 英語 中国語 オランダ語　韓国語 フランス語 ハンガリー語 インドネシア語 日本語
ノルウェー語 スペイン語 スウェーデン語 タイ語　ポルトガル語 ポーランド語 ロシア語 ルーマニア語
ドイツ語 テルグ語 マレー語
http://www.crisis2peace.org/tw/

Thoughts on Life and Consciousness
Dr.Janes 著　中国語

スプリームマスター チンハイの
詩 集



真の愛
ミュージカル「真の愛」中国語 英語

沈黙の涙
オゥラック語 中国語 英語 韓国語 ポルトガル語 スペイン語 タガログ語 ドイツ語/フランス語/英語

無子詩
オゥラック語 中国語 英語

蝶の夢
オゥラック語 中国語 英語

過去の足跡
オゥラック語 中国語 英語

The Old Time
オゥラック語 中国語 英語

Pebbles and Gold
オゥラック語 中国語 英語

失われた記憶
オゥラック語 中国語 英語

世紀の愛
オゥラック語 中国語 英語 フランス ドイツ語 韓国語 モンゴル語 スペイン語

Loving the Silent Tears ミュージカル Loving the Silent Tears 中国語 英語

過去の足跡 1～3（オゥラック語）MP3

Talking to a Stone Buddha MP3 MP4 DVD

真の愛　ミュージカル「真の愛」 DVD、MP4

Loving the Silent Tears MP3, DVD, MP4

Beyond the Realm of Time 1～3（オゥラック語） MP3 DVD MP4

A Touch of Fragrance（オゥラック語）MP3

That and This Day（オゥラック語）MP3

夜の夢（オゥラック語） MP3 DVD MP4

T-L-C, Please（オゥラック語）MP3

Please Keep Forever（オゥラック語）MP3

スプリームマスター チンハイの歌と作曲 MP3 DVD MP4
英語 オゥラック語 中国語

愛の歌DVD MP4 オゥラック 英語

Good Night Baby MP3 英語

The Jeweled Verses（オゥラック語）MP3 1、2 DVD 1、2 MP4

黄金の蓮（オゥラック語）MP3 DVD MP4

An Ancient Love（オゥラック語）MP3 DVD MP4

Love for the Homeland（オゥラック語）DVD MP4

仏陀の悲しみ（オゥラック語）DVD MP4

Since I've Loved You（オゥラック語）DVD MP4

Love for the Homeland MP3 DVD MP4 1、2（オゥラック語と17言語の字幕）

A Path to Love Legends MP4 1、2、3（オゥラック語）

スプリームマスター チンハイの講義、音楽、コンサートのDVD、MP3、MP4は、以下の多言語に対応しています。
アラビア語 アルメニア語 オゥラック語 ブルガリア語 カンボジア語 広東語 中国語 クロアチア語
チェコ語 デンマーク語 オランダ語 英語 フィンランド語 フランス語 ドイツ語 ギリシャ語 ヘブライ語
ハンガリー語 インドネシア語 イタリア語 日本語 韓国語 マレー語 北京語 モンゴル語 ネパール語
ノルウェー語 ペルシャ語 タガログ語 ポーランド語 ポルトガル語 ルーマニア語 ロシア語
シンハラ語 スロベニア語 スペイン語 スウェーデン語 タイ語 トルコ語 ズールー語

書店Webサイトでカタログとコンテンツの概要をダウンロードできます。
http://www.smchbooks.com（中国語と英語）

無料サンプル小冊子のダウンロード
即刻開悟の鍵(80言語)
http://sb.godsdirectcontact.net/（フォルモサ）（アメリカ）
http://www.direkter-kontakt-mit-gott.org/booklet（オーストリア）

私たちへの連絡方法

スプリームマスター チンハイ インターナショナルアソシエーション

中華民國36899苗栗西湖郵政九號信箱
P. O. Box 730247, San Jose, CA95173-0247, U.S.A.

スプリームマスター テレビジョン

Eメール：peace@SupremeMasterTV.com/
Tel: 1-626-444-4385 / Fax:1-626-444-4386
http://www.suprememastertv.com/

スプリームマスター チンハイ インターナショナルアソシエーション出版社
フォルモサ（台湾）台北
Eメール：smchbooks@Godsdirectcontact.org
Tel: 886-2-23759688 / Fax: 886-2-23759689
http://www.smchbooks.com

書籍出版部

Eメール：divine@Godsdirectcontact.org

ニュースグループ

Eメール：lovenews@Godsdirectcontact.org

スピリチュアル インフォメーションデスク

Eメール：lovewish@Godsdirectcontact.org

オンラインショップ

http://www.theCelestialShop.com (英語)
http://www.edenrules.com (中国語)

S.M. S.M. セレスチャル社 .

Eメール：smcloth123@gmai.com / vegan999@hotmail.com
Tel: 886-3-4601391 / Fax:886-3-4602857
http://www.sm-cj.com

Loving Hutインターナショナルカンパニー

Tel: (886) 3-468-3345 / Fax: (886) 3-468-5415
Eメール: info@lovinghut.com
http://www.lovinghut.com/tw
http://www.lovingfood.com/tw

観音ウェブサイト

God's direct contact—スプリームマスター チンハイ インターナショナルアソシエーション グローバルインターネット
http://www.Godsdirectcontact.org.tw/eng/links/links.htm

こちらのポータルサイトでは、様々な言語の観音ウェブサイトへのリンクできます。多言語のサンプルブックレットや、ニュースマガジンもダウンロードできます。また、サイトのコンテンツをオンラインで閲覧することができます。

もう一つの生き方

生き方を変えて
心を変えて
食事を変えて
♥～～～～～～♥
ノーモア殺生
健康に そして愛深く

高栄養価で、命を救える食例：

食物	蛋白質含有量(%)
とうふ(大豆製)	16 %
グルテン(小麦粉製)	70 %
とうもろこし	13 %
米	8.6 %
大豆、インゲン豆、ひよこ豆、レンズ豆、等	10 - 35 %
アーモンド、くるみ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、松の実、等	14 - 30 %
かぼちゃの種、ゴマ、ひまわりの種、等	18 - 24 %

- 総合ビタミン錠剤/カプセルもビタミン·ミネラル·抗酸化物質の優良な摂取源です。
- 果実·野菜はビタミン·ミネラル·抗酸化物質に富み、健康維持と長寿に必要な高品質の食物繊維を含んでいます。
- 一日の推奨摂取量：５０ｇの蛋白質（平均的大人）
- 野菜のカルシウムは牛乳よりも吸収されやすいです。

- 世界的流行の鳥インフルエンザの本当の恐怖軽減のために
- 狂牛病(BSE)、豚のサーコウィルス感染症(PMWS)等の危険を避けるために
- 私達の愛らしい無数の家畜、海の生物、羽根を持つ友人の日々の継続的かつ残忍な犠牲に終止符を打つために

生涯を菜食に切り替えて、賢明に
それこそが健康的です
それこそが経済的です
それこそがエコロジーです
それこそが慈悲です
それこそが平和です
それこそが高尚です

更なる情報をお求めの方は下記のウェブサイトをご覧ください
http://AL.Godsdirectcontact.org.tw　Eメール：AL@Godsdirectcontact.org
http://www.Godsdirectcontact.org/eng/veg/alternative/10/japanese/htm
http://www.vegsoc.org/　http://www.vrg.org/　http://www.vegsource.com/

Supreme Master Television は肯定的な番組のみを放送しています。
それは皆さんの人生に新しい世界をもたらします。
オンライン TV の **http:// suprememastertv.com/webtv** は、世界中で 24 時間ご覧いただけます。

バードインマイライフ

The Birds in My Life

AMAZON.COM #1 ベストセラー
Kingstone.com (Chinese) BESTSELLER !

スプリームマスター チンハイ執筆
英語版アマゾン　オンライン通販サイト
http://www.amazon.com/dp/9866895149/

スプリームマスター チンハイは、この美しいイラストがいっぱいの「バード イン マイ ライフ」を通して、私たちを動物の内なる世界に招き入れます。私たちが動物を無条件に愛すれば、その報いとして完全に心を開くのです。この本は実に素晴らしく、すべての頁が愛と調和に満ちあふれ、スプリームマスター チンハイは私たちに、動物はとても高貴で美しい魂を持っていることを知る手助けをしてくださいます。驚くほどすごい本です。動物は人のよき友です。みなさまにこの素晴らしい本を読んで頂けることを願っています。

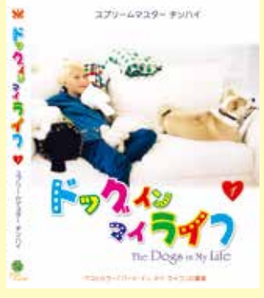
ご注文いただくとご自宅に届きます。各ページのあふれる愛をお楽しみください。

ドッグインマイライフ

The Dogs in My Life

#1 Amazon
"バードインマイライフ"のベストセラー作家
Kingstone.com (Chinese) BESTSELLER !

スプリームマスター チンハイが愛を込めて執筆し、自らデザインした初めての出版物「ドッグ イン マイ ライフ」(全2巻）が発行されました。読者は10匹の犬の友が示す誠実な友情に、純粋な愛と喜びを再発見することでしょう。彼らの名はBenny(ベニー)、Lucky(ラッキー)、Happy(ハッピー)、Goody(グッディ)、Hermit(ハーミット)です。それぞれ学者、フルーティ、プリンセス、チップスアホイ、シャドウハンターというあだ名もあります。魅力ある彼らの物語に耳を傾けてみてください。それぞれに人生の物語があり、個性的です。けれども、彼らの「人間の友」への献身ぶりは絶対的なものです。そして彼らのユーモア、知性、その他多くの高貴な本性は、本当に私達と同じ源から来ているものです。



ドッグ イン マイ ライフを読めば、この地上で特別な存在である犬たちに恋してしまうことでしょう。

その他の言語版も
発行済

- 英語版はAmazon.comにて好評発売中
- The Dogs in My Life(1) http://www.amazon.com/dp/9866895076/
- The Dogs in My Life(2) http://www.amazon.com/dp/9866895084/

読者の皆さんに、犬と私たちが共にこの地球で暮らす素敵な方法を楽しんでいただけたら幸いです。そして彼らを通して、その他の生き物も、もっと理解していただけるよう願います。

~ スプリームマスター チンハイ

The Noble Wilds
高貴な野生

著 者：
スプリームマスター チンハイ

カメラマン：
スプリームマスター チンハイ/ Thomas Lerning/ T. Hao/ T. June/ Steve Andreas/ Jus-se / T. Khai

デザイン・レイアウト：
Kim Joung Eun, Gary Lai, Annie Yu, Jackie, Cuties, Pearl Huang, Nadir Yen, Eve Lin

グラフィックデザイン：
Gary Lai, Kim Joung Eun, Wang Bor Tang, Yu Hui-Chun, Nadir Yen

校 正：
Jane Chu, Lynn McGee, Grace Chen, Sun Wang

出 版：
スプリームマスター チンハイ インターナショナルアソシエーション出版社
住所:The Supreme Master Ching Hai International Association Publishing Co., Ltd.
Rm. 16, 8F, No.72, Sec. 1, Zhongxiao W. Rd,, Zhongzheng Dist., Taipei City 100,
Formosa (Taiwan.) R.O.C.
Tel：886-2-23759688 / Fax：2-23757689
Eメール smchbooks@Godsdirectcontact.org
http:/www.smchbooks.com

The Supreme Master Ching Hai©2008-2015

日本語版初版：2022年5月

出版社への事前許可取得後、本書の内容の転載を歓迎します。

「高貴な野生」読者コメント

パキスタンの読者　マリク・ナシル：こんにちは。パキスタンのマリク・ナシルです。この本「高貴な野生」を読みました。とても良い本です。特に写真が好きです。スプリームマスターチンハイは最高の作家だと思います。

モンゴルの読者　ウランチメグ：この本は私たち人間にはわからない動物の内面の考えや感情を教えてくれる素晴らしい本です。

モンゴルの読者　オーガンバヤル：この本を読むと、心の平和と安らぎを得るとともに、この地球のすべての生き物と母なる自然を愛し、私たちの同居人を理解することができます。

ブラジルの読者　高橋ミリアン：こんにちは、私はブラジルのミリアンです。息子が持っていたこの本を読みましたが、とても気に入りました。いい写真がたくさんあります。私は直接的な表現が好きです。それは、私たちを美しいイメージの考察へと導いてくれます。

行政院農委會特有生物保育センター　湯曉虞主任：ここ数年、国連が提起している地球温暖化による野生動物への影響の警告について話をしましょう。これは甚大です。野生動物の絶滅の速さは遅くなるどころか、加速しているように思います。太古の昔から、この地球には野生動物が生息しており、人間と動物、そして植物は補完しあう関係なのです。私たちは互いに密接にかかわり合っています。ある生態系が消滅したり、ある生態系が繁栄したりしても、他の動物種の生存に影響を与えることは確かです。ですから、地球温暖化は非常に大きな警告であり、全世界が真剣に向き合うべき問題だと思います。この本はとてもいい本だと思います。野生動物を守ることを人類に訴えています。そして私は、私たちが地球を大切にし、環境を保護するよう、スプリームマスターチンハイが導いてくださるよう願っています。

「高貴な野生」読者の声（Amazon.comより）

読者C. R. Tumminaro：この本は本当に心がなごみます。写真はロマンチックで、野生の持つ深い愛が伝わってきます。その行動は、私たちがあまり目にすることのないもので、美しい詩と組み合わされると、はっきりと真の優しさを示しています。愛にあふれた癒しと贖いの本です！

フランス・パリ　lemmanuel：とても驚くほど優美で、未知の喜びを感じることができました。深い真理を他の人と共有しているような、心温まる絶対的なことです。それは、動物だけでなく、私たち自身、人間についても言えます。

アメリカ・カリフォルニア　ジム：1ページから最後のページまで、開くたびに心地よさと安らぎをもたらしてくれる、素晴らしくワクワクする本です。まるで自分が白鳥や湖、森、野生動物のすぐそばにいるかのようにテーマを楽しみました。きわめて美しい写真が都会のジャングルから私を救ってくれます！

アメリカの大学教授：スプリームマスター チンハイが執筆し、撮影した「高貴な野生」は、環境危機がますます高まる時代に、もう一つの思いやりある生き方の好例となるものです。人はこう問わずにはいられません。なぜ人間はこういった素晴らしい生き物たちと平和に、愛と調和の中で生きることができなかったのだろうかと。

フォルモサ（台湾）　Shuton：白鳥の家族の生活を記録するのはとても興味深いです。特に、白鳥が私たちと同じように自分の名前があることを知ったことです。なので、動物も私たちとまったく同じなのです。

南アフリカの読者：「高貴な野生」を読んだ後、神の目的がいかに素晴らしいかが、本当によくわかりました。つまり、私たちが愛と尊厳をもって互いに接するよう鼓舞するために、このような素晴らしい動物を送ってくださったのです。

中国の読者　スー・メイティン：このような高貴な野生動物を仲間に持つことができ、私たちはとても恵まれています。とてもお勧めの本です！

カナダの読者：ここには何か深いつながりがあります。私の世界の自然は今、少し生き生きしているように思われます。

匿名の読者：あなたが心を開いて、著者に旅に連れ出してもらえば、あなたは彼女と同じように、愛と敬意と感嘆で、動物たちを見ることができるでしょう。私たちは彼らから多くのことを学ぶことができますし、そうしなければなりません。

イギリスの読者：動物界に対し、また全ての動物に対しても同様に、私は圧倒的な愛と尊敬の念を覚えました。スプリームマスターがこの世界にもたらしてくれたもう一つの宝石に感謝します！

読者　マーガレット：5つ星です! 女史とこれらの高貴な野生動物との間の愛にとても感動しました。この素晴らしい本は、動物の内面の世界への窓を開いてくれ、誰にでも高くお勧めできます。

フォルモサ（台湾）Su Love：私にとって、この本は神様からの贈り物のようなものです。

読者 幸せな小鳥さん：「高貴な野望」には本当に驚きました。動物たちは、地球という惑星の共同住民として、誠実な心遣いを受ける権利があります。人間以外の生き物の感覚、固有の価値、感情を認め、等しく心遣いを行います。私たちは野生生物や動物に愛情を持って保護、管理しなければならないのです。

動物飼育者 王：人々はIQ（知能指数)やEQ(心の知能指数)は知っていても、NQ(高貴なクオリティ)という言葉を聞いたことがあるだろうか。本書「高貴な野生」の中で、著者はNQとは何か、なぜ生まれ持った愛によってNQが高い動物がいるのかを読者に伝えています。
アメリカ・アトランタの読者：大人も子供も楽しめるとても興味深い本です。この本を読んだ後で、私はこの野生の生き物を通して、神の愛を感じました。

アメリカ・フロリダ　ジュリー：この素晴らしい本を読んだ後、それが近所の家庭、近くの公園、湖の動物であろうと、私にも美しい動物の隣人がたくさんいることに気付き始めました。この本の美しさは、言葉では言い表せないほどです。ご自身でぜひお読みください。

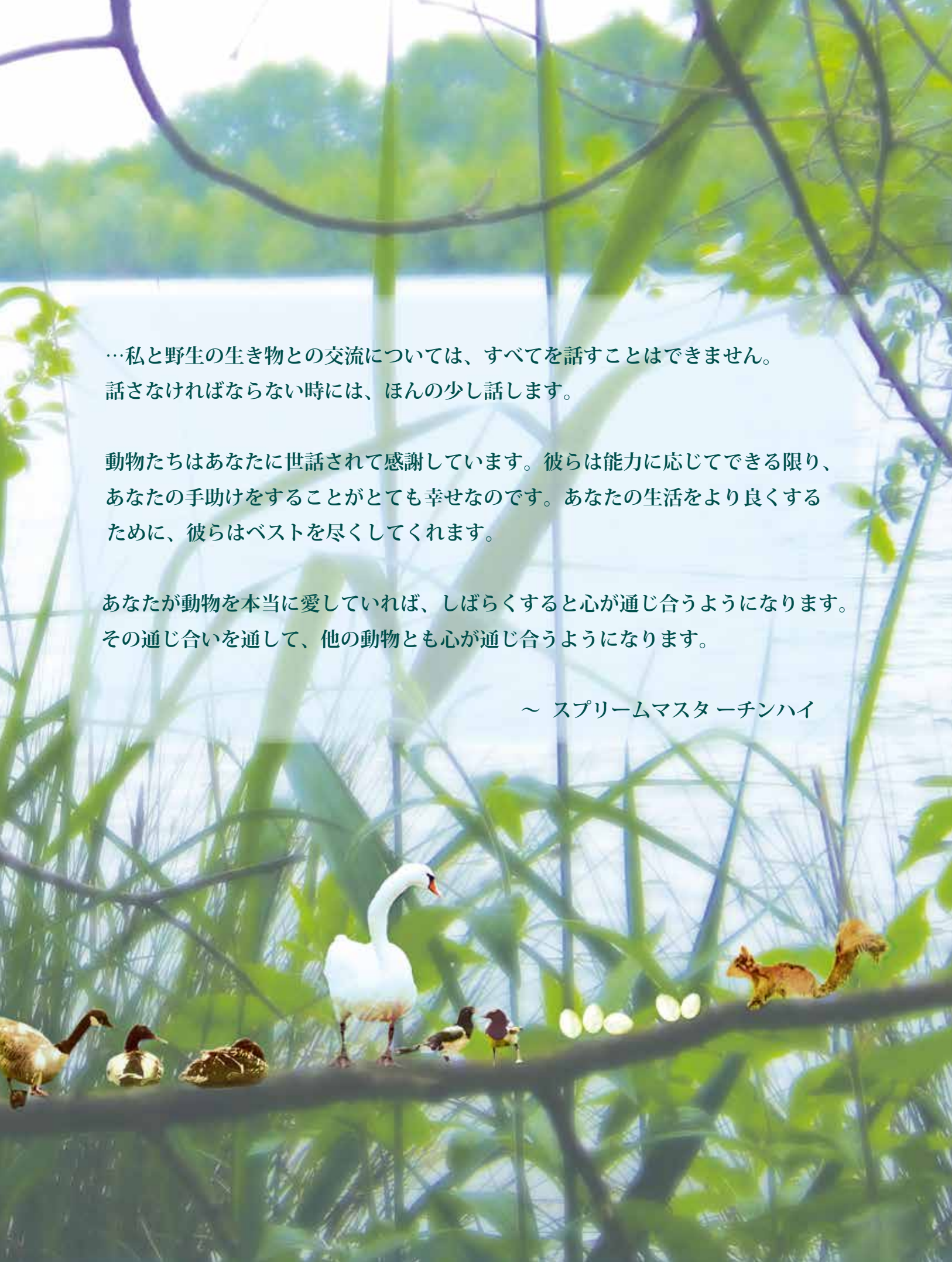
ブラジル　デニス・フローレス：スプリームマスター チンハイが見る界はなんと美しいのでしょう。著者からのメッセージやコメントはどれも明快で、同時にとても賢明で愛に満ちており、私たちがみな成長できると信じている資質を示しています。私はこの素晴らしい本を選んだことをとても幸せに感じています。

ドイツ　ビビアン：私たち人間は、神の創造物の頂点であり、最も文明的な存在であると誇示しています。けれど、動物の姿をしたこれらの高貴な魂を見てください。私たちは彼らから学び、彼らを愛し、敬意を払わなければならないのです。彼らがここにいることを神に感謝します。

アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴの読者：表紙がサテン仕上げの高品質の軽装本です。著者は素晴らしい仕事をしました。シンプルに書かれていますが、思いやりと愛がたくさん伝わってきます。あまり完璧ではない一日を過ごしているときに、最高に元気づけてくれるものです。

マレーシアの読者：「友人を通してこの本を見ましたが、本当に魅力的な本で、まるでアートギャラリーのように、何百枚もの素晴らしい自然の写真と心に響く言葉で構成されています。この本を読むと、自然に戻り、心が癒されます。あなた自身と大切な人への真の贈り物です。

カナダ・オンタリオ州　ジョン・フィリップス：他の多くの人々と同様、私はテレビで何百もの自然番組を見てきましたが、「高貴な野生」というこの本で紹介されているようなことには出会ったことがありません。この本の中で、スプリームマスター チンハイは、ある動物たちが徐々に彼女を信頼し始め、ついに彼らの「秘密」のいくつかを彼女に打ち明けてくれるようになったという、素晴らしい経験を教えてくれます。私たちは動物を「亜種」として考えることが多いので、これはとても魅力的なことでした。また、動物たちの愛情や献身的な姿の例も紹介しています。例えば271ページでは、白鳥の親鳥が自分の羽をむしり取って、ヒナたちの柔らかい足を傷つけないように、大きな「カーペット」を作ります。お父さんは羽を抜き過ぎて、一時期飛べなくなったほどでした。なんという大きな犠牲でしょう。この本の著者は、ペットだけでなく、すべての自然が大切にされ、愛されるべきことを教えてくれているのだと思います。私も含め、私たちの多くは、お金や物のことばかり考えて、自分自身や家族、周囲との関わり合いが一番大切であることを忘れてしまっているのではないでしょうか。この本を読んで、動物たちがいろいろなことを教えてくれることに気づき、今まで以上に自然を尊重するよ



…私と野生の生き物との交流については、すべてを話すことはできません。
話さなければならない時には、ほんの少し話します。

動物たちはあなたに世話されて感謝しています。彼らは能力に応じてできる限り、
あなたの手助けをすることがとても幸せなのです。あなたの生活をより良くする
ために、彼らはベストを尽くしてくれます。

あなたが動物を本当に愛していれば、しばらくすると心が通じ合うようになります。
その通じ合いを通して、他の動物とも心が通じ合うようになります。

～ スプリームマスター チンハイ